

年表(前史～1922年～1972年)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1872				10	14	新橋～横浜間開通
1877				1	29	西南戦争勃発
(M.10)				2	5	京都～神戸間開通
1880				12	28	東京馬車鉄道(株) 設立
1881				11	—	日本鉄道(株) 設立
1882				6	25	東京馬車鉄道(株) 新橋～日本橋間開通
1883				7	28	日本鉄道(株) 上野～熊谷間開通
1885				3	1	日本鉄道(株) 山手線開業
1887				5	18	私設鉄道条例公布
1889				5	—	東京市制定
(M.22)				7	1	新橋～神戸間開通
1890				4	—	第三回内国勲業博覧会開催(米国製電車を展示)
(M.23)				8	23	軌道条例公布
1891				9	1	日本鉄道(株) 上野～青森間全通
(M.24)						
1894				8	—	日清戦争開戦
(M.27)				12	—	川越鉄道(現:西武鉄道(株)) 開業
1895				1	31	京都電気鉄道会社 京都～伏見間で電気軌道を開業
1897				11	1	東武鉄道(株) 設立
1899				1	21	大師電気鉄道(株) 川崎～大師間で運行開始
(M.32)				3	22	耕地整理法公布
				8	27	東武鉄道(株) 開業
1900				3	16	私設鉄道法公布
(M.33)				3	16	鉄道営業法公布
1902	2	8	(玉川)渋谷～玉川間鉄道敷設特許(渋谷～三宅坂間は不許可)			
(M.35)	3	20	(玉川)玉川砂利電気鉄道から玉川電気鉄道(株)と商号変更			
1903	10	4	(玉川)創立総会、資本金40万円 専務(代表取締役)に渡辺熊之進就任 本社を東京市麴町区内幸町1-5に設置			
1904	7	27	(玉川)三軒茶屋～玉川間軌道敷設工事施行認可申請(1905.1.21認可)	2	8	日露戦争開戦
(M.37)	10	3	(玉川)火力発電所建設出願(10.25許可)	7	—	鉄道国有化の実行を閣議決定
1905	5	8	(玉川)本社を東京市赤坂区青山北町6-47に移転	4	12	阪神電気鉄道(株) 開業
(M.38)	7	5	(玉川)道玄坂上～三軒茶屋間軌道工事施行認可申請(10.27認可)			
1906	2	8	(玉川)旅客運賃認可 区間制1区3銭、全線5区	4	20	鉄道国有法施行
(M.39)	3	1	(玉川)渋谷～道玄坂上間軌道敷設工事施行認可申請(9.1認可)	6	—	東京電車鉄道(株)、東京市街鉄道、東京電気鉄道の三社が合併し、東京鉄道 設立
	3	23	(玉川)軌道敷設工事着手			
	11	10	(武蔵)発起 渋谷村字渋谷広尾町～横浜市平沼間鉄道敷設免許申請			
1907	3	6	(玉川)道玄坂上～三軒茶屋間開通(単線)			
(M.40)	4	1	(玉川)三軒茶屋～玉川間開通(単線)			
	5	25	(武蔵)起点渋谷村字渋谷広尾町を字広尾町天現寺橋に変更し、天現寺橋～官設平沼停車場間(本線)、調布村～蒲田間(蒲田支線―第1支線)鉄道敷設免許申請			
	8	11	(玉川)渋谷～道玄坂上間開通(単線)により渋谷～玉川間全通			
1908	5	8	(武蔵)天現寺橋～官設平沼停車場間(本線)、調布村～官設蒲田停車場間(蒲田支線)、仮免許			
(M.41)	5	14	(玉川)電灯業営業開始 世田谷、駒沢両村へ電灯供給開始			
	6	12	(武蔵)碑文谷～新宿間(新宿支線―第2支線)、平沼～蓬萊橋間(横浜市内延長線―第3支線)鉄道敷設免許申請			
1909				12	16	烏森(現:新橋)～上野(品川・池袋経由)間および池袋～赤羽間に電車運転開始

1939年10月1日以前の当社の各関係会社については、各項目の頭に以下の文字を入れて区別している。

(目黒):目黒蒲田電鉄(株) (旧東横):(旧)東京横浜電鉄(株) (玉川):玉川電気鉄道(株) (池上):池上電気鉄道(株) (武蔵):武蔵電気鉄道(株) (田園):田園都市(株)(もしくは荏原電気鉄道)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1910	3	2	(武蔵)起業目録見書中の軌間1,372mmを1,435mmに変更	8	3	軽便鉄道法施行
(M.43)	5	24	(玉川)目黒、渋谷両村へ電灯供給開始	10	19	箕面有馬電気軌道(株)(現:阪急電鉄(株)) 開業
	6	22	(武蔵)創立総会 資本金350万円 社長に岡田治衛武 就任	—	—	箕面有馬電気軌道(株)が土地建物分譲事業を開始(「池田室町住宅地」売出開始)
1911	1	9	(武蔵)本線天現寺橋～平沼間、第1支線調布村～蒲田間免許	8	1	東京市 東京鉄道を買収し、東京市電誕生
(M.44)	3	25	(玉川)富士瓦斯紡績と電力需給契約締結			
1912	12	25	(池上)池上電気鉄道(株)発起 大崎町～入新井村間軽便鉄道敷設特許申請(1914.4.8免許)	1	1	軽便鉄道補助法施行
(M.45)				7	30	明治天皇崩御、大正に改元
(T.元)				11	3	京成電気軌道(株)(現:京成電鉄(株)) 開業
1913				4	15	京王電気軌道(株)(現:京王電鉄(株)) 開業
(T.2)				5	2	東京信託(株) 新町住宅第1回分譲
1914				7	28	第一次世界大戦勃発
(T.3)				12	20	東京駅開業
1915	4	2	(玉川)京王電気軌道(株)に電力供給許可			
(T.4)						
1917	6	24	(池上)創立総会 資本金40万円 社長に山口文右衛門 就任 本社を東京市麴町区有楽町1-3に設置			
(T.6)						
1918	1	—	(田園)発起 発起人渋沢栄一、中野武宮、服部金太郎、緒明圭造、柿沼谷雄、市原求、伊藤幹一、星野錫、竹田政智の9人で「田園都市株式会社設立趣意書」編纂 荏原電気鉄道発起人(7人)により荏原郡大井町を起点に玉川村の玉川電気鉄道駒沢停車場付近に至る軽便鉄道敷設免許申請			
	3	4	(田園)創立事務所を東京市麴町区永楽町2-10に設置			
	4	18	(池上)支線目黒不動前～下大崎間軽便鉄道敷設免許申請(1919.9.12却下)			
	5	18	(武蔵)東京市内線敷設免許再申請(7.22却下)			
	6	29	(玉川)渋谷～天現寺橋間、渋谷橋～中目黒間鉄道敷設免許申請			
	9	2	(田園)設立 資本金50万円 社長に中野武宮、専務に竹田政智、取締役には服部金太郎、緒明圭造、柿沼谷雄、星野錫、監査役に伊藤幹一、市原求、相談役に渋沢栄一就任 本社事務所を東京市麴町区永楽町2-10日清生命館内に設置			
	9	3	(池上)線路および工事方法一部変更認可申請			
	9	—	(田園)事業用地買収開始(対象地 洗足地区、多摩川台地区、大岡山地区)			
	10	9	(田園)社長中野武宮死去 専務竹田政智が代表取締役就任			
	10	30	(池上)支線池上～蒲田間軽便鉄道敷設免許申請(12.28免許)			
1919	12	21	(武蔵)社長岡田治衛武以下全役員辞任 会長郷誠之助など就任	8	15	地方鉄道法施行
(T.8)						
1920	1	6	(田園)大井町～調布村間(8.52km)地方鉄道敷設免許申請(3.6免許)	3	—	株式市場大暴落、金融恐慌発生
(T.9)	3	17	(武蔵)東京市内線目黒町～有楽町間鉄道敷設免許(1923.3.16失効)	5	15	鉄道院が鉄道省となる
	3	27	(玉川)駒沢～用賀間複線開通			
	4	10	(田園)荏原電気鉄道発起人総会 鉄道敷設権を無償で田園都市(株)に譲渡の件可決			
	4	14	(田園)荏原電気鉄道発起人 大井町～調布村間鉄道敷設権の田園都市(株)への譲渡許可申請(5.18認可)			
	5	11	(武蔵)常務に五島慶太就任(鉄道院監督局総務課長を辞任)			
	5	18	(田園)荏原電気鉄道の鉄道敷設権を無償で譲受、同時に荏原電気鉄道発起人会解散			
	8	21	(玉川)軌道拡幅(1,067mmより1,372mmに)工事のため全線単線運転実施			
	12	20	(田園)大崎町～碑文谷村間地方鉄道敷設免許申請(1921.2.15免許)			
1921	5	9	(田園)大崎町～碑文谷村間工事施行認可申請	9	28	相模鉄道(株) 開業
(T.10)	5	18	(池上)第1期線池上～蒲田間工事着手			
	5	26	(田園)田園都市耕地整理組合設立(洗足地区)			
	6	24	(玉川)三軒茶屋～世田谷、世田谷～下高井戸間地方鉄道敷設免許申請			
	11	—	(田園)事業用地買収完了(総面積159万9,000㎡、別途、大岡山地区に30万㎡を買収)			
1922	3	24	(田園)目黒線大崎町(目黒)～調布村(多摩川)間工事施行認可	7	25	国鉄山手貨物線渋谷～原宿間複線開通
(T.11)	3	30	(田園)目黒線着工	7	27	玉南電気鉄道(株)(現:京王電鉄(株)の一部) 設立
	4	20	(池上)臨時株主総会 社長芳川寛治辞任 社長に高柳淳之助就任	8	15	武蔵鉄道設立(11月西武鉄道(株)と商号変更)
				11	1	(旧)西武鉄道(株) 帝国電灯の鉄道業を譲受ける

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1922 (T.11)	5	1	(田園)本社事務所を東京市京橋区南伝馬町3-5第一相互館内に移転	11	—	武蔵野鉄道(株) 池袋～所沢間電化 国鉄熱海線小田原～真鶴間開通
	6	2	(目蒲)定款制定	12	21	
	6	11	(玉川)渋谷～渋谷橋(あびす駅前)間開通			
	6	—	(田園)土地分譲開始(洗足地区)			
	7	12	(目蒲)発起人総会 発起人竹田政智(代表)、矢野恒太、緒明圭造、市原求、渋谷秀雄、篠原三千郎、伊藤欣二、五島慶太 決議事項 ①田園都市株鉄道敷設権の譲受け(大井町～調布村間、碑倉村～大崎町間) ②武蔵電気鉄道(株)敷設権の譲受け(調布村～蒲田間)			
	7	22	(玉川)三軒茶屋～下高井戸間軌道敷設特許			
	7	—	(玉川)玉川第2遊園地開園			
	8	2	(田園)電灯電力供給業認可			
	9	2	(目蒲)創立総会 資本金350万円 取締役に竹田政智(代表)、緒明圭造、渋谷秀雄、篠原三千郎、五島慶太、河野通、監査役に市原求、石川善太郎、伊藤欣二がそれぞれ就任 本社事務所を東京市京橋区南伝馬町3-5 第一相互館内に設置			
	9	19	(目蒲)田園都市株鉄道敷設権(大井町～調布村間、碑倉村～大崎町間)譲受け許可、武蔵電気鉄道株敷設権(調布村～蒲田間) 譲受け許可			
	9	22	(池上)終点を目黒から五反田へ変更申請			
	10	2	(目蒲)臨時株主総会 社長に竹田政智、専務に五島慶太就任			
10	6	(池上)池上～蒲田間開通				
10	26	(目蒲)蒲田線(調布村～蒲田間)工事施行認可申請				
12	16	(目蒲)第1回定時株主総会				
12	27	(目蒲)蒲田線工事施行認可				
12	—	(田園)分譲地・洗足地区に送電開始				
1923 (T.12)	1	15	(目蒲)目黒線の延長工事として多摩川～丸子間着工	4	1	世田谷村 町制を敷き世田ヶ谷町に 小田原急行鉄道(株) 設立 北総鉄道(株)(1972年設立の現在の北総鉄道株とは別、現:東武野田線) 千葉県営鉄道(野田町～柏間)を譲受ける 関東大震災発生 北総鉄道(株) 船橋～柏間開通
	2	2	(目蒲)社則制定	5	1	
	2	18	(玉川)三軒茶屋～上馬引沢間複線化により渋谷～玉川間全線複線化	7	24	
	3	5	(目蒲)目黒線目黒～丸子間(8.3km)竣工	9	1	
	3	9	(目蒲)洗足変電所使用開始	12	27	
	3	11	(目蒲)目黒線(目黒～丸子間)開業			
	4	25	(目蒲)蒲田線丸子～蒲田間(4.92km)着工			
	5	4	(池上)雪ヶ谷～池上間開通			
	5	14	(目蒲)本社事務所を東京府荏原郡大崎町大字上大崎239に移転			
	5	28	(目蒲)地方鉄道補助法に基づく補助許可申請(第2・3期受給)			
	6	27	(目蒲)定時株主総会 社長竹田政智辞任、社長に市原求就任			
	6	—	(田園)本社を東京府荏原郡碑倉村大字碑文谷1466に移転			
7	17	(武蔵)本社事務所を麴町区有楽町2-1に移転				
8	—	(田園)多摩川台地区(現:田園調布)第一回分譲売り出し開始				
9	—	専務五島慶太 代々木乗合自動車の取締役に就任				
10	21	(玉川)火力発電所復旧				
10	24	(池上)本社を東京市神田区小川町35に移転				
10	25	(目蒲)蒲田線丸子～蒲田間竣工				
10	—	(目蒲)目黒線目黒不動前駅を「不動前」と改称				
11	1	(目蒲)蒲田線が開通し、目黒～蒲田間(13.2km)全通により目蒲線と呼称 全線6区				
12	—	専務五島慶太 播丹鉄道副社長に就任				
1924 (T.13)	1	8	(田園)大岡山所在の社有地を東京高等工業学校(現:東京工業大学)に交換譲渡	1	1	軌道法施行(1921.4.14公布) 東京市営乗合自動車 営業開始(路線東京駅～巣鴨、東京駅～中渋谷、永楽町～大塚) 渋谷道玄坂に「百軒店」出現 東京高等工業学校、府立第八中学校(現:小山台高校)移転開校 内務省 関東大震災後の住宅不足救済のため勸同潤会を設立 川崎町は川崎市に 鶴見臨港鉄道(株) 設立 駿豆鉄道(株) 大仁～修善寺間開通 国鉄熱海線真鶴～湯河原間開通 明治神宮外苑競技場竣工
	2	29	(目蒲)目蒲線鶴ノ木駅新設	1	18	
	3	1	(玉川)玉川～砧間開通	3	27	
	3	1	(目蒲)臨時株主総会 資本金 350万円を500万円に増額	4	—	
	3	27	(玉川)世田谷線世田谷～下高井戸間敷設工事施行認可			
	4	1	(目蒲)丸子駅を「武蔵丸子」に、新田駅を「武蔵新田」と改称	5	23	
	4	20	(目蒲)目蒲線小山駅を「武蔵小山」と改称			
	5	1	(田園)多摩川園設立 資本金15万円	7	1	
	5	2	(目蒲)目蒲線下丸子駅新設	7	25	
	5	21	(玉川)渋谷橋～天現寺橋間開通	8	1	
	6	27	(田園)監査役に河野通就任	10	1	
	7	24	(目蒲)奥沢(のちに大岡山に変更)～瀬田河原(二子玉川)間 鉄道敷設免許申請	10	25	
8	14	(目蒲)電力供給事業兼営許可申請(1926.4.7却下)				
10	7	(目蒲)武蔵電気鉄道(株)を傘下に収める 目黒蒲田電鉄(株)役員が同社役員に就任 社長矢野恒太、常務五島慶太				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他		
1924 (T.13)	10	25	(武蔵)臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)と商号変更 本社事務所を目黒蒲田電鉄(株)本社所在地(荏原郡大崎町)に移転					
	11	8	(旧東横)神奈川線(多摩川～新神奈川間)工事施行認可					
	12	17	(玉川)玉川～溝ノ口間軌道延長線敷設特許					
	12	23	(旧東横)定時株主総会 社長に矢野恒太、専務に五島慶太就任					
	12	—	(玉川)真中・弦巻両停留場新設					
	1925 (T.14)	1	10	(旧東横)神奈川線多摩川橋梁着工	3		11	京浜電気鉄道(株) 八ツ山橋～高輪間開通 玉南電気鉄道(株) 府中～東八王子間開通 国鉄熱海線湯河原～熱海間開通 国鉄山手線複々線開通、新宿駅改良工事竣工 京成電気軌道(株) 成田電気軌道を合併 東京市 高速鉄道5路線(82.4km)免許申請 東武鉄道(株) 東上線池袋～寄居間全通 東京放送局(現:NHK) 愛宕山よりラジオ放送開始 攻玉社 不動前に移転開校 9 1 二子橋完成 11 1 国鉄神田～上野間高架線開通 山手線環状運転開始 11 1 小田原急行鉄道(株) 新宿～小田原間着工 12 13 国鉄大船～横須賀間および東京～国府津間に電気機関車運転開始 12 13 武蔵野鉄道(株) 所沢～飯能間電化完成 12 15 東京乗合自動車 遊覧自動車業営業開始 12 27 湘南電気鉄道(株) 設立 12 30 (国勢調査) 世田ヶ谷町 38,068人 駒沢町 20,991人 松沢町 7,237人 玉川町 11,974人
		1	18	(玉川)三軒茶屋～世田谷間開通	3		24	
		2	19	(目蒲)臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)に融資するための社債200万円募集の件可決	3		25	
		2	24	(田園)監査役河野通辞任	4		26	
		3	10	(目蒲)第1回無担保社債200万円発行	5		29	
		3	19	上田温泉電軌(株) 上田～別所温泉間開通	5		—	
		4	1	(目蒲)監査役河野通辞任	7		10	
4		16	(目蒲)大崎町～渋谷町間および渋谷町～京橋区榎町間 鉄道敷設免許申請(1929.10.26却下)	7	12			
5		1	(玉川)世田谷～下高井戸間開通	9	10			
6		24	(目蒲)定時株主総会 定款変更「電力供給事業」を「電力電灯および電熱の供給」「電気機械器具の販売貸付を営むこと」に改訂	9	1			
6		—	(玉川)玉川プールを開場	11	1			
8		18	(目蒲)臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)への融資のための150万円その他合計200万円の社債募集の件可決	11	—			
8	30	(旧東横)神奈川線多摩川橋梁完成	12	13				
8	—	白木屋大阪支店 わが国初のネオンを点灯	12	13				
10	12	(目蒲)目蒲線本門寺道駅仮設	12	27				
12	23	(目蒲)多摩川園開園	12	30				
12	25	(旧東横)白幡変電所設置						
12	26	(目蒲)定時株主総会 監査役に小林一三就任						
12	30	(池上)臨時株主総会 社長高柳淳之助辞任 社長に越山太刀三郎就任						
1926 (T.15) (S.元)	1	1	(目蒲)目蒲線調布駅を「田園調布」に、多摩川駅を「丸子多摩川」に、武蔵丸子駅を「沼部」と改称	1	29	国鉄熱海線国府津～小田原間電化 相模鉄道(株) 寒川～倉見間開通 世田ヶ谷町に国士館商業学校開校 国鉄東京・上野両駅で、ドイツ製入場券自動販売機使用開始 神中鉄道(株)(現:相模鉄道(株)) 二俣川～厚木間開通(単線) 健康保険法 施行(1922.4.22公布) 江ノ島電気鉄道(株) 設立 相模鉄道(株) 倉見～厚木間 開通 富士山麓電気鉄道(株)(現:富士急行(株)) 設立 国鉄京浜線電車(現:京浜東北線の一部) 自動ドア設備開始(1927年完了) 明治神宮外苑完成 神中鉄道(株) 二俣川～星川(上星川)間 開通(単線) 京王電気軌道(株) 玉南電気鉄道(株)を合併 大正天皇崩御、皇太子裕仁親王踐祚 昭和に改元		
	2	14	(旧東横)神奈川線高島山隧道完成	4	1			
	2	14	(目蒲)奥沢変電所使用開始	4	1			
	2	14	(旧東横)神奈川線(丸子多摩川～神奈川間14.8km)開通 目蒲線と相互乗入れし、目黒～神奈川間直通運転開始 鉄道運賃 1マイル3銭5厘	4	25			
	3	27	(池上)臨時株主総会 社長越山太刀三郎辞任 社長に中島久万吉就任	5	12			
	3	28	(旧東横)神奈川線開通式を日吉台で挙行	7	10			
	5	7	(目蒲)大井町～鮫洲間鉄道延長敷設免許申請(1929.10.26却下)	7	15			
	5	19	(池上)上大崎～白金延長免許申請(12.6許可、1934.1失効)	7	15			
	6	7	(目蒲)武蔵新田～蛇窪間 鉄道延長敷設免許申請(1928.11.19却下)	7	18			
	6	14	(目蒲)東京横浜電鉄(株)に対して政府補助金許可(1936年上期まで補助金受給)	7	15			
	6	29	(目蒲)定時株主総会 資本金500万円を1,100万円に増額の件可決(大井町線建設費に充当するため)	7	18			
	7	18	(目蒲)大井町線大井町～洗足間着工	7	15			
7	31	(旧東横)鎌倉延長線(高島町～鎌倉間)鉄道敷設免許申請	7	18				
7	—	(目蒲)本門寺道仮駅を本駅とする	7	—				
8	6	(池上)慶大グラウンド前駅 新設	8	6				
9	1	(目蒲)第2回無担保社債200万円発行	8	6				
9	1	(目蒲)工事方法一部変更認可 大井町～洗足間を大井町～大岡山間に変更	9	1				
9	3	(旧東横)渋谷～永楽町間鉄道敷設免許申請(1934.2.14却下)	9	3				
9	11	(目蒲)目黒～上横町間鉄道敷設免許申請(1934.2.4却下)	9	11				
9	21	清和倶楽部設立(目蒲・旧東横共通)	9	21				
10	2	(田園)臨時株主総会で減資を可決(500万円を300万円に)	10	2				
11	14	(池上)本社を荏原郡大崎町大字桐ヶ谷362に移転	11	14				
12	1	(目蒲)(旧東横)目黒蒲田東京横浜電鉄共済組合発足	12	1				
12	25	(旧東横)渋谷線(渋谷～丸子多摩川間)着工	12	25				
12	—	(目蒲)東京横浜電鉄(株)と渋谷線(渋谷～丸子多摩川間)に関する協定を締結	12	—				
1927 (S.2)	3	10	(旧東横)神奈川線東白楽駅新設	3	9	南武鉄道(株) 川崎～登戸間、矢向～川崎河岸間開通 銀行取付発生、金融恐慌起こる 小田原急行鉄道(株) 小田原線(新宿～小田原間)開通 西武鉄道(株) 村山線高田馬場～東村山間開通		
	3	20	(目蒲)社長市原求死去	3	22			
	3	29	(玉川)渋谷橋～中目黒間開通	4	1			
	3	—	(池上)雪ヶ谷～調布間鉄道敷設免許申請(12月免許)	4	16			

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1927 (S.2)	4	14	(目蒲)臨時株主総会 社長に矢野恒太就任	4	—	自由ヶ丘学園開校
	4	—	(旧東横)綱島温泉浴場を開業	5	31	神中鉄道(株) 星川～北程ヶ谷間開通
	5	7	(旧東横)社長矢野恒太、取締役渋沢秀雄、監査役小林一三辞任、専務五島慶太が代表取締役	8	27	京浜電気鉄道(株) 川崎住宅地内で乗合自動車営業開始
	5	23	(旧東横)臨時株主総会 取締役小林一三、監査役に渋沢秀雄就任	9	28	参宮急行電鉄(株) 設立、専務五島慶太 取締役就任
	5	26	(池上)資本金350万円を700万円に増額	10	1	東武鉄道(株) 浅草～伊勢崎間電車運転開始
	5	—	(旧東横)神奈川～高島町の工事施行認可申請	10	15	武蔵野鉄道(株) 練馬～豊島園間開通
	6	—	(池上)調布～国分寺間鉄道敷設免許申請(12月免許)	12	30	東京地下鉄道(株) 上野～浅草間開通(日本最初の地下鉄)
	7	6	(目蒲)大井町線大井町～大岡山間(4.8km)開通			
	7	6	(目蒲)鉄道運賃 区間制1区5銭 全線2区			
	7	15	(玉川)玉川～溝ノ口間開通			
	7	27	(池上)雪ヶ谷～蒲田間複線工事竣工			
	7	—	(池上)このころ慶大グラウンド前を慶大グラウンドに駅名変更			
	8	8	(目蒲)不動前変電所使用開始			
	8	19	(池上)調布大塚駅新設			
	8	27	(目蒲)田園調布～丸子多摩川間複々線建設工事方法認可			
	8	28	(旧東横)渋谷線(渋谷～丸子多摩川間9.1km)開通により渋谷～神奈川間直通 神奈川線と合わせて東横線と呼称			
	8	28	(池上)桐ヶ谷～雪ヶ谷間開通			
	8	—	(目蒲)東京横浜電鉄(株)との共用鉄道電話設置(磁石式25回線交換台、実装10回線電話機63台設置)			
	8	—	(池上)光明寺駅このころ廃止			
	9	9	(池上)乗合自動車営業開始			
	10	9	(池上)大崎広小路～桐ヶ谷間開通			
	12	13	(旧東横)神奈川～高島町間工事施行認可			
	12	16	(玉川)乗合自動車営業開始(道玄坂上～新町)			
	12	25	(旧東横)渋谷駅構内に東横食堂を開業			
	12	26	(旧東横)高島町～桜木町間工事施行認可			
	12	27	(目蒲)奥沢～瀬田河原間鉄道敷設免許(二子玉川線)			
	12	31	(旧東横)神奈川～高島町間着工			
—	—	(目蒲)「自由ヶ丘電車庫」新設				
1928 (S.3)	1	21	(目蒲)元住吉車両工場竣工	2	25	国鉄熱海線小田原～熱海間電化
	3	23	(池上)雪ヶ谷～奥沢(新奥沢)間工事施行認可申請(4.4再申請)	3	7	多摩湖鉄道(株) 設立
	4	1	(目蒲)大井町線中丸山駅を「緑ヶ丘」と改称	4	10	日本商工会議所設立 初代会頭に藤田謙一就任
	4	2	丸子鉄道(株) 上田～傍陽間全通	4	17	高津村は町制を敷き高津町に
	4	13	(目蒲)二子玉川線大岡山～二子玉川間工事施行認可申請(奥沢起点を大岡山に変更)	7	1	江ノ島電気鉄道(株) 営業運転開始
	4	13	(池上)石川駅を「石川台」、末広駅を「東調布」と改称	8	13	箱根登山鉄道(株) 設立
	4	28	(目蒲)専務五島慶太 大阪電気軌道(株)監査役に就任	9	24	東京山手急行電鉄(株) 設立 資本金3,400万円
	5	5	(目蒲)田園都市(株)を合併 資本金1,100万円を1,325万円に増額	9	—	大山鋼索鉄道(株) 設立
	5	7	(目蒲)社長矢野恒太、取締役渋沢秀雄、監査役小林一三辞任 代表取締役に専務五島慶太就任	10	15	国鉄横浜駅新築移転(神奈川駅廃止)
	5	18	(旧東横)東横線神奈川～高島町間(966m)開業	11	6	鉄道省官制改正公布(陸運の監督権を通信省から鉄道省に移管)
	5	23	(目蒲)臨時株主総会 取締役に小林一三、監査役に渋沢秀雄就任	11	10	昭和天皇即位礼
	6	17	(池上)五反田～大崎広小路間開通により五反田～蒲田間全通	11	10	横浜市営乗合自動車営業開始
	7	28	渋谷急行電気鉄道(株) 設立	12	11	横浜市電 東神奈川西口～東白楽間開通
	8	1	(目蒲)目蒲線西小山駅新設			
	8	15	(目蒲)乗合自動車業大井町駅前～東洗足間営業認可申請(1929.4.19許可)			
	8	29	(目蒲)二子玉川線大岡山～二子玉川間工事施行認可			
	9	6	(目蒲)二子玉川線大岡山～二子玉川間工事着手			
10	1	(玉川)専務(代表取締役)津田興二辞任、専務(代表取締役)に北川礼弼就任				
10	5	(池上)奥沢線(国分寺線の一部)雪ヶ谷～新奥沢間開通				
10	10	(目蒲)大井町線池月駅(現:北千束駅)新設				
10	15	(旧東横)東横線横浜駅新設				
1929 (S.4)	1	21	(目蒲)乗合自動車業兼営認可申請(4.2認可)	2	14	神中鉄道(株) 北程ヶ谷～西横浜間開通
	3	17	(旧東横)乗合自動車営業開始(川和線・綱島線)	3	—	大学卒業者の就職難深刻化 東京帝大卒の就職率約30%
	3	27	(目蒲)武蔵新田～荏原町間鉄道敷設免許申請(10.26却下)	4	1	小田原急行鉄道(株) 江ノ島線(大野～片瀬江ノ島間)開通
	3	27	(目蒲)沖ノ谷～上町間鉄道敷設免許申請(10.26却下)	5	1	武蔵野鉄道(株) 西所沢～狭山湖間開通
	4	1	(旧東横)東横線九品仏駅(現:自由が丘駅)付近5.79m高上工事完成(延長520m)	6	19	富士山麓電気鉄道(株) 大月～富士吉田間開通
	4	2	(玉川)京王電気軌道(株)へ電力の供給許可	6	22	京浜電気鉄道(株) 神奈川～月見橋間開通
	4	10	(目蒲)田園調布～大森間鉄道敷設免許申請(1930.6.19却下)	7	3	慶應義塾大学 予科の日吉移転を決定
	4	10	(目蒲)田園調布～大森間鉄道敷設免許申請(1930.6.19却下)	9	1	青梅電気鉄道(株) 二俣尾～御岳間開通
	5	28	(旧東横)東横タクシーを設立 資本金50万円	9	10	武蔵野鉄道(株) 飯能～吾野間開通

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1929 (S.4)	6	1	(旧東横)乗合自動車業を東横タクシーに譲渡	10	1	東武鉄道(株) 日光線下今市～東武日光間開通により杉戸～東武日光間全通	
	6	25	(目蒲)乗合自動車営業開始(大井町駅前～荏原車庫前間)	10	24	ニューヨーク株式市場大暴落(世界恐慌起こる)	
	8	—	(旧東横)エビス乗合自動車を傘下に収める 資本金25万円(11.21 東横乗合(株)と商号変更)	11	17	北総鉄道(株) 大宮～粕壁間開通	
	9	2	(旧東横)中目黒変電所新設	11	21	大蔵省金解禁令公布	
	9	21	(旧東横)目黒駅に第2 東横食堂を開業	11	22	北総鉄道(株) 総武鉄道(株)と改称	
	9	25	(池上)乗合自動車業(五反田～品川間)営業開始	12	12	南武鉄道(株) 分倍河原～立川間開通	
	10	22	(旧東横)東横線九品仏駅を「自由ヶ丘」と改称	12	16	国鉄東京駅八重洲口開設	
	11	1	(目蒲)二子玉川線自由ヶ丘～二子玉川間(4.0km)開通(部分開業)	12	—	東武鉄道(株) 東上線池袋～寄居間電化	
	12	25	(目蒲)二子玉川線大岡山～自由ヶ丘間(1.6km)開通により大井町～二子玉川間(10.3km)全通 大井町線と呼称				
	1930 (S.5)	1	1	(目蒲)鉄道運賃改定 対km制遠距離遜減制 最初の3キロまで1キロに付2銭3厘、以下3キロごとに1キロに付1厘遜減	1	1	鉄道省全線でメートル法実施
		2	8	(目蒲)日吉所在土地物件に関し、慶應義塾大学との間に譲渡契約締結	1	1	東京地下鉄道(株) 上野～万世橋間開通
		4	1	(目蒲)大井町線尾山台駅新設	3	1	鶴見臨港鉄道(株) 海岸電気軌道(株)を合併
5		21	(目蒲)大井町線池月駅を「洗足公園」と改称	3	15	国鉄横須賀線東京～横須賀間電車運転開始	
5		21	(目蒲)目蒲線矢口駅を「矢口渡」と改称	3	25	南武鉄道(株) 尻手～浜川崎間開通	
6		15	(旧東横)取締役服部玄三辞任	4	1	湘南電気鉄道(株) 浦賀～黄金町間、金沢八景～湘南逗子間開通	
11		26	東京山手急行電鉄(株) 東京郊外鉄道(株)と商号変更	7	—	日本水道設立(給水範囲 世田谷、弦巻、新町、上馬、下馬、若林)	
12		8	(玉川)専務(代表取締役)北川礼弼死去	8	—	日本自動車道会社 大船～江ノ島口間で自動車専用道路の営業開始	
12		22	(玉川)社長に平沼亮三就任	10	1	東武鉄道(株) 野田線清水公園～春日部間開通により大宮～柏間全通	
1931 (S.6)		1	1	(目蒲)目蒲線丸子多摩川駅を「多摩川園前」に、東京横浜電鉄東横線妙蓮寺前駅を「妙蓮寺」と改称	3	20	京王電気軌道(株) 北野～御陵間開通
		2	1	東京郊外鉄道(株) 渋谷急行鉄道(株)を合併	3	28	湘南電気鉄道(株) 乗合自動車営業開始
		3	11	(目蒲)(旧東横)社内機関誌『東横目蒲タイムス』発行	4	1	国鉄中央本線東京～甲府間電化
	5	20	(目蒲)上野毛～成城学園前間鉄道敷設免許申請(7.12申請取下げ)	4	11	湘南電気鉄道(株) 湘南逗子～葉山間開通	
	6	1	(目蒲)玉川ゴルフコース開場(1932.11.1等々力ゴルフコースと商号変更)	4	29	相模鉄道(株) 厚木～橋本間開通により茅ヶ崎～橋本間全通	
	6	12	(旧東横)監査役伊藤欣二死去	8	11	東武鉄道(株) 宇都宮線新栃木～東武宇都宮間開通	
	7	7	(目蒲)尾山台～成城学園前間鉄道敷設免許申請	9	18	満州事変勃発	
	7	25	(旧東横)東横線柿ノ木坂駅を「府立高等前」と改称	10	25	神中鉄道(株) 西横浜～平沼橋間開通	
	10	30	(池上)乗合自動車中延車庫新設	11	21	東京地下鉄道(株) 万世橋～神田間開通	
	11	11	渋沢栄一死去	12	8	東京高速鉄道(株) 東京市より地下鉄路線敷設権を譲受ける	
	1932 (S.7)	2	—	(目蒲)大森乗合自動車を傘下に収める 資本金3万円	12	13	金輸出再禁止
3		26	(池上)雪ヶ谷～丸子渡間鉄道敷設免許申請(1934.9.21取下げ)	12	19	京成電気軌道(株) 日暮里～青砥間開通	
3		31	(旧東横)東横線高島町～桜木町間単線開業(1.347km)	12	26	湘南電気鉄道(株) 黄金町～日ノ出町間開通	
3		31	(旧東横)東横線府立高等前駅を「府立高等」に、太尾駅を「大倉山」と改称	12	26	京浜電気鉄道(株) 横浜～日ノ出町間開通により湘南電気鉄道(株)と連絡完成	
5		1	(目蒲)駒沢ゴルフコース開場	1	28	上海事変勃発	
5		30	(池上)取締役社長中島久万吉辞任	2	25	鉄道弘済会設立	
7		19	(目蒲)鉄道敷設の変更追願申請(尾山台～成城学園前間を自由ヶ丘～成城学園前間に変更)(1935.7.28免許)	4	24	第1回日本ダービー 目黒競馬場で開催	
8		27	(目蒲)元住吉変電所使用開始	4	26	府立高等学校(現:東京都立大学) 碑衾町に移転開校	
9		5	(目蒲)矢口変電所使用開始	4	29	東京地下鉄道(株) 神田～三越前間開通	
9		—	(目蒲)多摩川能楽堂竣工	5	15	5.15事件 犬養首相官邸で射殺される	
10		1	(目蒲)本社事務所地名変更 品川区上大崎4-239	10	1	国鉄横浜線東神奈川～原町田間電車運転開始 桜木町～原町田間直通運転開始	
12		6	丸子鉄道(株) 上田東～丸子町間開通	10	1	東京市隣接5郡82町村市域編入、20区新設	
12	8	東横乗合(株) 城西乗合自動車を合併	12	24	東京地下鉄道(株) 三越前～京橋間開通		
12	16	日本橋白木屋火災 死者14人 重傷者21人					
1933 (S.8)	1	19	東京郊外鉄道(株) 帝都電鉄(株)と商号変更	3	27	日本 国際連盟脱退	
	2	1	目蒲乗合 設立 資本金2万円	4	1	京浜電気鉄道(株) 品川～横浜間軌間変更工事竣工(1,372mmを1,435mmに)	
	2	—	(旧東横)溝ノ口乗合自動車を傘下に収める	4	1	京浜電気鉄道(株) 国鉄品川駅に乗り入れて品川～浦賀間直通運転開始	
	4	1	(目蒲)大井町線中丸山駅を「緑ヶ丘」と改称	8	1	帝都電鉄(株) 渋谷～井ノ頭公園間開通	
	4	1	(旧東横)百貨店部を新設 百貨店新築工事着手	9	15	国鉄中央本線東京～中野間に急行電車運転開始	
	6	1	(旧東横)東横タクシーより乗合自動車業を譲受け同事業を再開	11	5	東京市電 五反田～白金台町間開通	
	6	1	(目蒲)乗合自動車業を目蒲乗合に譲渡	12	10	京成電気軌道(株) 上野公園～日暮里間開通	
	7	10	(目蒲)池上電気鉄道(株)を傘下に収める 資本金700万円	12	27	神中鉄道(株) 横浜～平沼橋間開通により横浜～厚木間全通	
	9	6	(目蒲)戸越変電所使用開始				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1933	11	18	(池上)雪ヶ谷～新奥沢間営業廃止申請			
1934	6	21	(目蒲)取締役小宮次郎辞任	2	13	内務省は多摩川の砂利採取を禁止
	6	21	(旧東横)監査役丹羽武朝辞任	3	3	東京地下鉄道(株) 京橋～銀座間開通
	7	28	(目蒲)自由ヶ丘～成城学園前間地方鉄道敷設免許申請	4	1	帝都電鉄(株) 井ノ頭公園～吉祥寺間開通により渋谷～吉祥寺間全通
	7	—	(目蒲)社内誌『清和』発刊			
	9	5	東京高速鉄道(株) 設立、専務五島慶太常務に就任 資本金3,000万円	4	1	東武鉄道(株) 乗合自動車営業開始
	10	1	(目蒲)池上電気鉄道(株)を合併 資本金1,710万円	4	21	渋谷駅前に忠犬「ハチ公」銅像建立
	11	1	(旧東横)東横百貨店を開業	5	—	慶應義塾大学予科日吉に開校(1936年移転完了)
	11	3	(旧東横)田園テニス倶楽部を開業	6	21	東京地下鉄道(株) 銀座～新橋間開通により新橋～浅草間全通
				10	6	国鉄八高線八王子～倉賀野間全通
				11	2	米大リーグ選抜野球チーム来日(ペーブルースほか)
				12	1	丹那トンネル完成 国鉄東海道本線熱海～沼津間開通(熱海線は東海道線に編入) 国府津～沼津間は御殿場線となる
				12	21	駿豆鉄道(株) 三島～伊豆長岡間開通
1935	2	9	(目蒲)鉄道運賃改定 目蒲・大井町線 区間制は対キロ制となる	3	30	国鉄伊東線熱海～網代間開通
	2	—	東京高速鉄道(株) 渋谷～新橋間工事施行認可申請(9月認可)	4	1	青年学校令公布
	4	1	(目蒲)東京横浜電鉄(株)と共同で東横目蒲電鉄健康保険組合設立	5	11	丸子橋完成
	7	26	(旧東横)大正自動車を傘下に収める 資本金5万円	7	1	国鉄総武本線船橋～千葉間電車運転開始
	10	18	(目蒲)東京高速鉄道(株) 渋谷～新橋間着工	10	1	箱根登山鉄道(株) 小田原～湯山間開通
	10	31	(目蒲)この日限りで雪ヶ谷～新奥沢間運輸営業廃止	10	15	玉川警察署開設
1936	1	1	(目蒲)目蒲線本門寺道駅を「道塚」に、大井町線洗足公園駅を「北千束」に、蛇窪駅を「戸越公園」に、戸越駅を「下神明」に、池上線東調布駅を「久ヶ原」に、慶大グラウンド駅を「千鳥町」にそれぞれ改称	1	15	日本 ロンドン軍縮会議脱退
	1	—	(旧東横)富士団体貸切自動車を傘下に収める 資本金10万円(同社は4.6、東京観光自動車と商号変更)	1	24	関西急行電鉄(株) 設立
	4	1	(旧東横)東横線碑文谷駅を「青山師範」と改称	2	26	2.26事件発生
	8	24	(旧東横)中仙道乗合自動車を傘下に収める 資本金30万円	4	—	青山師範学校(現:学芸大学)移転
	10	13	(旧東横)玉川電気鉄道(株)を傘下に収める 資本金1,250万円	4	—	法政大学予科元住吉に開校
	10	22	(玉川)役員全員辞任 社長に五島慶太、常務に篠原三千郎就任	9	15	参宮急行電鉄(株) 伊勢電気鉄道(株)を合併
	10	30	(目蒲)田園読売スタンド(のちの田園コロシアム)を開業	11	25	日独防共協定成立
	10	—	(旧東横)与野自動車を傘下に収める 資本金5,000円	12	11	国鉄常磐線日暮里～松戸間電車運転開始
	11	1	(旧東横)東横乗合(株)(資本金400万円)を合併			
	11	29	(目蒲)取締役小林一三辞任			
	11	—	(目蒲)五反田駅付属建物(地上4階、地下1階)竣工			
	11	—	(旧東横)東横映画劇場を道玄坂に開場(完成と同時に東宝に譲渡)			
	12	24	(目蒲)定時株主総会 定款一部変更「社長、専務の選任は取締役の互選による」(従来は株主総会の決議) 社長に五島慶太就任			
	12	24	(旧東横)定時株主総会 社長に五島慶太就任			
1937	1	30	(旧東横)内田自動車を傘下に収める 資本金15万円	2	11	文化勲章制定(第1回受賞 長岡半太郎ら3人)
	2	3	(目蒲)本社事務所を渋谷区大和田町1に移転	3	1	京浜地下鉄道(株) 設立
	3	3	(目蒲)額変電所使用開始	4	1	郵便料金値上げ 葉書2銭、封書4銭
	4	19	東横青年学校・東横家政女学校開校	7	7	日華事変発生(蘆溝橋で日華両軍衝突)
	5	17	(旧東横)東横食品を設立(1943.10解散)	8	8	湘南電気鉄道(株) 浦賀～竹岡間汽船営業開始
	5	19	中仙道乗合自動車は与野自動車を合併	8	14	百貨店法公布(10.1施行)
	6	1	(目蒲)調布大塚駅を雪ヶ谷駅に合併	9	11	後楽園球場開場
	6	1	(目蒲)目蒲乗合より乗合自動車業を譲受ける	11	6	伊、日独防共協定に参加
	6	1	目蒲乗合は目蒲興業と商号変更	12	13	日本軍、南京を占領
	6	1	(旧東横)日本興業(株)の乗合自動車業を譲受ける	12	14	中華民国臨時政府成立
	8	—	(旧東横)中央相武自動車を傘下に収める 資本金5万円			
	9	—	(旧東横)池袋乗合自動車を傘下に収める 資本金60万円			
	12	1	(目蒲)目黒自動車運輸および芝浦乗合自動車を合併 資本金3,000万円となる			
	12	11	(旧東横)東横興業(株)(株東急ストアの前身となった1956年設立の東横興業(株)とは別法人)を設立 資本金30万円			
1938	1	21	(旧東横)東京タクシー(株)を設立 資本金45万円	1	11	青年学校義務制となる
	4	1	(旧東横)玉川電気鉄道(株)を合併 資本金4,250万円	3	7	揮発油、重油、切符販売制となる(5.1実施)
	5	10	(旧東横)相武鶴屋自動車を傘下に収める 資本金15万4,000円	3	17	木炭乗合自動車(代燃車)登場
	5	17	(旧東横)関東乗合自動車を傘下に収める 資本金22万円	4	1	国家総動員法公布(5.5施行)
	6	8	(旧東横)東横映画(株)を設立 資本金30万円	4	2	陸上交通事業調整法公布(8.1施行)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1938	6	14	東京高速鉄道(株) 渋谷～新橋間工事施行認可	4	6	電力国家管理関連諸法公布、日本発送電株式会社法公布(電力国家管理実現)
(S.13)	6	24	(旧東横)太平自動車を傘下に収める 資本金3万1,000円	5	4	工場事業場管理令公布
	7	27	(旧東横)日吉ゴルフ倶楽部設立(1943.5解散)	6	1	京王電気軌道(株) 武蔵中央電気鉄道(株)を傘下に収める
	10	4	(目蒲)取締役中川正左辞任	7	1	国民健康保険法施行
	10	19	(目蒲)取締役佐佐木卓雄就任	7	—	ソ満国境張鼓峰で日ソ軍衝突
	10	20	(旧東横)江ノ島電気鉄道(株)を傘下に収める 資本金250万円	10	27	日本軍、武漢三鎮を占領
	10	28	(旧東横)東横運送(株)設立 資本金10万円	11	—	タクシー 全国的にメーター制となる
	11	1	(旧東横)天現寺線、中目黒線の経営を東京市に委託	12	15	国鉄伊東線熱海～伊東間全通により東京～伊東間直通運転開始
	11	1	(目蒲)職制改正 課制を廃して部制を敷く(8部40課)			
	11	18	東京高速鉄道(株) 虎ノ門～青山六丁目間開通			
	11	30	(目蒲)監査役小宮次郎辞任			
	12	20	東京高速鉄道(株) 渋谷～青山六丁目間開通			
	12	20	(目蒲)東京高速鉄道線玉電ビル3階に乗入れる			
	12	—	社長五島慶太 後楽園スタジアム監査役に就任			
1939	1	15	東京高速鉄道(株) 新橋～虎ノ門間開通により新橋～渋谷間全通(9.16渋谷～浅草間直通運転開始)	3	31	従業者雇入れ制限令、賃金統制令、工場就業時間制限令各公布
(S.14)	1	24	(旧東横)大崎合同運輸を傘下に収める 資本金30万円(1941.11日本運送(株)へ事業譲渡)	4	1	日本発送電(株) 設立
	1	—	(旧東横)民衆タクシーを傘下に収める 資本金6万円	4	12	米穀配給統制法公布
	3	10	(旧東横)玉川線玉川駅を「よみうり遊園」と改称	4	28	草津電気鉄道(株) 草軽電気鉄道(株)と商号変更
	4	10	東横商業女学校開校	5	11	ソ満国境「ノモンハン」で満・外蒙両軍衝突
	4	21	社長五島慶太 湘南電気鉄道(株)専務に就任	6	16	相武鶴屋自動車を中央相武自動車を合併、東海道乗合自動車と商号変更
	5	16	内田自動車は東横自動車販売と商号変更	7	8	国民徴用令公布(7.15施行)
	6	1	(目蒲)東京横浜電鉄(株)との合併契約締結	9	1	第二次世界大戦争勃発(独、ポーランド進撃開始)
	6	1	(目蒲)玉川線 玉電ビル2階へ乗入れ	10	18	価格等統制令、地代家賃統制令、賃金臨時措置令、会社職員給与臨時措置令各公布
	6	16	(旧東横)城南乗合自動車を傘下に収める 資本金8万円(1942.5.1解散)	10	18	電力調整令公布(10.20施行)
	6	20	東横神社竣工	12	—	百貨店 年末贈答品の大量出しおよび配達を廃止 門松全廃
	6	22	東横神社で伊勢神宮よりの本体遷座式を行う			
	6	23	東横神社で鎮座奉祝祭と物故社員の第一回慰霊祭を挙行			
	6	24	社長五島慶太 京浜電気鉄道(株)専務に就任			
	7	18	社長五島慶太 播丹鉄道取締役辞任			
	8	30	上田温泉電軌(株) (旧)上田電鉄(株)と商号変更			
	9	20	(目蒲)玉電ビルと帝都電鉄線の連絡橋開通			
	9	24	(旧東横)神中鉄道(株)を傘下に収める 資本金150万円			
	10	1	(目蒲)東京横浜電鉄(株)を合併 資本金7,250万円			
	10	15	社長五島慶太 小田原急行鉄道(株)取締役就任			
	10	16	臨時株主総会 東京横浜電鉄(株)と商号変更			
	10	16	玉川線停留場の名称を一部改称、池尻を「玉電池尻」に、中里を「玉電中里」に、瀬田を「玉電瀬田」に、西山を「西太子堂」に、若林を「玉電若林」に、山下を「玉電山下」に、太子堂を「東太子堂」と改称			
	10	—	等々力ゴルフコース閉鎖			
	11	4	中国に武漢交通を設立 資本金100万円			
	11	16	秦野自動車を傘下に収める 資本金10万円			
	11	21	横浜市街自動車を傘下に収める 資本金15万円			
	11	21	社長五島慶太 神中鉄道(株)社長に就任			
	11	—	京浜タクシー設立			
	12	8	大中農場 設立 資本金30万円			
	12	11	東横線に工業都市駅新設			
	12	26	川崎ゴルフ倶楽部を傘下に収める 資本金50万円(1944年解散)			
	12	—	社長五島慶太 富士山麓電気鉄道(株)取締役に就任			
1940	2	1	中仙道乗合自動車 池袋乗合自動車を合併	1	1	参宮急行電鉄(株) 関西急行電鉄(株)を合併
(S.15)	2	28	日本興業(株) 目蒲興業を合併 資本金42万円	2	1	陸運統制令、海運統制令各公布
	3	1	新田変電所使用開始	3	12	武蔵野鉄道(株) 多摩湖鉄道を合併
	3	14	ジャパンモーターを傘下に収める 資本金40万円	4	24	米、みそ、醤油、塩、マッチ、木炭、砂糖など10品目に切符制採用
	3	20	東横車輛工事(株) 設立 資本金18万円	5	1	小田原急行鉄道(株) 帝都電鉄(株)を合併
	3	30	(旧東横)学園 設立、社長五島慶太 東横学園理事長に就任、東横商業女学校を「東横女子商業学校」と改称	7	27	大本営 政府連絡会議(武力行使を含む南進政策決定)
	3	—	東横興業(株) 熱海店開店	7	—	国鉄渋谷駅島式ホームを相対式に改造
	6	10	台湾に東横産産を設立 資本金19万円	8	1	参宮急行電鉄(株) 養老電鉄(株)を合併
	6	23	玉電ビルと国鉄渋谷駅ホームとの連絡口完成	9	23	日本軍 仏領インドシナ北部に進駐
	8	—	社長五島慶太 鉄道軌道連合会会長に就任	9	27	日、独、伊、三国同盟締結
	10	1	神中運送設立 資本金10万円	10	12	大政翼賛会発会式
	10	5	新宿興業を傘下に収める 資本金12万5,000円	10	19	会社経理統制令、銀行等資金運用令、改正賃金統制令、地代家賃統制令各公布
	10	10	東横教習所開設			
	10	15	池上町～荏原町間起業廃止許可申請(旧池上電気鉄道、1941.4.30許可)	11	21	宅地建物等価格統制令公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1940 (S.15)	11	—	東横線網島温泉～大倉山間線路変更工事着手			
	12	1	大井町線二子玉川駅、玉川線よみうり遊園駅を統合し「二子読売園」と改称			
	12	11	東横砂利運送株 設立 資本金10万円			
	12	23	横浜市街自動車は東横タクシーと商号変更			
	12	28	昭和興業を傘下に収める 資本金10万円			
1941 (S.16)	1	21	東横興業株 東横食品店開業(玉電ビル1階および地階)	1	1	全国の映画館でニュース映画の強制上映実施
	2	—	社長五島慶太 鬼怒川興業社長に就任	3	1	鬼怒川水力電気株が小田急電鉄株と改称(小田原急行鉄道株は解散)
	3	1	鬼怒川水力電気株 小田原急行鉄道株を合併し小田急電鉄株と商号変更	3	7	帝都高速度交通営団法公布(5.1施行)
	3	2	社長五島慶太 東京商工会議所副会頭に就任	3	15	大阪電気軌道株 参宮急行電鉄株を合併し関西急行鉄道株と商号変更
	3	10	静岡電気鉄道株を傘下に収める 資本金267万円			
	4	—	奨学資金貸与制度設定	4	1	小学校を国民学校と改称
	5	14	元住吉変電所使用開始	4	1	6大都市に米穀配給通帳制実施(主食基準配給量2合3勺)
	6	10	神中運送は伊勢原トラックを合併	4	5	国鉄横浜線電化完成 桜木町～八王子間直通電車運転開始
	6	30	相模鉄道株を傘下に収め、社長五島慶太 相模鉄道株社長に就任 資本金500万円	4	13	日ソ中立条約調印
	7	3	社長五島慶太 帝都高速度交通営団理事に就任	5	1	富士身延鉄道国有化
	8	1	厚木共進運送自動車を傘下に収める 資本金90万円	6	1	東武鉄道株 小泉線東小泉～太田間開通により館林～太田間全通
	8	8	相鉄運輸株を傘下に収める 資本金90万円	6	22	独、伊はソ連に宣戦布告
	8	8	相武土地建物を傘下に収める 資本金50万円	7	4	帝都高速度交通営団 設立 資本金6,000万円
	9	4	桜木町～京浜電気鉄道日ノ出町駅間連絡線敷設認可申請	7	10	山陽本線関門トンネル下り線貫通
	9	5	藤沢運輸を傘下に収める 資本金16万9,400円	7	28	日本軍 仏領インドシナ南部に進駐
	9	20	社長五島慶太 小田急電鉄株社長に就任	8	30	配電統制令、重要産業団体令、金属類回収令、株式価格統制令各公布
	11	25	社長五島慶太 京浜電気鉄道株社長に就任	9	1	東京高速鉄道株、東京地下鉄道株、京浜地下鉄道株は帝都高速度交通営団に統合
	12	1	多摩川園劇場開場(旧ことり座改装)	9	6	電力国家管理(9配電統制会社設立命令)
	12	20	玉川線臨時上通り停留場設置、道玄坂上、大坂上、玉電池尻、東太子堂、真中、身延山別院前の各停留場営業休止	10	1	乗用車のガソリン使用禁止
	—	—	駒興亜協会(現:学亜細亜学園)設立	11	1	京浜電気鉄道株 湘南電気鉄道株を合併
	—	—	駒沢ゴルフコース閉鎖	11	25	神中鉄道株 相模国分～海老名間開通
				11	25	神中鉄道株 小田急電鉄株相模厚木駅乗入れ運転開始
				12	8	太平洋戦争開戦
				12	8	労務調整令公布
				12	25	日本軍 香港を占領
1942 (S.17)	2	1	陸上交通事業調整法に基づき東京市に山手線以東の旅客自動車運輸事業(22.62km)を譲渡	1	2	日本軍 マニラを占領
	3	15	社長五島慶太 関西急行鉄道株監査役に就任	2	1	衣料に点数切符制実施
	3	—	東海道乗合自動車は秦野自動車を合併	2	15	日本軍 シンガポールを占領
	4	1	関東配電に電灯電力供給設備を現物出資、貯蔵品、従業員引渡す 社長五島慶太、理事に就任	2	21	食糧管理法公布
	4	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2銭 軌道1区5銭、全線6区、最高30銭を5区分に特定	3	30	関東配電設立
	5	1	京浜電気鉄道株、小田急電鉄株を合併し「東京急行電鉄株」に商号変更 資本金2億480万円	4	1	配電統制令に基づく9配電会社発足
	5	1	小田原線小田急本社前駅を「南新宿」と改称	4	18	米国防母より日本本土初空襲
	5	1	久里浜線臨時建設部設置	5	7	日本軍 マニラ湾コレヒドール島占領
	5	8	3社合併記念式典を東横映画劇場で挙げる	5	30	鉄道軌道統制令 設立(鉄道同志会は解散)
	5	17	箱根登山鉄道株を傘下に収める 資本金500万円	11	1	大東亜省設置
	5	30	社長五島慶太 箱根登山鉄道株、富士箱根自動車の社長に就任	11	7	鉄道省は乗車券発売を制限 行楽、買出し、乗越しを禁止
	5	—	横浜自動車、富士箱根自動車、足柄自動車を傘下に収める	11	15	関門トンネル開通
	7	13	シンガポールに当社直轄のマライ運輸部設置	11	—	百貨店の売場縮小 統制会社などの事務所に提供
	8	26	蒲田～京浜蒲田間地方鉄道敷設免許申請			
	8	—	中国に上海乳業設立 資本金200万円			
	9	3	神中自動車工業を傘下に収める 資本金100万円			
	9	5	東京急行電鉄産業報国会結成			
	9	—	社長五島慶太 東京宝塚劇場取締役役に就任			
	9	—	社長五島慶太 日本自動車工業社長に就任			
	10	1	相模野臨時建設部設置			
	11	—	東横タクシーは京浜タクシー、横浜自動車を合併			
	12	1	湘南線横須賀堀ノ内～久里浜駅間(4.5km)開通			
	12	5	神中運送は藤沢運輸ほか3社を合併 資本金520万8,000円となる			
				12	17	横須賀駅～堀ノ内間(4.4km)、横須賀駅～小田和間(9.7km)無軌条電車工事許可申請
				12	21	東横運送株は京浜運輸を合併 資本金118万円となる
1943 (S.18)	1	31	小田原運送設立 資本金95万円	1	21	中学校の修業年限を1年短縮し4年制に、大学予科、高等学校高等科も修業年限を短縮、2年とする
	2	15	湘南線六浦荘仮駅を開設	2	1	日本軍 ガダルカナル島から撤退開始
	3	20	バリ島テンパサルにバリ島事業本部(ホテル、陸上交通事業)を設置	2	1	関西急行鉄道株 大阪鉄道株を合併
	3	26	柿生変電所使用開始	5	1	東武鉄道株 下野電気鉄道株を合併

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1943 (S.18)	3	31	小田原線海老名国分駅廃止	5	16	東武鉄道株 小泉線太田～西小泉町間電化
	4	1	乗合自動車横浜営業所は杉田営業所と改称 乗合自動車路線15系統(50km)休廃止	6	1	播丹鉄道、富山地方鉄道国有化
	4	5	二子読売園～溝ノ口間工事方法変更ならびに大井町線列車乗入運転実施許可	6	—	東京昭和通りの植樹地帯は畑になる 神奈川の各ゴルフ場も農園化
	4	8	藤沢自動車を傘下に収める 資本金24万1,000円	7	1	鶴見臨港鉄道株国有化
	4	9	大山鋼索鉄道株を傘下に収める 資本金50万円(1944.2解散)	7	1	東武鉄道株 越生鉄道株を合併
	4	17	相模鉄道株 神中鉄道株を合併	7	1	東京都制実施
	4	28	伊勢原自動車を傘下に収める 資本金22万5,000円	8	1	ビルマ独立宣言、米英に宣戦布告 日本、ビルマ同盟条約調印
	5	10	多摩川園の鉄の塔、虹の橋を解体	9	8	イタリア 無条件降伏
	5	15	静岡電気鉄道株、藤相鉄道株、中遠鉄道株、静岡乗合自動車株、静岡交通自動車株の5社を合併し静岡鉄道株と商号変更	9	23	閣議で販売店員、出改札係、車掌、理髪師など17職種の男子就業禁止 25歳未満の女子を勤労挺身隊として動員
	5	—	五島慶太、会長に就任(6.18)	10	14	フィリピン共和国独立宣言 日本、フィリピン同盟条約調印
	5	—	東横映画株 新宿興業を合併	10	19	東武鉄道株 小泉線館林～東小泉町間電化
	6	1	自動車部世田谷・恵比寿両営業所廃止	10	21	学生の徴兵延期停止
	6	1	品川線軌道を地方鉄道に変更	10	31	軍需会社法公布(12.17施行)
	7	1	大井町線列車溝ノ口駅まで乗入れ開始	11	1	運輸通信省・軍需省・農商務省発足
	8	2	渋谷診療所開設	12	1	横浜市に南区新設
	8	20	取締役新井章治辞任	12	5	東武鉄道株 熊谷線妻沼～熊谷間開通
	8	31	東横実業 設立 資本金15万円	12	10	文部省 学童の縁故疎開促進を発表
	8	—	神中線複線化工事に着手	12	24	徴兵年齢20歳を19歳に引下げ
	8	—	東横被服修理 設立			
	9	21	久里浜線久里浜仮駅～久里浜駅間(0.5km)開通により仮駅廃止			
	10	1	旭造船 設立 資本金300万円			
	10	21	(旧)上田電鉄株 丸子鉄道株と合併し、上田丸子電鉄株と商号変更			
	10	23	相模通運 神中運送を合併			
	10	—	健民修練所開設			
	11	1	京浜線子安駅を「京浜新子安」と改称			
	11	17	社長五島慶太 内閣顧問に就任			
	11	20	臨時蕨麻(ひま)栽培部は戦時殖産部と改称			
	12	1	乗合自動車営業所を統合(城南は神明に、小杉・神奈川は川崎に、大船は鎌倉に)			
	12	1	雑色営業所を「大鳥居営業所」と改称			
	12	1	東横線青山師範駅を「第一師範」に、府立高等駅を「都立高等」と改称			
12	27	相模運送 設立 資本金155万円				
12	27	平塚運送 設立 資本金120万円				
12	27	定時株主総会 定款中一部改正、「副社長制」を可決 副社長に篠原三千郎就任				
12	30	横浜東部運送 設立 資本金500万円				
1944 (S.19)	1	15	乗合自動車 高輪・大正両営業所を廃止し、大鳥居・中野各営業所に統合	1	26	防空法による疎開命令発令
	1	25	大師線コロンビア前駅を「港町」と改称	3	1	東武鉄道株 総武鉄道株(現:東武野田線)を合併
	1	—	喜多見診療所開設	3	—	地方自治体による私鉄車両工場の国家管理実施
	2	1	品川運送株 設立 資本金110万円	4	1	横浜市に西区新設
	2	12	横浜市内の運送会社14社を統合して横浜西部運送株 設立 資本金280万円	4	1	関西急行鉄道株 信貴山急行電鉄、南和電鉄、大鉄百貨店を合併
	2	19	五島慶太 運輸通信大臣に就任 当社社長を辞任	4	1	国鉄横須賀線横須賀～久里浜間開通
	2	24	社長に篠原三千郎、副社長に池辺稻生就任	4	1	南武鉄道株国有化(浜川崎～武蔵岩井間ほか計61.6km)
	2	—	疎開命令により本社建物を取り壊し	4	1	青梅電気鉄道国有化(立川～御岳間29.0km)
	3	6	勤務時間1時間延長、土曜半休廃止	6	1	関西急行鉄道株と南海鉄道株が合併 近畿日本鉄道株新設
	3	15	日曜休日制廃止 ただし2週に1回休日(1945.8.28廃止)	6	1	国鉄 相模鉄道株相模線国有化
	3	28	城南運送株 設立 資本金330万円	6	15	米軍が日本軍が守備するサイパン島に上陸
	3	31	川崎大師～桜木間工事施行認可申請(5.29認可)	7	1	国鉄青梅線御嶽～氷川間開通
	4	1	鉄道運賃改定 最低運賃大人10銭、小児5銭	7	7	サイパン島で日本軍の守備隊が全滅
	4	1	久里浜線久里浜駅を「湘南久里浜」と改称	7	31	常北鉄道株 日立電鉄株と商号変更
	4	20	元住吉ほか6車両工場が国家管理となる	8	1	空襲被害により中央・横浜・南武各線不通(7日後復旧)
	4	—	横浜診療所開設	8	10	空襲被害により東北・山手各線不通
	5	9	湘南線谷津坂駅(現:能見台駅)開設	8	13	空襲被害により京浜・南武各線不通
	5	12	林～衣笠間地方鉄道敷設免許申請	8	23	女子挺身勤労令公布
	5	18	関東特殊繊維 設立 資本金15万円	10	13	川崎市電 川崎駅前～東渡田5丁目間開通
	5	27	東海道乗合自動車 藤沢自動車、伊勢原自動車を合併して神奈川中央乗合自動車と商号変更	10	18	徴兵年齢19歳を17歳に引下げる
	5	31	京王電気軌道株を合併 資本金2億2,415万円	10	24	レイテ沖海戦 日本連合艦隊主力を失う
	5	31	京王営業局を新設	11	1	たばこ、隣組配給となる(男子1日6本)
	5	31	京王電気軌道株合併により東都乗合自動車を継承	11	13	日本野球報国会、プロ野球休止声明
	5	—	鳩ヶ谷自動車を傘下に収める	11	24	米機B29約70機、東京を大空襲
	6	1	厚木通運株を傘下に収める 資本金19万5,001円			
6	1	横須賀運送株 設立 資本金200万円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1944 (S.19)	6	1	大師線延長線川崎大師～産業道路間(1.3km)開通			
	6	1	小田原線河原口駅を「厚木」に、相模厚木駅を「本厚木」に、西大和駅を「大和」に、京王線日大前駅を「下高井戸」と改称			
	7	18	五島慶太 運輸通信大臣を辞任			
	7	20	重役室総務局の一部および防衛事務局は、新宿営業局内に移転			
	7	31	箱根登山鉄道株 富士箱根自動車、足柄自動車を合併 資本金625万1,200円			
	8	1	府中乗合自動車商會を傘下に収める			
	8	7	砧線・大井町線の一部(二子読売園～溝ノ口間) および京王線の地方鉄道への変更申請			
	8	25	乗合自動車浦賀営業所は久里浜営業所と改称			
	9	16	東横自動車販売は目黒ボデー製作所を合併し東横自動車工業と商号変更			
	9	29	京浜線品川～北品川間の専用軌道・地方鉄道への変更申請			
	10	1	大師線延長線産業道路～入江崎間(3.0km)開通			
	10	16	小田原線螢田仮駅開設			
	10	20	東横線綱島温泉駅を「綱島」に、大井町線二子読売園駅を「二子玉川」に、小田原線鶴巻温泉駅を「鶴巻」に、京浜線キリンビル前駅を「キリン」に、大師線味ノ素前駅を「鈴木町」にそれぞれ改称			
	10	21	相模運輸株 四谷、小石川、牛込各区の貨物自動車運送事業13社を統合 資本金245万円			
	10	—	横須賀自動車工業を傘下に収める 資本金39万8,000円(6.30持株を同社役員に譲渡)			
	11	10	玉川線宮ノ坂、砧線中耕地、大蔵の各停留場を廃止 京浜線北馬場、浜川、鈴ヶ森、大森八幡、総持寺、平沼の各駅を廃止			
	11	29	川崎変電所使用開始			
	11	—	桜上水診療所を開設			
	12	1	日本タイヤ再生工業を傘下に収める 資本金10万円			
	12	22	林～衣笠間地方鉄道敷設免許			
12	26	東横運送株 渋谷貨物自動車運輸ほか8社を合併				
12	26	京浜線鶴見市場駅構内で衝突事故(死者53人)				
12	28	東横砂利運送株 東京砂利運送株と商号変更				
12	28	定時株主総会 定款中一部改正「会長制」を可決 会長に五島慶太就任				
12	29	王子運送 設立 資本金180万円(1947.5持株を同社役員へ譲渡)				
12	—	東都乗合自動車 中仙道乗合自動車・鳩ヶ谷自動車を合併				
1945 (S.20)	1	7	大師線延長線入江崎～桜本間(11.2km)開通	1	1	川崎市電 桜本～池上新田間開通
	1	21	京王線北野～多摩御陵前間(6.4km)営業休止	1	2	国鉄長野原線渋川～長野原間開通
	1	—	関東乗合自動車は中野乗合自動車、進運乗合自動車、昭和自動車商會を合併	1	27	軍需充足会社公布
	2	1	足立、葛飾地区の運送業者を統合して城北運送を設立 資本金270万円(1947.10持株を同社役員へ譲渡)	3	6	国民勤労員令公布(国民徴用令・国民勤労協力令・女子挺身勤労令・労務調整令・学校卒業者使用制限令廃止)
	2	4	東京砂利運送株 玉川運送ほか5社を合併	3	10	東京大空襲 江東地区全滅 続いて4月13日(160機)、15日(200機)と大空襲があり、5月24日の大空襲で皇居全焼のほか東京都内の大半焼失
	2	24	京浜線品川～北品川間の専用軌道・地方鉄道変更認可	3	17	硫黄島守備隊全滅
	3	12	社長篠原三千郎、副社長池辺稲生辞任 社長に平山孝就任	4	11	川崎市電日本鋼管前～浜町3丁目間開通
	3	14	営業局を廃止して管理部制実施	4	15	川崎空襲
	3	15	軍需充足会社に指定	5	7	ドイツ、連合軍に無条件降伏
	4	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり3銭、軌道1区10銭 全線3区	5	19	運輸通信省廃止、運輸省新設
	4	1	草軽電気鉄道株を傘下に収める 資本金200万円	5	29	横浜大空襲
	4	—	秦野診療所開設	6	23	沖縄守備隊全滅
	5	1	軌道運賃改定 全線20銭均一	6	25	京成電気軌道株 京成電鉄株と商号変更
	5	24	5.24～5.25の空襲により本社事務所および東横百貨店、清和会館建物焼失、各線被害甚大、電車51両、乗合自動車45両焼失	6	—	東京都の人口、349万人に減少
	5	28	篠原三千郎 相模鉄道株社長に就任	8	6	米機B29広島に原子爆弾投下(8.9長崎に投下)
	6	1	京浜内燃機株を傘下に収める 資本金25万円 同社は東急自動車整備株と商号変更	8	8	ソ連、対日宣戦布告
	6	1	相模鉄道株の運輸営業管理を受託、相模管理部を新設	8	14	太平洋戦争終戦(翌日玉音放送)
	6	1	東横線並木橋、新太田町、目蒲線道塚の各駅営業休止	9	1	東亜交通社は日本交通公社と商号変更
	6	4	本社事務所を渋谷区上通り2-55東横百貨店内に置く	9	2	米ミズーリ号艦上において降伏文書調印
	6	6	株東横百貨店 地下売場において営業開始(戦災復旧)	9	22	武蔵野鉄道株 西武鉄道株を合併し西武農業鉄道株と商号変更
	6	16	東横線武蔵小杉駅営業開始	10	15	治安維持法廃止の件公布
	7	15	玉川線豪徳寺前停留場を移設し「宮ノ坂」と改称	10	23	運輸省 制服着用の上陸軍軍人の無料輸送を通達
	7	20	福相工業 東急燃料生産と商号変更(1950.3解散)	10	24	陸運統制令廃止
	7	24	京王線新宿駅を国鉄新宿駅青梅口に移転開設	10	—	警視庁 10月の闇値発表 米1升70円(基準価格53銭)、砂糖1貫目1,000円(3円75銭)、その他食油、酒など
	7	25	池上線桐ヶ谷駅営業休止	11	1	全国人口調査実施 総人口 7,199万8,104人
	8	9	林～衣笠間建設工事施行認可	12	6	川崎市電浜町3丁目～桜本3丁目間開通
				12	17	婦人参政権を含む改正選挙法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1945 (S.20)	8	14	目蒲線蒲田駅電車発着場を池上線発着場に移転	12	22	労働組合法公布(1946.3.1施行)
	8	15	砧線、大井町線の一部(二子玉川～溝ノ口間)、京王線が地方鉄道として認可される	12	26	鉄道軌道統制会解散
	8	15	軍需充足会社の指定解除			
	8	20	社長平山孝辞任、社長に小宮次郎就任			
	8	25	自動車部浦賀営業所移転、久里浜営業所と改称			
	9	1	臨時戦後復興委員会設置(1946.8.1廃止)			
	9	8	英文社名および略称決定			
	9	26	東横タクシーは横浜タクシーほかタクシー会社19社を統合して神奈川都市交通(株)と商号変更			
	10	1	社員勤務時間を改定 5.1～9.30 8時～16時 10.1～4.30 9時～16時			
	10	1	京王線 砧線全線、大井町線二子玉川～溝ノ口間を地方鉄道に変更			
	10	8	監査役松本丞治辞任			
	10	10	乗合自動車大島居営業所は雑色営業所と改称			
	10	22	小田原線で進駐軍専用車運転開始 厚木線、東横線、湘南線でも運転			
	10	29	穴守線稲荷橋～穴守間運輸営業休止			
	10	—	大蔵大臣に対し湘南線金沢八景駅の西側一帯の旧第一海軍技術廠支廠を車両工場(のちの東急車輛製造株)に転換することを起案し、一時使用認可を申請(1946年に大蔵省やGHQから許可)			
	11	16	東急教習所設置			
	11	20	城南運送(株)を傘下に収める 資本金330万円			
	12	1	健民修練所廃止			
	12	5	取締役佐堂卓雄辞任			
	12	6	大師線と川崎市営電車は桜本で接続、川崎大師～桜本～川崎間直通			
12	7	副社長に三浦貢、立花栄吉就任				
12	10	東京急行従業員組合結成				
12	18	東京タクシー(株) 日東自動車ほか11社1個人を統合して日本自動車交通(株)を設立 資本金1,000万円(12.29日本交通株と商号変更)				
12	20	職制一部改正 勤労部新設				
12	—	箱根観光(強羅ホテル経営)を国際興業へ譲渡				
1946 (S.21)	1	8	定年制を実施(満55歳)	1	4	GHQ、軍国主義者の公職追放および超国家主義団体の解散を指令
	1	16	京王管理部桜上水車庫で出火により車両5両焼失			
	1	28	新宿管理部鶴巻駅で列車転覆(死者30人、重軽傷者165人)	1	20	関東地方労働組合協議会結成
	2	10	バス運賃改定 1区50銭、2区80銭、3区1円、4区1円20銭	1	22	東京近郊電鉄連合会結成
	2	10	労働組合は、東京急行労働組合と東京急行従業員組合の2組合に分裂	2	17	預金封鎖、新円切換 2.25 新円交換開始 1人500円まで 3.3以降旧円流通禁止
	2	20	横浜製作所創立準備委員会設置	2	23	中学校を5年制、高等学校・大学予科を3年制にそれぞれ復活
	2	23	厚木線柏ヶ谷駅開設(4.1大塚本町と改称)	4	10	衆議院議員選挙で婦人立候補者89人中39人当選
	3	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり7銭5厘、最低運賃大人20銭、小児10銭、軌道均一乗切制40銭	4	26	人口調査の結果 失業者数600万人
	3	1	社長小宮次郎、副社長三浦貢、取締役立花栄吉辞任 社長に小林中、副社長に尾川武夫、取締役に井田正一就任	5	1	11年ぶり第17回メーデー復活 皇居前に50万人集まる
	3	11	東横百貨店本館2階売場開設	5	3	極東国際軍事裁判 東条英機ほか27人のA級戦犯容疑者の起訴状発表
	3	12	東京建設工業株 設立 資本金200万円	7	24	運輸省 7万5,000人解雇を組合に申入れ
	3	14	神奈川支部および東京支部(5.1)設置。各バス営業所を統轄	8	1	日本労働組合総同盟結成
	3	15	井ノ頭線神泉駅休止	8	1	全国一斉闇市取締り実施
	3	29	専務に鈴木幸七、三宮四郎就任	8	16	経済団体連合会創立
	3	—	東横映画(株) 多摩川園を合併	8	19	全日本産業別労働組合会議結成
	4	8	会長五島慶太 日本興業株社長に就任	9	27	労働関係調整法公布
	4	23	労働組合統合、東急労働組合に	10	18	新京成電鉄(株) 設立
5	4	労働組合は会長五島慶太以下全役員の退任を要求	10	—	ハイヤー・タクシーの午後6時以後の営業全面禁止	
5	15	東横興業(株) 東横縫製を合併	11	1	第1回国民体育大会 京都・大阪中心に開催	
5	27	国鉄長野原線の払下申請(1948.6.15取下げ)、長野原～新鹿沼間地方鉄道敷設免許申請(1948.6却下)	11	3	日本国憲法公布	
5	31	東横線並木橋、新太田町、目蒲線道塚、小田原線山谷駅廃止	11	15	西武農業鉄道(株) 西武鉄道(株)と商号変更	
6	10	砧線中耕地停留場開設				
6	15	新日本興業(株)(現:株東急レクリエーション) 設立				
6	18	横浜製作所の経営を東急興業に委託				
7	22	専務に安藤櫛六、黒川涉三就任				
7	25	東横線神奈川駅休止				
8	1	管理部制を廃止して支社制実施 京王・新宿・渋谷・目黒・品川・横浜・相模各支社を設置				
8	8	小田原線世田谷中原駅を「世田谷代田」と改称				
8	11	会社経理応急措置法により特別経理会社に指定される				
8	15	相模スレート 設立 資本金19万5,000円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1946 (S.21)	8	24	旭海運(株) 設立 資本金 18万円			
	9	4	日東林業 設立 資本金 350万円(1948.5.17他へ譲渡)			
	9	10	経済再建委員会設置			
	9	14	東急鉄道学校開校(旧:東急青年学校)			
	9	—	東横線で進駐車専用車運転(1952.3廃止、他3線とも)			
	10	18	特別経理会社の指定解除			
	11	26	監査役内田信也辞任			
	11	—	自由ヶ丘診療所開設			
	11	—	東都乗合自動車を国際興業に譲渡			
	12	1	東急自動車整備(株) 東急自動車(株)と商号変更			
	12	18	(株)東急ベースボール倶楽部 設立 資本金 10万円			
	12	28	労働協約締結			
1947 (S.22)	1	20	湘南線 湘南富岡駅廃止	1	10	日本私鉄労働組合総連合会結成
	2	1	監査役石坂泰三辞任	1	31	マッカーサー 2.1ゼネストに対し中止を指令
	2	15	バス運賃改定 1区50銭、1区増すごとに50銭加算	3	1	東武鉄道(株) 野田線柏～船橋間電化(現:東武野田線)
	2	28	平塚貨物運送は日本モーターと商号変更	3	15	東京都35区を22区に整理統合、大田区発足
	3	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり9銭5厘 最低運賃大人50銭、小児30銭 軌道均一乗切制、全線60銭均一	3	31	教育基本法、学校教育法各公布(6・3・3・4制を規定 4.1実施)
	3	8	東京乗車券印刷設立 資本金 10万円	4	7	労働基準法公布(9.1施行)
	3	15	江ノ島電気鉄道(株)の持株を役員に譲渡	4	14	独占禁止法公布(7.20施行)
	3	25	静岡鉄道(株)・横須賀運送(株)・神奈川都市交通(株)の持株を各社役員に譲渡	4	17	地方自治法公布(5.3施行)
	4	1	東横線東白楽、井ノ頭線神泉両駅再開	4	20	第1回参議院議員選挙
	5	7	経済再建委員会のなかに第1、第2専門委員会設置	5	3	日本国憲法施行
	5	31	相模鉄道(株)の運輸営業管理受託打ち切り	6	1	東武鉄道(株) 日光軌道を合併
	5	—	王子運送・厚木通運・東横実業・関東特殊繊維の持株を各社役員に譲渡	6	1	近畿日本鉄道(株) 旧南海鉄道(株)に属した事業を南海電気鉄道(株)に譲渡
	5	—	五島慶太 ヒカリ座社長に就任	7	1	公正取引委員会発足
	5	—	バス事業合計114.9kmの路線で営業再開	8	4	最高裁判所発足
	6	25	東京都との協定により、乗合バスの都内相互乗入れ開始	8	9	古橋広之進 水泳400m自由形競泳で世界新記録
	6	30	小田急運送・横須賀自動車工業の持株を各社役員に譲渡	10	—	トヨタ自動車工業 乗用自動車トヨベットの生産開始
	7	7	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり35銭、最低運賃 大人1円、小児50銭、軌道1区1円、全線2区乗切制	11	28	私鉄経営者連盟発足
	7	15	バス運賃改定 1区1円	11	30	職業安定法公布
	7	28	横浜製作所の経営委託を解除、直営とする	12	1	失業保険法公布
	8	4	監査役霜山精一辞任	12	18	過度経済力集中排除法公布
	8	—	五島慶太、公職追放の指定を受ける	12	22	民法改正
	9	1	週休制実施	12	27	新京成電鉄(株) 新津田沼～薬園台間開通
	9	5	東横百貨店3・4階戦災復旧	12	31	内務省廃止
	9	9	社長小林中辞任			
	9	13	電気自動車運行開始(約2年間)			
	10	15	太泉映画(株) 設立 資本金 1,400万円			
	10	—	城北運送持株を同社役員に譲渡			
	1948 (S.23)	1	4	臨時会社再建委員会設置	1	1
2		1	軌道運賃改定 均一乗切制、全線2円	1	1	新戸籍法施行、道路運送法施行
2		—	神中自動車工業の持株を同社役員に譲渡	4	1	新学制による小・中学校発足
3		10	天現寺線・中目黒線を東京都に譲渡(渋谷～天現寺間、渋谷橋～中目黒間4.08km)	4	28	夏時刻法公布(サマータイム)
3		25	バス運賃改定 最低区界を2～3キロの等距離に	5	15	横浜市に金沢区新設
3		25	東横学園高等学校新設	7	3	京浜急行電鉄(株) 湘南逗子～逗子海岸間開通
3		31	東急鉄道学校廃校	7	20	国民の祝日決定公布
4		1	東海定期運送設立 資本金 100万円	8	12	私鉄経営者連盟は解散し、私鉄経営者協会発足
5		1	会社再編成に伴い百貨店業を東横興業(株)に譲渡	8	15	大韓民国成立
5		6	(株)東急弘潤会 設立 基本財産 20万円	8	16	国鉄桜木町～根岸間地方鉄道敷設免許申請(1959.4.1却下)
5		8	会社再編成計画による地方鉄道、軌道、旅客自動車運輸事業譲渡許可申請	8	26	新京成電鉄(株) 薬園台～滝不動間開通
5		18	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり61.25銭、最低運賃大人2円、小児1円、軌道均一乗切制3円50銭	9	9	朝鮮民主主義人民共和国成立
5		21	バス運賃改定 賃率1キロ当たり1円50銭	9	12	夏時刻を標準時刻に切替え
5		21	京王帝都電鉄(株)・小田急電鉄(株)・京浜急行電鉄(株) 創立総会開催	10	—	小田急電鉄(株) 特急電車運転開始
5		29	取締役一色定雪、上田甲午郎、沢勝蔵、監査役三宮四郎それぞれ辞任	11	12	極東国際軍事裁判 A級戦犯被告に有罪判決
6		1	会社再編成に伴い京王帝都電鉄(株)、小田急電鉄(株)、京浜急行電鉄(株)を設立 それぞれに鉄道および軌道事業、自動車運輸事業、砂利業、田園都市業ならびにこれに付帯する設備を譲渡 箱根登山鉄道(株)・神奈川中央乗合自動車を小田急電鉄(株)に譲渡、京浜百貨店・ジャパンモーター・日本自動車工業を京浜急行電鉄(株)に譲渡	12	18	GHQ 日本政府に経済安定9原則の実施を指令
				12	20	日本国有鉄道法、日本専売公社法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1948 (S.23)	6	1	東横興業(株) (株)東横百貨店と商号変更			
	6	1	会社再編成時の乗合バス車両188、営業所7			
	6	30	東急興業解散			
	7	18	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり1円20銭、最低運賃大人3円、小児2円 軌道全線7円			
	7	20	バス運賃改定 賃率1キロ当たり2円25銭 通行税収入の105分の5			
	8	1	玉川線西太子堂、宮ノ坂両停留場の駅業務を(株)東急弘潤会に委託			
	8	11	本社事務所を東横百貨店6・7階に移転			
	8	18	技術運輸協議会設置			
	8	20	取締役矢板豊一、神津康人辞任			
	8	23	(株)東急横浜製作所 設立 資本金 2,500万円			
	9	—	五島慶太 内外徳田証券取締役に就任			
	10	11	資本金2億2,415万円を4億円に増額			
	11	1	乗合バス東京駅～自由ヶ丘間に都営バスとの相互乗入路線開設			
	11	18	双栄運輸設立 資本金 600万円			
	11	25	大型車日野トレーラーバス(定員97人)運転開始(都内乗入線)			
	11	25	東京砂利運送(株) 東急貨物運送(株)と商号変更			
	11	30	二俣尾(多摩川)砂利採取場を譲渡			
	12	15	乗合バス東京駅～池上間都営バスとの相互乗入路線開設			
12	27	定時株主総会 社長井田正一、副社長安藤楯六辞任 社長に鈴木幸七就任				
1949 (S.24)	2	21	神奈川県観光株設立	1	8	新京成電鉄(株) 滝不動～鎌ヶ谷大仏間開通
	2	22	五島慶太 城南運送(株)会長に就任	2	1	国鉄東海道本線沼津～静岡間電化
	2	—	共済組合囀託医制度発足	3	7	ドッジ公使 インフレ収束策など強調(ドッジライン)
	3	15	日本貿易博覧会開催期間中、東横線に「博覧会場前駅」(元新太田町駅)を臨時開設(～1949.6.15)	4	25	1ドルを360円とする為替レート実施
	3	20	玉川線世田谷および駒沢停留場の駅業務を(株)東急弘潤会に委託 4.11 三軒茶屋停留場委託	4	30	多摩川大橋完成
	4	1	東横線渋谷～桜木町間運転時間54分を49分に短縮 目蒲線田園調布折返し3両編成運転実施	5	15	国鉄伊東線熱海～伊東間電車運転開始
	4	20	(株)大東急再編成記念図書館(現:五島美術館) 設立	5	20	国鉄東海道本線静岡～浜松間電化
	4	25	東横線渋谷駅改良工事再開	5	23	ドイツ連邦共和国(西独)成立
	5	1	玉川線ビューゲル車運転開始(5.15全車両ビューゲル化)	6	1	日本国有鉄道 公共企業体として発足、初代総裁に下山定則就任
	5	5	鉄道運賃改定 最低運賃大人5円、小人3円、定期運賃値上げ	6	1	専売公社、郵政省、電気通信省、国税庁発足
	5	16	当社株式 東京証券取引所に再上場	6	1	国鉄常磐線松戸～取手間電化
	5	16	新日本興業(株) 東京証券取引所に株式上場	6	1	労働組合法、労働関係調整法改正公布
	5	—	(株)東横百貨店(現:株)東急百貨店) 東京証券取引所に株式上場	7	6	国鉄総裁下山定則・轢死体で発見される(下山事件)
	6	1	資産再評価法の趣旨に基づき、有形減価償却資産について再評価限度額まで資産再評価実施	7	15	三鷹で無人電車暴走(三鷹事件)
	6	1	バス運賃改定 1区5円、1区増すごとに5円加算	8	1	江ノ島電気鉄道(株) 江ノ島鎌倉観光(株)と商号変更
	6	—	五島慶太 公衆会館監査役に就任	9	15	GHQ シャープ勧告全文を発表
	7	1	日東タイヤ設立、資本金1,000万円	9	24	国鉄総裁加賀山之雄就任
	7	—	五島慶太 旧軽井沢ゴルフ倶楽部会長に就任	10	1	中華人民共和国成立
8	6	丸子多摩川大花火大会復活(～8.7)	10	7	ドイツ民主共和国(東独)成立	
9	1	玉川線七軒町停留場廃止、六所神社前停留場を移設して「玉電松原」と改称	10	7	新京成電鉄(株) 鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富間開通	
9	28	東京映画配給(株) 設立 資本金 2,000万円	10	7	新京成電鉄(株) 鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富間開通	
9	30	乗合バス代燃車を全車両液体燃料車に交換完了	12	1	京阪電気鉄道(株) 京阪神急行電鉄(株)より分離して新発足	
10	23	レッド・パーズ該当者41人を労働組合に提示	12	1	お年玉つき年賀はがき初発売	
12	26	五島慶太 静岡鉄道(株)取締役に就任				
1950 (S.25)	1	11	野球場建設委員会設置	1	1	満年齢制実施
	1	24	東京通運(株) 設立 資本金 1,500万円	1	7	千円札発行
	3	20	東横線中目黒～祐天寺間軌条重量交換開始(37kg/m軌条を50kg/mに交換)	3	1	国鉄東海道本線東京～沼津間電車運転開始
	4	7	東横線神奈川駅を廃止	4	1	たばこ自由販売
	4	25	神中運送は神奈川協同運送と改称	4	25	資産再評価法公布施行
	5	6	乗合バス幡ヶ谷～東京駅間に都営バスとの相互乗入路線開設	5	1	北海道開発法公布
	5	12	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり1円45銭、軌道全線8円均一 定期運賃改定	5	10	改正商法公布(1951.7.1施行)
	5	15	乗合バス久ヶ原～東京駅間に都営バスとの相互乗入れ路線開設	5	15	西武鉄道(株) 小川～玉川上水間開通
6	18	本社社屋新築工事着手	5	23	西武鉄道(株) 野口信号所～西武園間開通	
7	14	定時株主総会 事業年度を4～9月と10～3月に変更	5	24	建築基準法公布	
8	1	東横線急行列車復活	6	25	朝鮮動乱勃発	
			7	11	日本労働組合総評議会結成	
			7	24	東武鉄道(株) 越生線坂戸町～越生間電化	
			8	1	小田急電鉄(株) 箱根登山鉄道箱根湯本駅乗入れ開始	
			8	24	富士山麓電気鉄道(株) 富士吉田～河口湖間開通	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1950 (S.25)	8	1	東横線渋谷駅第1期改良工事竣工(3線5面ホーム完成)	11	24	電気事業再編成令、公益事業令各公布	
	9	25	オリンピック映画を傘下に収める 資本金300万円	12	15	川崎市営バス開業	
	10	1	東海定期運送は相模運送、平塚運送、小田原運送を合併し東海運送と商号変更 資本金2,300万円				
	10	2	本社社屋新築工事竣工				
	10	2	本社を渋谷区大和田町98に移転				
	10	19	観光バス事業免許申請				
	11	20	上町変電所使用開始				
	12	8	㈱東横百貨店 池袋東横百貨店開設				
	1951 (S.26)	1	1	就業規則制定実施	2	15	国鉄東海道本線東京～浜松間に湘南型電車による直通運転開始
		1	19	双栄運輸は東京航運㈱と商号変更			
2		26	学武蔵工業学園設立	3	1	川崎市営無軌条電車運転開始(川崎駅前～桜本間)	
3		1	大井町線列車3両編成運転実施	3	16	川崎市電 京浜急行電鉄㈱大師線塩浜～桜本間に乗入れ運転開始	
3		1	大井町線東洗足駅を池上線よりに移動し、「旗の台」と改称				
3		7	上町～荒玉浄水場間地方鉄道敷設免許申請	3	31	地方鉄道規則制定	
3		14	財東横学園(学東横学園になる)	4	10	再評価積立金の資本組入に関する法律公布(7.1施行)	
3		31	東京映画配給㈱ 東横映画㈱、太泉映画㈱を合併し東映㈱と商号変更 資本金7,000万円	4	24	国鉄京浜東北線桜木町駅構内において列車火災発生 死者106人、重軽傷者92人	
3		31	東横映画㈱より多摩川園の事業を譲受ける	5	1	電力会社再編成により9電力会社発足	
4		1	学武蔵工業学園付属高等学校開校	6	9	土地収用法公布	
5		1	大井町線旗の台駅に池上線旗ヶ岡駅を統合	6	20	第1次公職追放解除(政財界著名人 2,958人)	
5		10	乗合バス 東京駅～横浜間運行開始 東京駅(八重洲口)～久ヶ原間(都営バスとの相互乗入路線)を多摩川大橋まで延長	8	1	日本航空㈱ 設立	
5		21	乗合バス 東京駅～等々力間に都営バスとの相互乗入路線開設	8	6	第2次公職追放解除(鳩山一郎ら政財界著名人 13,904人)	
6		23	東京都と「野球場建設ならびにその管理維持に関する協定」締結	8	25	国鉄総裁に長崎愨之助就任	
6		—	五島慶太 神奈川県都市交通㈱取締役就任	9	8	対日平和条約、安全保障条約調印(1952.4.28発効)	
8		6	五島慶太、篠原三千郎、両者の公職追放解除される	10	25	日本航空㈱ 国内線復活	
8		25	五島慶太 東映㈱相談役に就任				
8		28	相談役に五島慶太、篠原三千郎、専務に木下久雄、柏村毅、狩谷幸知それぞれ就任				
8		28	五島慶太、篠原三千郎追放解除復帰祝賀会を本社において開催				
8		—	日本航空㈱に出資				
10		27	㈱東横百貨店 東横のれん街開設				
10		30	東横線渋谷駅第2期改良工事竣工(階段拡張工事)				
11		1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり1円85銭、最低運賃大人10円、小児5円 軌道全線10円均一 定期運賃改正				
11	20	玉電ビルを「東急会館」と改称					
12	24	バス運賃改定 ①初乗り1区15円 1区増すことに10円加算 ②通学定期券設定(賃率1キロ当たり都内2円60銭、神奈川県内3円)					
12	26	五島慶太 ㈱東横百貨店相談役に就任					
1952 (S.27)	1	5	東急会館建設委員会設置	1	1	京浜急行電鉄㈱ 大師線塩浜～桜本間を川崎市へ譲渡	
	1	21	資本金4億円を6億円に増額	2	28	日米行政協定調印	
	2	1	再評価積立金のうち3億円を資本金に組入れ、普通株式600万株(1株の額面50円)を無償交付し、資本金を9億円に増額	3	25	西武鉄道㈱ 新宿線高田馬場～西武新宿間開通	
	4	1	東横線昇圧工事のため急行列車運転を一時休止	4	1	国鉄高崎線大宮～高崎間電化	
	4	1	玉川線弦巻停留場を「新町」と改称	4	9	日本航空「もく星号」伊豆大島三原山に墜落、37人死亡	
	4	25	五島慶太 古稀の祝宴を東京会館において開催	4	28	GHQ廃止 日米安全保障条約発効	
	4	30	平塚通運を傘下に収める 資本金120万円	5	1	独立後初のメーデー デモ隊、皇居前で警官隊と衝突	
	5	6	定時株主総会 会長に五島慶太、取締役役に五島昇等が就任	5	20	都営無軌条電車今井橋～亀戸～上野間運転開始	
	7	1	東横線第一師範駅を「学芸大学」に、都立高校駅を「都立大学」と改称	6	7	会社更生法公布(8.1施行)	
	7	9	会長五島慶太 ㈱東横学園理事に就任	7	1	東京飛行場を東京国際空港(羽田空港)に改称	
	7	10	専務狩谷幸知 辞任	7	1	住民登録実施	
	10	1	東横線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧	7	15	西武鉄道㈱ 多摩湖ホテル前～ユネスコ村間開通	
	10	1	日東タイヤは日東ゴム興業、日本自転車タイヤを合併	7	18	旅行あつ旋業法公布	
	10	2	この日より1週間 創立30周年記念行事を挙げる	7	19	第15回ヘルシンキオリンピック(～8.3) 日本、戦後初参加	
	10	15	会長五島慶太 日本テレビ放送網取締役に就任	7	—	石油販売価格の統制廃止	
	10	16	戦時中からのバス休止路線全線復旧	8	1	自治庁設置	
	10	30	会長五島慶太 東映㈱取締役に就任	9	13	日本航空宣伝協会設立 (1956.7.1 富士航空㈱と商号変更)	
	11	12	神糧運輸を傘下に収める 資本金1,000万円	10	1	国鉄高崎線上野～熊谷間電車運転開始	
	12	6	相模スレートを傘下に収める 資本金180万円	11	10	皇太子殿下(現在の上皇陛下)立太子礼	
	12	8	目黒駅～中根町、五反田駅～昭和医大前間無軌条電車特許申請	12	20	青山に日本最初の東京ボウリングセンター開業	
	12	26	東急病院の建設に着手	12	27	日本ヘリコプター輸送㈱(現:全日本空輸㈱) 設立	
	12	—	東横線渋谷駅に手動式自動券売機設置				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1953 (S.28)	1	10	新規事業促進のため臨時建設部を新設	2	1	NHKテレビ本放送開始
	1	15	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2円15銭 軌道2区制、1区10円、2区15円	6	30	北日本航空㈱ 設立
	1	19	「城西南地区開発趣意書」を発表、開発予定地域の土地所有者に協力を要請	7	27	朝鮮動乱休戦協定調印
	1	29	会長五島慶太 東海汽船取締役役に就任	8	1	政府 日本航空㈱に半額出資、同社は特殊法人として新発足
	2	1	城南運送㈱は東横運送㈱・品川運送㈱・東急貨物運送㈱を合併し東急運輸㈱と商号変更	8	28	日本テレビ 民間初のテレビ放送開始
	2	1	駅務員登用試験制度制定	11	1	新京成電鉄㈱ 前原～京成津田沼間開通
	2	11	㈱東急横浜製作所 商号を東急車輛製造㈱に変更			
	2	27	五島昇、大川博 副社長に就任			
	2	28	東映㈱ オリビア映画を合併			
	4	1	東横線工業都市駅を廃止し、武蔵小杉駅に統合、営業開始			
	4	1	相模スレートは鴨宮砂利を合併し、相模建材工業㈱と商号変更			
	4	13	東海運送 平塚通運を合併			
	5	4	観光バス業の免許取得			
	5	15	目黒線の運転所要時分を日中28分から27分に短縮 大井町線本線運転間隔を10分から8分に短縮			
	5	22	目黒駅改築工事着手			
	6	5	「清和会館」を竣工(本社敷地内に再建し、清和倶楽部の活動に利用)			
	7	1	東急病院開業 駒沢・自由ヶ丘両診療所廃止			
	7	22	観光バス業営業開始(3両)			
	8	10	高津変電所使用開始			
	8	10	厚木通運㈱を傘下に収める 資本金700万円			
	8	10	日本タイヤ工業(旧:日本タイヤ再生工業)解散			
	8	11	池上線桐ヶ谷駅廃止			
	9	11	横浜西部運送㈱を傘下に収める 資本金560万円			
9	26	駒沢野球場竣工(9.27開場 東急フライヤーズのホームグラウンドに)				
10	1	神糧運輸 横浜通運と商号変更				
10	5	東横線渋谷～日吉間4両編成運転実施				
10	9	玉川線西太子堂停留場駅業務廃止				
10	20	ハワイアン・トラベル・サービスを傘下に収める 資本金1,000万円				
10	27	天城荘を傘下に収める 資本金5,000万円				
10	28	東急会館増改築工事着手				
11	1	自動車部に観光自動車課を新設				
11	18	東映㈱ 渋谷東映竣工				
11	30	会長五島慶太 学東横学園理事長に就任				
12	12	目黒駅改築工事竣工				
12	15	池上線3両編成運転実施(五反田～雪ヶ谷大塚間)				
12	17	東急不動産㈱ 設立 資本金3億円				
12	23	渋谷地下街㈱ 設立 資本金3,000万円				
12	25	本社社屋第1期増築工事竣工				
12	31	東京製氷㈱ 新日本興業㈱と合併				
12	31	新日本興業㈱を傘下に収める 資本金9,250万円				
12	—	「新丸子東急グラウンド」を完成				
1954 (S.29)	1	1	田園都市業・砂利業・遊園業の一部を東急不動産㈱に譲渡	1	20	営団地下鉄丸ノ内線池袋～御茶ノ水間開通
	1	1	資材部、事業部廃止	3	1	ビキニ環礁で第1回水爆実験(第5福竜丸降灰を浴びる)
	1	1	㈱東急ベースボール倶楽部の管理運営を東映㈱に委託	5	20	土地区画整理法公布(1955.4.1施行)
	3	5	東急ターンパイク(渋谷～江ノ島間有料自動車専用道路)免許申請	6	1	企業資本充実のため資産再評価等の特別措置法公布
	3	27	東急不動産㈱ 二子玉川園再開	6	21	国鉄長野原線長野原～太子間開通
	4	1	東急不動産㈱ 日本興業㈱を合併	9	26	台風により函館港付近で青函連絡船洞爺丸ほか貨物船5隻沈没 死者行方不明1,155人、客車4両・貨車176両沈没
	4	1	池上線本線3両編成運転実施	12	1	山手線区間内の貨物線電化
	4	16	宮前開発事務所設置			
	5	6	定時株主総会 社長鈴木幸七辞任 社長に五島昇就任			
	5	13	政策委員会設置			
	5	21	㈱国民相互銀行を傘下に収める 資本金1億5,000万円			
	6	5	長距離バス渋谷駅～長野駅間免許申請			
	6	15	社内預金制度発足			
	6	24	㈱水宝閣 設立 資本金4,500万円			
	6	26	乗合バス路線渋谷～江の島間営業開始			
	6	30	玉川線玉電若林停留場の駅業務を(財)東急弘潤会に委託			
6	30	㈱横浜ホテルを傘下に収める 資本金2,000万円				
7	20	軽井沢夏季学校開設(沿線女子中学校生徒を対象)				
7	24	天城荘は伊豆開発興業と商号変更				
8	1	大井町線二子玉川駅を「二子玉川園」と改称				
8	1	大井町線等々力折返し3両編成運転を二子玉川園まで延長実施				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1954 (S.29)	8	10	東京乗車券印刷 解散			
	8	23	箱根ターンパイク(小田原～箱根間有料自動車専用道路)免許申請			
	9	6	四谷東急サービス・ステーション開業(石油販売事業第1号店の開業)			
	9	9	超短波無線電話局開設(固定局本社)			
	9	15	東横線全線軌条重量変更完了(37kg/m→50kg/m)			
	10	1	資本金9億円を15億円に増額			
	10	1	ハワイアン・トラベル・サービス 東急航空株と商号変更			
	10	16	東横線に5000系車両6両就役(大幅な車両の軽量化)			
	11	11	会長五島慶太(学武蔵工業大学理事長に就任)			
	11	15	東急会館増改築工事竣工(11.20から東横百貨店西館として使用開始)			
	12	1	東京航運株 浅上倉庫株を合併して浅上航運倉庫株と商号変更			
	12	16	目蒲線目黒～蒲田間の運転間隔を9分から7分に短縮			
	12	16	日本内燃機製造株を傘下に収める 資本金2億円			
	12	22	東横車輛工事株 日本モーターを合併して東横車輛工業株と商号変更			
12	23	主要駅に自動券売機設置				
12	31	株横浜ホテル 自動車業を横浜交通に譲渡				
1955 (S.30)	2	21	学東急自動車学校 設立(4.1開校)	4	29	京王帝都電鉄株 東府中～府中競馬場正門間開通
	2	21	東海定期運送 解散	5	11	宇高連絡船紫雲丸は宇高丸と衝突沈没 死者168人
	3	16	財大東急記念文庫 開館	5	20	国鉄総裁に十河信二就任
	4	1	学五島育英会 設立	6	1	都営無軌条電車池袋～千駄ヶ谷4丁目間開通
	4	1	東横線日中のみ急行列車運転再開	7	7	国鉄東海道本線豊橋～大垣間に湘南型電車運転開始
	4	1	玉川線三軒茶屋 玉電若林、松陰神社前、世田谷、上町、宮ノ坂、玉電中里、用賀、砧線各の各停留場の駅業務を株東急弘潤会に委託	7	8	日本住宅公団法公布・施行
	4	1	東急不動産株より遊園業の経営を受託	7	29	自動車損害賠償保障法公布(1956.2.1施行)
	4	13	会長五島慶太 鉄軌道・自動車部門に対し各日収1,000万円達成指令	10	1	小田急電鉄株 御殿場線松田～御殿場間にディーゼル準急行列車乗入開始
	4	27	目黒社員アパート第1・2期工事竣工(1棟12戸)	12	27	都営無軌条電車千駄ヶ谷4丁目～渋谷駅間開通
	5	1	東急不動産株 代官山東急アパート竣工			
	5	4	企画室を廃止して企画部設置			
	6	1	鉄道全線の終電を15分～30分延長			
	6	2	学五島育英会 東横学園付属二子幼稚園設置認可			
	7	23	玉川線200形連接車、6編成就役			
	8	17	荏田開発事務所設置			
	8	22	東急文化会館建設工事着手			
	9	15	目蒲線目黒～田園調布間軌条重量変更開始(37kg/m→50kg/m) 1965.1.15全線完了			
	9	30	東急ボーイスカウト東京130、131隊 結成			
	10	1	東横線急行列車終日運転実施			
	10	1	東急修学旅行会館竣工			
	10	7	当社の寄付工事により多摩川パークウェイ完成			
11	15	目蒲線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧				
11	29	定時株主総会 定款中一部改正「常務制実施」 常務に田中勇就任				
12	1	株東急ゴルフ場 設立 資本金300万円(東京都より砧ゴルフ場の経営を受託)				
1956 (S.31)	1	1	築地東急有料駐車場開業(簡易給油所併設)	3	1	社日本原子力産業会議 設立
	1	14	株白木屋を傘下に収める 資本金2億円	3	20	営団地下鉄丸ノ内線御茶ノ水～淡路町間開通
	1	16	目蒲線目黒～蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮	3	—	全国的に映画館新築ブーム(東京においては終戦直後の4倍452館)
	1	24	池上線折返し列車3両編成運転実施	4	16	日本道路公団 設立
	1	31	「東急電鉄発祥之地」記念碑除幕式を日吉において挙行	4	20	京浜急行電鉄株 穴守稲荷～羽田空港間開通
	2	1	東急観光株 設立 資本金3,000万円	4	26	首都圏整備法公布(6.9施行)
	2	1	伊東下田電気鉄道株(発起人代表当社社長五島昇) 伊東～下田間地方鉄道敷設免許申請	5	23	百貨店法公布
	2	1	ヒルトンホテルズ・インターナショナルとの間にホテル建設についての仮契約書調印	5	—	箱根登山鉄道株 小田原～箱根板橋間軌道営業廃止
	2	1	乗合バス野沢電雲寺～新宿間開設(都営バスと相互乗入)	7	20	営団地下鉄丸ノ内線淡路町～東京間開通
	2	15	1区間乗車券のみ(単能型)の自動券売機使用開始	7	20	動力車操縦者運転免許に関する省令公布
	2	22	東横線高島町～桜木町間複線化工事着手	9	15	西武鉄道株 蒸気機関車の運転を廃止
	3	1	学五島育英会 東横学園女子短期大学設置認可	9	21	都営無軌条電車 渋谷～品川間開通
	3	2	東急観光株 星ヶ岡茶寮開業	10	16	伊豆箱根鉄道株 十国鋼索線十国登り口～十国峠間開通
	3	12	日本糖蜜飼料株を傘下に収める 資本金1,200万円	11	19	国鉄東海道本線の電化完成
	3	16	乗合バス瀬田営業所新設	11	19	国鉄高崎線熊谷～高崎間、上越線高崎～水上間電車運転開始
	3	28	河口湖汽船街を傘下に収める 資本金60万円 同社の経営を関東乗合自動車に委託	11	19	国鉄田端～品川間京浜東北線・山手線を分離
	3	31	株東急ゴルフ場より砧ゴルフ場の経営を譲受ける	12	18	日本 国際連合に加盟

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1956 (S.31)	4	1	大井町線直通列車3両編成運転実施			
			池上線全列車3両編成運転実施(五反田～蒲田間運転所要時分27分を25分に短縮)			
	4	1	多摩川園催物館完成			
	4	20	二子玉川園にライニング・コースター完成			
	4	25	東急不動産株 東京証券取引所第二部に株式を上場			
	5	7	本社社屋第2期増築工事竣工			
	5	12	箱根中強羅観富荘買収			
	5	15	株東急文化会館設立 資本金2,500万円			
	6	7	東京駐車場株 設立 資本金2,500万円			
	6	9	東急病院第1期増築工事竣工(病床70床)			
	6	27	目黒社員アパート第3期工事竣工			
	7	1	東急江の島レストハウス開業			
	7	1	真砂荘・海浜ホテルの経営を東急観光株に引継ぐ			
	7	14	東急服装学園 設立認可(10.18東京田中千代服装学園と改称)			
	7	16	日本ドリゾール株を傘下に収める 資本金7,500万円			
	7	23	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許申請			
	7	—	「多摩川西南新都市計画」策定			
	8	11	会長五島慶太(学亜細亜学園理事長に就任)			
	9	10	東横線高島町～桜木町間複線化工事竣工			
	9	15	大井町線大井町駅改良工事竣工(4.7着工)			
	9	28	大井町線(のちの田園都市線)溝ノ口～長津田間の鉄道敷設免許を申請			
	10	1	資本金15億円を30億円に増額			
	10	1	東横線渋谷～桜木町間急行列車運転 所要時分40分を37分に短縮			
	10	6	観富荘は恵風会館と改称して開業			
10	10	東横興業株(現:株東急ストア) 設立 資本金1,000万円				
10	16	傍系部、衛星都市建設部を新設				
11	12	東洋不動産管理株を傘下に収める 資本金300万円(11.22東急管財株と商号変更)				
11	20	東急自動車交通を傘下に収める 資本金1,000万円				
11	24	財天文博物館五島プラネタリウム 設立(1957.4.1開館)				
11	28	横須賀運送株を傘下に収める 資本金1,200万円				
11	30	東急文化会館竣工(12.1開館)				
12	1	興国開発株を傘下に収める 資本金19万5,000円 同社は東急砂利株と商号変更				
12	1	新宿東急文化会館竣工				
12	3	砧ゴルフ場竣工				
12	14	上野東急 設立 資本金5,000万円				
1957 (S.32)	1	25	小林一三(元当社取締役・監査役)死去	1	16	国鉄は地方組織を支社制に改正
	2	14	東京トヨタディーゼル株 設立 資本金3,000万円	3	26	都電渋谷駅終点を東急文化会館前に移転
	3	1	大井町線折返し列車3両編成運転実施	4	1	国鉄東海道本線浜松～豊橋間電車運転開始
	3	15	渋谷駅東口一般連絡踏道橋竣工	4	16	国土開発縦貫自動車道建設法公布
	3	26	伊豆開発興業は小涌園(旧天城荘)を藤田興業株に譲渡	4	25	高速自動車国道法公布
	3	27	東亜石油株を傘下に収める 資本金15億円	6	20	国鉄中央・京浜東北各線電車の2等車を廃止し老幼優先車に切替え
	3	31	株白木屋 増築工事竣工			
	4	1	東急不動産株 三田東急アパート開業	8	15	国鉄大糸線松本～糸魚川間全通
	4	1	東横興業株 白木興業株を合併	10	1	5千円札発行
	4	15	ユニオン観光バス株を傘下に収める	10	1	国鉄東京～長崎間特急「さちかぜ」新設
	4	—	群馬バス株を傘下に収める 資本金3,000万円	10	4	ソ連 世界初の人工衛星打上げに成功
	5	1	動力車操縦者養成所新設	12	1	日本ヘリコプター輸送株 全日本空輸株と商号変更
	5	1	田園調布、大岡山両駅の荷貨物取扱い業務を日本通運株に委託	12	1	国鉄両毛線高崎～新前橋間電車運転開始
	5	27	社長五島昇 東日本実業団陸上競技連盟会長に就任	12	11	百円硬貨発行
	6	3	日本内燃機製造株 オオタ自動車工業株を合併し日本自動車工業株と商号変更(6.6)	12	15	営団地下鉄丸ノ内線東京～西銀座間開通
	6	6	外国人観光客用バス2両購入			
	6	26	東急自動車交通は東急交通と商号変更			
	6	30	目黒社員アパート第4期工事竣工			
7	10	取締役堀木謙三辞任				
7	11	大井町線中延駅付近立体交差工事竣工				
7	18	江の島レストハウス旅館部開業 東急観光株に経営を委託				
7	29	大井町駅の当社線と国鉄との連絡橋完成				
8	1	玉川ゴルフコース 設立 資本金7,500万円				
8	6	元住吉慎独寮が竣工				
8	10	池上線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧				
8	24	松籟荘(レストラン)開業				
8	26	湘南ターンパイク(藤沢～小田原間有料自動車専用道路)免許申請				
9	20	東横興業株(株東光ストアと商号変更)				
9	20	信託車両制度を採用(1966.4まで)				
9	30	二子劇場開場				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1957 (S.32)	10	1	東横線急行列車全運用4両編成運転実施 急行列車運転時間を約1時間延長			
	10	7	定山溪鉄道(株)を傘下に収める 資本金9,900万円			
	10	21	東急コンクリート工業(株) 設立 資本金1億円			
	10	23	函館バス(株)を傘下に収める 資本金3,800万円			
	10	23	五島ローズガーデン開園			
	10	26	平野運送を傘下に収める 資本金3,000万円			
	11	1	管財部、伊豆開発班新設 企画部廃止			
	11	5	吉浜開発(株)を傘下に収める 資本金250万円			
	11	14	大井町線延長線溝ノ口～長津田間地方鉄道敷設免許申請を溝ノ口～中央林間間に変更申請			
	11	16	会長五島慶太 中央食品相談役に就任			
	11	19	吉田瓦斯を傘下に収める 資本金4,000万円			
	11	29	渋谷地下街竣工			
	11	—	東横線全車両に車内警報装置を設置			
	12	1	群馬バス(株) ユニオン観光バス(株)を合併			
	12	19	本社社屋第3期増築工事竣工			
12	20	元住吉慎独寮増築工事竣工				
12	30	群北自動車交通を傘下に収める 資本金485万円				
12	—	全日本空輸(株)に資本参加				
1958 (S.33)	1	1	バス運賃改定 賃率1キロ当たり3円55銭(神奈川県)	3	9	日本道路公団関門国道トンネル開通
	1	9	乗合バス東京駅八重洲口～幡ヶ谷間に都営バスとの相互乗入れ路線開設	3	29	京浜急行電鉄(株) 帝都高速度交通営団から高輪南町～芝車町間地方鉄道敷設免許権を譲受
	1	14	東急軽井沢第1スケートリンク竣工	5	30	最後のB・C級戦犯18人集鴨刑務所から出所
	1	15	大井町線電車線電圧600Vを1,500Vに昇圧	7	5	アラビア石油、クウェート国王と中立地帯沖合油田開発利権協定に調印
	1	20	原子力研究委員会設置			
	1	25	学五島育英会 武蔵工業大学付属目黒高等無線学校設置認可	7	—	首都圏整備委員会が首都圏整備計画を策定 (新宿、池袋、渋谷を副都心に指定)
	2	15	玉川線世田谷停留場駅業務廃止	8	12	全日本空輸ダグラスDC3型旅客機下田沖に墜落 33人死亡
	3	1	連絡室、調査室設置(1959.10.16連絡室廃止)			
	3	3	札幌急行鉄道 敷設免許申請	8	18	都営無軌条電車池袋駅前～浅草駅間開通
	3	22	横浜トヨタディーゼルの設立 資本金3,000万円	9	26	台風22号伊豆地方上陸 狩野川氾濫
	3	26	自動車部中延営業所ならびに中延社員アパート竣工	10	15	営団地下鉄丸ノ内線西銀座～霞ヶ関間開通
	4	1	東横線田園調布折返し列車を日吉まで延長、16分間隔運転実施 目蒲線朝間混雑時運転間隔を本線・折返し列車とも7分から6分に短縮	11	1	国鉄 ビジネス特急「こだま号」運転開始(東京～大阪間6時間50分)
	4	11	大井町線軌条重量変更工事開始(37kg/m→50kg/m) 1966.10.15完了	12	1	1万円札発行
	5	8	日東タイヤは米国USラバー社と技術提携	12	12	交通閣僚懇談会で東海道新幹線を1959年から5か年計画で工事着手することを決定
	6	29	東急アパロン乗馬学校開校	12	23	東京タワー完成
	6	—	社長五島昇 日本実業団陸上競技連合会会長に就任	12	27	国民健康保険法改正公布(1959.1.1施行)
	7	4	白馬観光開発(株) 設立 資本金3,000万円			
	7	16	関東民生産業を傘下に収める 資本金150万円			
	7	21	東京ヒルトンホテル(株) 設立 資本金1億円			
	7	22	観光バス営業地域に横浜市のうち港北・神奈川・鶴見の各区追加免許			
	7	25	港北木材工業を傘下に収める 資本金100万円			
	8	1	(株)白木屋 (株)東横百貨店を合併 資本金18億円			
	9	1	田奈開発事務所設置			
	9	2	玉川ゴルフコース開業			
	9	8	東横自動車工業 解散			
	9	18	(株)白木屋 (株)東横に商号変更			
	9	30	東急不動産(株) 南平台東急ビル竣工			
10	1	大井町線朝間混雑時の運転間隔を本線、折返し列車とも8分から7分に短縮				
10	1	伊東下田電気鉄道建設委員会設置				
10	—	「自由ヶ丘電車庫」を「自由ヶ丘検車区」に変更				
11	4	上田丸子電鉄(株)を傘下に収める 資本金1億6,000万円				
11	10	朝日自動車(株)を傘下に収める 資本金1,500万円				
11	10	(株)丸善銀座屋(現:丸がの東急百貨店) 設立				
12	1	東横線に輸送力増強のため、新造セミステンレスカー5200系3両就役				
12	8	東洋精糖(株)の経営に参加				
12	24	東横線車両20両に誘導無線によるラジオ関東放送受信装置設置、中継放送開始				
12	26	白馬観光開発(株) 八方尾根ロープウェイ開業				
1959 (S.34)	1	1	バス運賃改定 神奈川県内賃率1キロ当たり3円55銭、通勤定期設定	2	8	黒部トンネル開通
	1	9	乗合バス幡ヶ谷～東京駅八重洲口間開業(都バスと相互乗入)	3	15	営団地下鉄丸ノ内線霞ヶ関～新宿間開通
	1	24	築地東急有料駐車場閉鎖	4	10	皇太子殿下ご成婚
	1	24		4	14	首都高速度道路公団法公布

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1959 (S.34)	1	29	運賃改定 賃率1キロ当たり2円20銭 軌道片道13円、往復25円 二子玉川園・下高井戸方面相互乗換券発行	4	15	最低賃金法公布
	2	9	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道敷設免許	4	20	国鉄 東海道新幹線起工
	2	9	伊東～下田間地方鉄道敷設免許	4	20	修学旅行車用列車「ひので」、「きぼう」運転開始
	2	18	東急国際ホテル(株) 設立 資本金4億円	4	23	東京都知事に東電太郎当選
	2	20	新玉川線建設部、伊東下田電鉄建設事務所(4.10廃止)設置	5	26	1964年オリンピック大会の東京開催が決定
	3	3	乗合バス弦巻営業所新設	6	3	シンガポール独立
	3	6	東洋食品(株)(現:ゴールドバック(株))設立	6	10	東京高速度道路新橋～鍛冶橋間開通
	3	27	(株)東光ストア 武蔵境店(本格的なスーパーマーケットの第1号店)開店	6	17	首都高速度道路公団設立
	3	30	乗合バス相互乗入路線東京駅～自由ヶ丘間を等々力まで延長	7	11	富士山麓電気鉄道(株) 河口湖～天上山間ロープウェイ開通
	4	1	横須賀運送(株) 横浜西部運送(株)、服部運輸(株)を合併し、日本貨物急送(株)と商号変更	7	17	大糸線信濃大町～信濃四ツ谷間に電車運転開始
	4	1	桜木町～関内間(1.0km)地方鉄道敷設免許申請	8	1	日産自動車(株) ダットサンブルーバード発売(マイカー時代始まる)
	4	9	伊東下田電気鉄道(株) 創立総会	12	3	東京陸運局 個人タクシーに初免許
	4	11	伊東下田電気鉄道(株) 設立 資本金10億円			
	5	1	東急多摩田園都市の土地区画事業開始 野川第一土地区画整理組合設立認可(東急多摩田園都市で第1号)			
	5	28	(株)ホテル文珠荘を傘下に収める 資本金1,500万円			
	5	29	中越自動車(株)を傘下に収める 資本金2億4,000万円			
	6	1	東横線急行列車 朝夕のみ5両編成運転実施			
	6	1	日本自動車工業(株) 東急くろがね工業(株)と商号変更			
	6	—	東急くろがね工業(株) 軽四輪自動車「くろがねベビー」の量産体制に入る			
	7	1	東急くろがね自動車販売(株) 設立 資本金1億円			
	7	6	おんたけ交通(株)を傘下に収める 資本金1億円			
	7	6	東急車輛製造(株) 東京証券取引所第一部に上場			
	7	14	東急沼津ドライブイン開業			
	7	14	新世界を傘下に収める 資本金1億円			
	8	1	東急不動産(株) 溜池東急ビル竣工			
	8	14	会長五島慶太 死去			
	8	18	故五島慶太の社葬を築地西本願寺において執行			
9	2	社長五島昇 学五島育英会ならびに学亜細亜学園理事長に就任				
9	9	東急病院第2期増築工事竣工				
9	10	東洋精糖(株)の全所有株式を売却				
9	16	池上線軌条重量変更工事開始(37kg/m→50kg/m) 1967.3.15完成				
10	1	新玉川線建設委員会設置				
10	12	東急不動産(株) 代官山東急アネックス竣工				
10	20	東北急行運送(株)を傘下に収める 資本金1,991万5,000円				
10	29	「ハワイ・シロキヤ」開店				
11	11	東急不動産(株) 建設部門を分離して東急建設(株)を設立 資本金1億円				
11	25	(財)五島美術館設立(1960.4.18開館)				
11	25	白馬観光開発(株) 白馬東急ホテル開業				
11	26	東横線都立大学駅付近立体交差工事着手				
11	30	東横線自由ヶ丘駅改良工事竣工(急行待避線建設)				
12	15	東急車輛製造(株) 米国パッド社とオールステンレス車両について技術提携				
12	24	東横線白楽駅改良工事竣工(3.18着手)				
12	28	宗谷バス(株)を傘下に収める 資本金2,700万円				
1960 (S.35)	1	1	東急観光(株) 東急航空(株)を合併	1	19	新日米安保条約行政協定調印
	1	22	伊東下田電気鉄道(株) 伊東～下田間鉄道敷設工事着手	2	23	徳仁親王(現在の天皇陛下)ご誕生
	1	22	臨時原子力研究所建設部設置	3	27	国鉄南武線武蔵溝ノ口～津田山間、久地～宿河原間複線開通
	1	—	新玉川線「蛇崩川ルート(渋谷～三軒茶屋間を地下化し、三軒茶屋から用賀付近までは蛇崩川沿いの高架橋とする案)」取りまとめ	5	24	チリ津波襲来
	2	6	新玉川線渋谷～二子玉川園間地方鉄道工事施行認可申請(1961.8.15認可)	5	30	富士山麓電気鉄道(株) 富士急行(株)と商号変更
	3	25	乗合バス神明営業所増設工事竣工、荏原営業所と改称 荏原社員アパートも同時に竣工	7	1	国鉄 2等を1等に、3等を2等に改正
	4	1	東横線にセミステンレスカー6000系4両就役(5.16さらに4両就役)	7	25	東海道幹線自動車国道建設法公布
	4	10	高島町変電所送電開始(無人1号)	9	7	箱根ロープウェイ早雲山～桃源台間全通
	5	5	二子玉川園少年科学館開館	9	10	NHK、日本テレビ、ラジオ東京、朝日放送、読売テレビはカラーテレビ本放送開始
	5	8	東急国際ホテル(株) 銀座東急ホテルをオープン	10	12	社会党委員長浅沼稻次郎刺殺される
5	21	北見バス(株)を傘下に収める 資本金5,000万円	12	4	都営地下鉄1号線押上～浅草橋間開通(京成電鉄(株)と相互乗入れ)	
5	—	箱根ターンパイク(小田原市早川～箱根町大観山付近)事業免許取得	12	8	第2次池田勇人内閣成立	
6	10	長岡鉄道(株)を傘下に収める 資本金2億円	12	8	群馬バス(株)社長木暮武夫 運輸大臣に就任	
			12	20	新道路交通法施行	

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1960 (S.35)	8	1	空港産業(株)を傘下に収める 資本金1億円				
	8	14	『五島慶太の追想』を刊行				
	9	1	経営計画委員会設置				
	9	20	大井町線延長線溝ノ口～中央林間間地方鉄道敷設免許				
	10	1	広報室、新線建設部新設				
	10	1	長岡鉄道(株) 中越自動車(株)、栃尾鉄道(株)を合併し越後交通(株)と商号変更				
	12	20	反町架道橋、東横線反町駅改良工事竣工				
	—	—	東急くるがね工業(株) 「くるがねペーパー」の専用工場として上尾工場を新設				
	1961 (S.36)	2	1	砧線砧停留場を「砧本村」と改称	1	20	米国大統領にケネディ就任
		2	20	伊東下田電気鉄道(株) 伊豆急行(株)と商号変更	2	8	営団地下鉄荻窪線新宿～新中野間、中野坂上～中野富士見町間開通
2		25	(株)スリーハンドレッドクラブ 設立 資本金7,980万円				
3		1	(株)東急エージェンシー 設立 資本金5,000万円	3	28	営団地下鉄日比谷線南千住～仲御徒間開通	
3		31	富士航空(株)を傘下に収める 資本金1億8,000万円	4	12	ソ連 人工衛星船の打上げに成功	
3		—	渋谷～長野駅間の長距離特急バスの免許取得	8	23	新京成電鉄(株) 前原～新津田沼間開通により松戸～京成津田沼間全通	
4		1	恩田第一土地区画整理組合設立認可	9	25	日本航空(株) 東京～札幌間にコンペア880型ジェット機の使用開始	
4		1	東海自動車との共同出資により下田ロープウェイ(株)を設立				
4		15	乗合バス 馬込循環線(大森駅～馬込銀座～大森駅)でワンマンカー運転開始	10	2	東京・大阪・名古屋3証券取引所に株式市場第二部を新設発足	
4		18	マスコット「トップちゃん」が決まる				
4		24	(株)横浜ホテル (株)横浜東急ホテルと商号変更	11	1	営団地下鉄荻窪線新中野～南阿佐ヶ谷間開通	
5		8	ちくまや海運(のちの伊豆急マリン)を設立	11	7	踏切道改良促進法公布・施行	
6		2	湯ノ沢研究所(のちの南伊豆温泉開発(株))を傘下に収める				
7		1	東急不動産(株) 上目黒東急ビル竣工				
7		1	渋谷駅～長野駅間長距離バス運転開始				
7		21	御堂興業(株) 設立 資本金1億円				
7		—	柿ノ木坂無人変電所送電開始				
8		1	参与室、中目黒改良工事用地班設置 調査室、広報室廃止				
8		1	東急不動産(株) 自由ヶ丘東急ビル竣工				
8		21	東亜石油(株)の株式をアラビア石油(株)の株式と交換売却				
8		—	蛇崩川ルート工事施行認可(竣工期限1964.8)				
8		—	経営計画委員会を発展的に解消				
9		14	東横線都立大学駅改良工事竣工				
10		1	資本金45億円を70億円に増額				
10		1	東横線急行および日吉折返し全列車平日朝間のみ5両編成、普通本線全列車4両編成運転実施				
10		2	浅上航運倉庫(株)ならびに東急エビス産業(株)株式を東証第二部に上場				
10		2	東急不動産(株) 東証一部に指定替え				
10		11	城南交通 設立 資本金2,000万円				
10		—	全鉄道電話ダイヤル式に移行(自動化)				
11		15	東急不動産(株) 麻布東急アパート竣工				
12		1	(株)ホテル琉球を傘下に収める 資本金5,548万2,000円				
12		10	伊豆急行(株) 伊東～伊豆急下田間開通				
12	10	(学)五島育英会 武蔵工業大学付属原子力研究所竣工					
12	12	東横線元住吉駅改良工事竣工					
12	—	(株)東光ストア 東横線都立大学駅高架下に商品倉庫と検品所設置					
1962 (S.37)	1	16	伊豆急自動車(株)(のちの伊豆急東海タクシー(株)) 設立	1	23	営団地下鉄荻窪線南阿佐ヶ谷～荻窪間開通により新宿～荻窪間全通	
	1	27	東横線にオールステンレスカー7000系車両就役				
	1	31	草軽電気鉄道(株) 鉄道業を廃止	2	1	東京都の人口1,000万人突破	
	2	5	東急くるがね工業(株) 倒産 会社更生法適用申請(2.3)	3	23	営団地下鉄荻窪分岐線中野富士見町～方南町間開通により中野坂上～方南町間全通	
	2	13	(株)ホテル琉球 (株)琉球東急ホテルと商号変更				
	2	—	駒沢野球場を東京都に返還	3	31	日本道路公団 箱根新道開通	
	2	—	(株)東急エージェンシー 6大全国紙と代理店契約を締結	5	3	常磐線三河島駅構内で多重衝突(死者160人)	
	3	20	野川第一土地区画整理組合解散認可	5	31	営団地下鉄日比谷線北千住～南千住間、仲御徒町～人形町間開通	
	3	27	横浜東急ホテル開業				
	4	1	提案審査委員会設置	5	31	都営地下鉄1号線浅草橋～東日本橋間開通	
	4	1	定年1年延長 56歳となる	6	10	北陸本線北陸トンネル開通(当時日本最長)	
	4	1	乗合バス日吉営業所新設	8	1	東北急行バス 東京～山形、東京～仙台、東京～会津若松間の長距離路線開業	
	4	27	東急くるがね工業(株) 会社更生手続開始決定				
	5	30	北見バス(株) 網走交通(株)を系列下に	8	30	日本航空機製造 YS-11型機の初飛行成功	
	6	1	東急国際ホテル(株) 白馬観光開発(株)から白馬東急ホテルを譲受ける	9	26	日本道路公団 若戸大橋開通	
	6	16	宮前・恩田両都市建設事務所設置	9	30	都営地下鉄1号線東日本橋～人形町間開通	
	7	18	取締役後藤健太郎、運輸大臣に就任 取締役を辞任	11	23	横浜民衆駅開業	
	8	22	第1回東急事業団親睦野球大会開催				
	8	—	伊豆急行(株) 不動産部を新設				
	9	1	東急航空(株) 設立 東急観光(株)から航空・船舶部門を譲受ける 資本金4,500万円				

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1962 (S.37)	9	18	大井町線延長線溝ノ口～長津田間分割工事施行認可申請(1963.5.15認可)				
	10	2	東米マリン設立 資本金4,000万円				
	10	8	東急国際ホテル(株) 下田東急ホテル開業				
	10	20	乗合バス高津営業所新設				
	11	1	運賃改定 鉄道賃率1キロ当たり2円37銭				
	11	10	御堂興業(株) (株)大阪会館と商号変更				
	11	16	東急リネン・サプライ(株) 設立 資本金3,000万円				
	12	13	東横線田園調布駅に自動印刷券売機設置				
	12	31	東急インターナショナルを傘下に収める 資本金300万円				
	1963 (S.38)	1	16	東急日販販売設立 資本金2,500万円	1	18	蒲田民衆駅完成
		2	—	伊豆急行(株) 伊豆高原別荘地の販売開始	2	28	営団地下鉄日比谷線人形町～東銀座間開通
		3	31	東海産業(株)を傘下に収める 資本金270万円	2	28	都営地下鉄1号線人形町～東銀座間開通
4		1	目蒲線に車内警報装置設置	4	25	大阪駅前にわが国最初の横断歩道橋完成	
4		—	ITV(産業用テレビジョン:車掌がお客さまの安全を確認するために駅ホームの各所を映すテレビ)を渋谷駅で使用開始	9	29	信越本線のアプト式区間廃止	
5		10	吉浜開発(株) 箱根ターンパイク(株)と商号変更	11	1	新千円札発行	
5		25	伊香保ケーブル鉄道(株)を傘下に収める 資本金1億円(同社は1967.8.1群馬バス(株)に合併)	11	9	国鉄東海道線鶴見駅付近で多重衝突(死者161人、重軽傷者120人)	
5		—	開発対象地域を貫く大井町線延長線の工事許可申請認可	11	22	米国大統領ケネディ暗殺され、副大統領ジョンソン、大統領に就任	
5		—	日本IBMパンチカードシステム導入、順次各種計算業務を開始	11	23	初の日米間テレビ宇宙中継受信実験成功	
6		1	関東民生産業(株)を合併し、東急建設(株)と商号変更 資本金3億450万円	12	12	都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通	
6		14	バス運賃改定 神奈川県内で川崎市営バスと競合する特定区域内の賃率1キロ当たり3円90銭、東横線以南20円均一制、東横線以北初乗り1区20円、特区15円、1区20円、1区増すごとに10円加算				
6		16	山内都市建設事務所設置				
6		20	東京ヒルトンホテル(現:ザ・キャピトルホテル東急)を開業、国内初の国際級ホテル				
7		7	東急観光(株) 今井浜東急ホテル開業				
7		22	(株)伊豆急スポーツセンター 稲取ゴルフ場を開場				
8		1	ニュートウキューモーターズ(株) 東急国際ホテル(株)を合併して東急国際ホテル(株)と商号変更 資本金4億円				
8		24	伊豆開発(株) 東急興産(株)と商号変更				
9		13	東急建設(株) 東証第二部に上場				
10		1	東京通運(株) 厚木通運(株)を合併 資本金1億4,000万円				
10		11	多摩川西南新都市を多摩田園都市と改称				
10		11	大井町線を田園都市線と改称 田園都市線延長線溝ノ口～長津田間建設工事着手 起工式を川崎市有馬地区鷺沼駅予定地において挙行				
10		24	東急国際ホテル(株) (株)横浜東急ホテルより軽井沢東急ホテルを譲受ける				
10		—	大阪案内所(ホテル)を開設				
11		1	東横線 平日朝間日吉折返し全列車6両編成運転実施				
12		1	田園都市線、池上線に車内警報装置設置				
—		—	乗車券に必要な記載事項を印刷して発券する自動券売機(多機能型自動券売機)を導入				
1964 (S.39)		2	—	新玉川線工事部分的に着工	2	23	国鉄 座席予約装置MARS101使用開始
	3	23	祐天寺駅ビル竣工(地下1階、地上3階)	2	29	日本鉄道建設公団法公布・施行	
	4	10	地下鉄6号線(泉岳寺～桐ヶ谷間)地方鉄道敷設免許申請(12.18免許、1968.9.24免許返納)	3	25	営団地下鉄日比谷線霞ヶ関～恵比寿間開通	
	4	15	富士航空(株)、日東航空(株)、北日本航空(株)の合併により日本国内航空(株)設立 資本金34億8,000万円	4	28	日本 OECDに加盟(経済協力開発機構)	
	4	16	東横線渋谷駅改良工事竣工(4線7面ホーム、中央改札口新設、ITVの本格的な使用)	4	29	京王帝都電鉄(株) 高幡不動～多摩動物公園間開通	
	4	17	おんたけ交通(株)の全株を名古屋鉄道(株)に譲渡(50万株)	5	19	根岸線桜木町～磯子間開通	
	4	22	東急グループ ニューヨーク世界博に参加	5	20	新宿民衆駅完成	
	5	23	空港産業(株) (株)羽田東急ホテルと商号変更	6	16	新潟を中心に大地震 昭和石油の原油タンク爆発	
	5	25	(株)東横百貨店 池袋店閉店	7	22	営団地下鉄日比谷線恵比寿～中目黒間開通	
	6	1	東急車輛製造(株) 東邦特殊自動車工業(株)を合併 資本金14億円となる	7	25	国鉄山陽本線全線電化完成	
	7	1	大和都市建設事務所設置	8	29	営団地下鉄日比谷線東銀座～霞ヶ関間開通により北千住～中目黒間全通	
	7	3	城南交通は渋谷サービス(株)と商号変更	9	17	東京モノレール 浜松町～羽田空港間開通	
7	21	地下鉄2号線乗入れに伴う中目黒駅改良工事竣工(1963.2.19着工)	10	1	国鉄東海道新幹線東京～新大阪間開通		
8	22	羽田東急ホテル開業	10	1	都営地下鉄1号線新橋～大門間開通		
8	29	営団地下鉄・東武鉄道(株)との3社相互乗入れによる日吉～北千住間の直通運転を実施	10	10	第18回東京オリンピック開催(～10.24) 当社従業員9人が出場		
9	21	田園都市線旗の台～北千束間立体交差工事竣工	12	1	駒沢公園開園		
			12	12	都営地下鉄1号線東銀座～新橋間開通		
			12	22	渋谷再開発促進協議会発足(1972.5.31 渋谷再開発協会と改称)		
			12	23	営団地下鉄東西線高田馬場～九段下間開通		

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他	
1964 (S.39)	9	30	副社長大川博辞任、東映(株)は東急グループより分離				
	9	30	更生計画に基づき、東急くろがね工業(株)の第2会社として東急機関工業(株)設立 資本金2億円				
	10	1	駒沢営業所(バス)新設				
	10	1	東急興産(株) 東急くろがね工業(株)を合併				
	11	1	日本貨物急送(株) 東北急行運送(株)を合併				
	11	1	渋谷サービス(株)は東急交通を合併 資本金5,000万円となる				
	12	15	白木金属工業(株)を傘下に収める 資本金3億円				
1965 (S.40)	1	16	バス運賃改定 賃率廃止 1区20円 1区増すごとに10円加算 川崎市内東横線以南は20円均一	3	10	気象庁 富士山頂気象レーダー運用を開始	
		3	25	恩田第一土地区画整理組合解散認可	3	18	中央本線新笹子トンネル貫通
		3	29	東急鮪バス(株) 設立 資本金4,000万円	5	5	こどもの国開園
		4	1	田園都市線本線列車4両編成運転実施	6	1	厚生年金保険法一部改正(1万円年金)
		4	24	東急病院は総合病院の名称使用を承認される	9	24	国鉄 電子計算機による指定券発売窓口開設(みどりの窓口)
		5	8	東急のれん街設立 資本金500万円(6.13開業、1971.6.1フードマートに合併)	12	19	第3京浜道路開通
		6	10	網走交通(株)(資本金1,600万円)・北紋バス(株)(資本金930万円)を傘下に収める			
		6	13	渋谷東急ビル(のちの渋谷東急プラザ)開業			
		7	23	箱根ターンパイク(株) 箱根ターンパイク大観山線営業開始			
		11	30	元住吉教習所新舎竣工			
		12	1	田園都市サービスセンター(東急多摩田園都市開発の住民向け総合窓口)開設			
		12	1	株東光ストアを傘下に収める 資本金1億円			
1966 (S.41)	1	20	自由ヶ丘、緑ヶ丘、雪ヶ谷大塚、久ヶ原、鶴ノ木、溝ノ口、宮ノ坂7駅名の「ヶ」、「ノ」を「が」、「の」に変更	2	4	全日本空輸ボーイング727型旅客機、東京湾に墜落(133人死亡)	
	1	20	運賃改定 鉄道対キロ区間制(1キロ~6キロ20円4キロ増ごとに10円加算)、軌道20円均一制	3	4	カナダ太平洋航空DC8型旅客機、羽田で着陸失敗炎上(64人死亡)	
	2	4	越後交通(株)の全所有株式を新星企業に譲渡	3	5	英国海外航空ボーイング707型旅客機、富士山麓に墜落(124人死亡)	
	2	22	東調布慎独寮竣工				
	3	18	田園都市線上野毛~高津間改良工事竣工により、二子玉川園・二子新地前両駅は高架化、二子専用橋梁竣工	3	5	国鉄運賃値上げ実施(旅客31.2%、貨物12.3%)	
	3	19	田園都市線二子玉川園駅折返し列車を、二子新地前駅まで延長	3	16	営団地下鉄東西線中野~高田馬場、九段下~竹橋間開通	
	3	24	田園調布駅付近の環状8号道路と東横・目蒲線との立体交差工事竣工(1964.5.8着工)	3	27	京浜急行電鉄(株) 久里浜延長線野比~津久井浜間開通	
	3	27	自由が丘検車区を鷺沼に移転し鷺沼検車区と改称	4	1	メートル法完全実施	
	4	1	溝の口~長津田間開業	4	23	小田急電鉄(株) モノレール線開通(向が丘遊園~向が丘遊園前間)	
	4	1	日本国内航空(株) 東京~福岡、東京~札幌の運航免許取得	5	5	砧ファミリーパーク開園(元砧ゴルフ場)	
	4	15	砧ゴルフ場閉鎖(東京都に返還)	6	1	田奈小学校つつじが丘分校(東急多摩田園都市の土地区画整理区域で初めての施設)開校	
	4	18	東急まつりにて経営優秀三賞(経営優秀賞・経営功労賞・経営努力賞)の表彰開始	6	25	国民の祝日改正 敬老の日(9月15日)、体育の日(10月10日)を追加	
	4	18	乗合バス新羽営業所新設	7	4	新東京国際空港の建設地が千葉県成田市に決定	
	4	18	電車の塗色をグリーンに統一	7	7	京浜急行電鉄(株) 久里浜延長線津久井浜~三浦海岸間全通	
	4	18	バス運賃改定 横浜市内30円均一(日吉~高田線を除く)	7	7	首都高速道路3号線の渋谷~用賀間の延長が都市計画決定	
	5	30	草軽電気鉄道(株) 草軽交通(株)と商号変更	7	7	日産自動車(株) プリンス自動車工業合併	
	8	1	株東急文化会館 上野東急を合併	10	1	営団地下鉄東西線竹橋~大手町間開通	
	8	10	渋谷開発(株) 設立 資本金20億円	10	15	トヨタ自動車工業・日野自動車業務提携	
8	20	東急青葉台サービスセンター(東急多摩田園都市開発の住民向け総合窓口)開業	11	13	全日本空輸YS-11型機、松山空港で海上に墜落(50人死亡)		
	10	1	東横線中目黒~都立大学間立体交差工事着工	12	9	国民の祝日改正 建国記念日は2月11日に決定	
	10	12	中目黒変電所竣工				
	11	1	新日本興業(株) 株東急文化会館を合併				
	11	26	株ながの丸善 店舗を長野駅前に移転				
	12	1	箱根ターンパイク(株) 東急ターンパイク(株)と商号変更				
1967 (S.42)	1	—	東急建設(株) 建設事業のうち道路工部門を分離して、東急道路(株)(現:世紀東急工業(株))を設立	4	25	東伊豆道路(現:国道135号)全通	
	2	4	相模建材工業(株) 東急建材工業(株)と商号変更	4	30	川崎市営無軌条電車運行廃止	
	3	27	田園都市線にオール・ステンレスカー7200系、7500系車両就役	6	5	第三次中東戦争勃発(アラブ連合、イスラエルに宣戦布告)	
	4	1	長津田~中央林間間分割工事施行認可	6	28	私鉄経営者協会 日本民営鉄道協会と改称	
	4	1	東急鮪バス(株) 新日本製鐵名古屋製鉄所と通勤輸送運行開始	8	8	新宿駅構内で米軍タンク車と貨車が衝突し炎上	
	4	15	下谷本西八朔土地区画整理組合解散認可	9	14	営団地下鉄東西線大手町~東陽町間開通	
	4	28	こどもの国線長津田~こどもの国間3.4km開通 運賃大人30円、小児15円均一制 (特殊法人こどもの国協会より建設・運営を受託)	9	28	国鉄上越線新清水トンネル開通により全線複線電化	
	4	—	大倉山駅上りホームでカメラとモニターによる「ホーム監視用モニター」を設置	10	1	京王帝都電鉄(株) 高尾線北野~高尾山口間全通	
	4	—	渋谷駅観光案内所を開設	10	1	国勢調査 総人口100,243千人 日本の人口が初めて1億人を超える	
	5	8	東京ヒルトンホテル(株) 株ホテル・ジャパン東急と商号変更	10	22	国鉄横浜線菊名~新横浜間複線開通	
	5	25	有馬第一土地区画整理組合解散認可	10	—	電話局長津田局(東急多摩田園都市内で最初の電話局)開局	
				12	9	都電銀座線廃止	
			12	31	テレビ受信契約数2,000万台を突破		
			—	—	青葉台郵便局、鷺沼と青葉台両駅前の交番新設		

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1967 (S.42)	5	30	株ホテル文珠荘 株鹿教湯温泉ホテルと商号変更			
	6	19	東急くろがね自動車(株)販売解散			
	7	15	藤が丘ショッピングセンター開業			
	7	22	青葉台ショッピングセンター開業			
	8	1	東急建設(株) 東証第一部上場			
	8	15	東名急行バス(株) 設立 資本金5,000万円(当社ほか11社が出資、当社本社内に本社を設置)			
	8	22	目蒲線洗足駅付近の立体交差工事竣工 洗足駅は地下化			
	9	29	株東横 商号を株東急百貨店に変更			
	9	—	青葉台プラザビル(現:青葉台東急スクエアの一部)竣工			
	10	1	バス運賃改定 都内1地帯30円、2地帯50円			
	10	20	東急マイクロネシア開発(株)設立 資本金1億8,000万円			
	10	29	蒲田駅改良工事一部完成により目蒲線2線、池上線1線が高架化			
11	1	博多東急ホテル(株) 設立 資本金3億円				
11	1	株東急百貨店 本店開店(渋谷栄通り)				
11	2	株小牧ドライブイン設立 資本金4,000万円				
11	27	渋谷サービス(株) 東急サービス(株)と商号変更				
11	30	鷺沼東急アパート竣工(以後、多摩田園都市内に相次いでドエル、ビレジ、プラザを建設)				
12	1	新日本興業(株) 新宿ミラノボウル竣工				
12	16	電力司令所設置(奥沢変電所内)				
12	—	東横線大倉山駅に転落報知機設置(1972.12までに14駅18か所に設置)				
1968 (S.43)	1	1	株東急ゴルフ場 玉川ゴルフコースの営業を開始	2	4	国鉄横浜線新横浜~小机間複線開通
	1	13	恩田第二土地区画整理組合解散認可	2	21	宮崎県えびの大地震
	2	5	目黒駅、自由が丘駅で自動券売改札機の使用開始	3	12	国鉄横浜線大口~菊名間複線開通
	3	1	東急車輛製造(株) 帝國車輛工業(株)を合併	4	1	田奈小学校つつじが丘分校がつつじが丘小学校として分離独立
	3	23	東急日産販売の営業部門と日新自動車東京支店営業部門が合併、東新日産と商号変更	4	12	霞が関ビル(36階建)完成
	3	—	たまプラザ駅前ビル竣工	4	19	西武百貨店渋谷店開店
	4	1	東横線でATS(自動列車停止装置)使用開始	4	25	東名高速道路東京~厚木間、富士~静岡間、岡崎~小牧間開通
	4	1	田園都市線長津田~つくし野間(1.2km)開通			
	4	1	バス運賃改定 川崎市内30円均一	5	16	十勝沖地震
	4	3	「第1回東急グループ社員家族慰安会」を日本武道館で2日間にわたって開催	6	21	都営地下鉄大門~泉岳寺間開通により、京浜急行電鉄(株)・都営地下鉄・京成電鉄株相互乗入れ開始
	5	25	恩田第三土地区画整理組合解散認可	8	5	東北本線全線複線化
	5	30	株東急ホテルチェーン 設立 資本金4,000万円	8	20	ソ連軍 チェコスロバキアへ侵入、全土占領
	6	1	白浜ビーチゴルフ倶楽部(6.10白浜リゾート開発(株)と商号変更)を傘下に収める 資本金8億円	9	—	横浜市の宅地開発要綱制定
	6	1	東急ファミリークラブ事務局設置(6.2から会員募集)	10	12	第19回メキシコオリンピック大会開催(~10.27) 当社従業員が2人出場
	6	7	池上線長原駅付近の立体交差工事(工事延長926m)、上・下線とも地下線に切替え	11	15	都営地下鉄1号線泉岳寺~西馬込間開通
	9	1	電算室設置	12	10	川端康成 ノーベル文学賞受賞
	10	1	大岡山教習所廃止	12	20	中央高速道路八王子~相模湖間開通
	10	1	田園都市線全線(大井町~つくし野)4両編成運転実施 通勤快速運転開始	12	27	都営地下鉄6号線巣鴨~高島平間開通
10	1	株東急ホテルチェーン 東急国際ホテル(株)の経営を受託				
10	2	集中計算センター設置 バス全営業所収入金の一括処理体制整う				
10	5	市ヶ尾第一土地区画整理組合解散認可				
10	29	蒲田駅改良工事が竣工(4線5ホーム、高架化)、使用開始				
11	15	下谷本第二土地区画整理組合解散認可				
11	29	東急日産販売は東急企業と商号変更				
11	30	長原駅付近立体交差工事竣工(1965.12.1着手)				
12	16	株東急海外ホテル 設立 資本金4,000万円				
12	17	白浜リゾート開発(株) 東急土地開発(株)と商号変更				
12	20	日東タイヤ株式を三菱商事に譲渡(608万9,400株)				
—	—	駅清掃を東急サービス(株)に委託				
—	—	東京工業大学へ長津田キャンパス(現:すずかけ台キャンパス)敷地譲渡(1968年、1969年)				
1969 (S.44)	2	1	東急エビス産業(株) 東証第一部上場	1	18	東京大学安田講堂を一部学生が不法占拠、一時騒乱状態となる
	2	15	荏田第一土地区画整理組合解散認可	1	20	ニクソン 第37代米大統領就任
	3	26	新日本興業(株) 株東急レクリエーションと商号変更	2	1	東名高速道路静岡~岡崎間開通
	3	31	新世界は東急グループより分離	3	1	国鉄東京管理局 「東京西」、「東京南」、「東京北」の3管理局に分割新発足
	4	1	株赤坂東急ホテル 設立 資本金1,250万円			
	4	1	株羽田東急ホテル 株羽田プリンスホテルを合併	3	17	中央高速道路相模湖~河口湖間開通
	4	10	小川第一土地区画整理組合解散認可	3	29	営団地下鉄東西線東陽町~西船橋間開通により中野~西船橋間全通
	4	20	上田丸子電鉄(株) 丸子線を廃止			
	5	6	乗合バス不動前営業所を廃止 東名急行バス(株)営業所に賃貸	3	31	東名高速道路富士~御殿場間、厚木~大井松田間開通
				5	10	国鉄 1等、2等区分を廃止しグリーン車を設定

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1969 (S.44)	5	7	乗合バス大橋営業所開設	6	—	改正都市計画法施行
	5	10	玉川線渋谷～二子玉川園間、砧線二子玉川園～砧本村間営業廃止 三軒茶屋～下高井戸間を世田谷線と呼称	7	16	米国アポロ11号 人類初の月面着陸に成功
	5	11	世田谷線 玉電若林、玉電山下、玉電松原の各停留場を「若林」、「山下」、「松原」と改称	10	14	西武鉄道(株) 秩父線吾野～西武秩父間開通
	5	11	新玉川線第1期工事着手	11	11	玉川高島屋ショッピングセンターが開業
	5	15	博多東急ホテル開業	12	15	南武線川崎～登戸間快速電車運転開始
	5	31	上田丸子電鉄(株) 上田交通(株)と商号変更	12	20	営団地下鉄千代田線大手町～北千住間開通
	6	10	東名急行バス(株) 高速バスの運行開始			
	7	15	東横線桜木町駅に自動放送装置設備 池上線五反田駅(1970.6.6)、目蒲線目黒駅(1971.3.15)			
	8	1	目蒲線 ATS使用開始			
	8	7	東横線中目黒～都立大学間立体交差工事により下り線高架に切替え			
	8	11	(株)赤坂東急ホテル (株)東急ホテルチェーンに経営を委託			
	9	13	赤坂東急ホテル開業			
10	1	田園都市線 ATS使用開始				
10	31	定山溪鉄道(株) 鉄道事業を廃止				
11	1	(株)東急興産川越製作所 伊勢機材工業(株)を合併し、伊勢機材工業(株)と商号変更 資本金3,000万円				
11	4	深夜バス(銀座～大森間)運行開始				
11	11	東急マイクロネシア開発(株) グラム東急ホテル開業				
11	15	元石川第一土地区画整理組合解散認可				
11	15	下市ヶ尾第一土地区画整理組合解散認可				
11	30	東横線にオール・ステンレスカー8000系(全長20mの大型車)就役				
12	20	草軽交通(株) 草津東急ホテルをオープン				
1970 (S.45)	2	26	東横線中目黒～都立大学間立体交差工事上り線高架に切替え16か所の踏切解消	2	11	国産初の人工衛星打上げ成功
	3	1	池上線ATS使用開始(鉄道全線設置完了)	3	7	湘南モノレール大船～西鎌倉間開通
	3	15	日本万国博に参加 会場内のモノレール運転開始	3	11	世界最大の旅客機ボーイング747型1番機、羽田空港着
	3	27	神奈川トヨタディーゼル 設立(3.31トヨタカローラ東急と商号変更)	3	15	アジア初の日本万国博を大阪で開幕(～9.13)
	3	31	河口湖汽船(有)の全所有株式を富士急行(株)に譲渡	3	17	国鉄根岸線磯子～洋光台間開通
	4	1	トヨタカローラ東急 横浜トヨタディーゼルの営業権を譲受ける	3	26	サンコー長津田ショッピングワールド開店
	5	1	白木金属工業(株) 東証第二部上場	3	31	日本航空旅客機「よど号」赤軍派学生9人に乗取られる
	5	17	旧玉川線渋谷駅にバスターミナル設置	4	8	大阪の地下鉄工事現場でガス爆発(天六ガス爆発事故発生)
	5	—	(株)東急百貨店 (株)ながの丸善の株式取得に伴う子会社化	8	2	銀座・渋谷・池袋・浅草などで「歩行者天国」の試み実施
	6	6	大和市北部第一土地区画整理組合解散認可	11	20	国連総会「中国招請、国府追放」を決議
	6	25	西八朔第二土地区画整理組合解散認可	11	25	三島由紀夫割腹自殺
	6	27	(株)東急レクリエーション 八戸東急ボウル開業			
	7	1	(株)横浜東急ホテル (株)羽田東急ホテル、(株)赤坂東急ホテル、(株)東急海外ホテルおよび(株)東急ホテルチェーンを合併し(株)東急ホテルチェーンと商号変更 資本金4億円			
	7	31	東急機関工業(株)の所有株式を日産自動車(株)に売却(38万6,774株)			
	9	1	(株)ながの丸善、社名および店名をながの東急百貨店に改称			
	9	—	郵政省 嶮山早野地区を対象とするCATV事業の届出を受理			
	10	1	渋谷駅西口ビル竣工(3階～8階東横店の店舗)			
	10	1	東急不動産(株) 大阪支店開店および大阪証券取引市場第一部上場			
10	—	(株)東急百貨店 東横店南館オープン				
10	—	(株)東急ホテルチェーンと日商岩井、現地のサリニ百貨店の3社合併事業開始				
12	23	(株)東急レクリエーション ナゴヤ新日鉄ボウル開業				
—	—	原町田駅前整備再開発事業開始				
1971 (S.46)	1	25	リージェント・ホテルズ・インターナショナル設立(香港委託会社・資本金21万ドル)	3	20	営団地下鉄千代田線大手町～霞ヶ関間開通
	2	1	従業員持株制度発足	4	1	京王帝都電鉄(株) 相模原線のうち、京王多摩川～京王よみうりランド間開通
	2	20	東横線祐天寺・学芸大学・桜木町各駅が自動化モデル駅となる	4	20	営団地下鉄千代田線綾瀬～北千住間開通
	2	20	東横線祐天寺・学芸大学両駅にオープンカウンター開設	4	26	山手線全編成10両となる
	3	1	(株)東急ホテルチェーン (株)ホテルジャパン東急を設立 資本金6,000万円	6	5	京王プラザホテル開業
	3	31	東急コンクリート工業(株) 生コンクリート部門を日本セメントに譲渡	6	5	名古屋鉄道系百貨店「メイテツハニー」 三軒茶屋で開業
	4	1	東急興産(株) 東急企業(株)を合併	6	17	沖縄返還協定調印
	4	1	東急国際ホテル(株) (株)東急ホテルチェーン、(株)ホテル・ジャパン東急を合併し、(株)東急ホテルチェーンと商号変更	7	2	湘南モノレール大船～江の島間開通
				7	30	自衛隊ジェット機 盛岡上空で全日本空輸機に衝突(死者162人)
				8	15	米国大統領ニクソン 金・ドル交換一時中止、10%の輸入課徴金新設の政策を発表(ドル・ショック)

年	月	日	社内事項・関連事業	月	日	交通業界・その他
1971 (S.46)	4	1	全サービスステーション、ドライブインにコンピューター端末機を導入、事務処理を電算化	8	16	東京株式市場「ドル・ショック」により大暴落
	4	3	(株)東急ホテルチェーン 東京ヒルトンホテルの営業権を(株)ホテル・ジャパン東急に賃貸	10	25	中国の国際連合代表権回復、台湾は国際連合脱退
	4	14	梶ヶ谷第一土地区画整理組合解散認可	12	1	主要幹線道路にバス優先走行線設定される
	4	20	ニッポンレンタカー東名(株) 設立 資本金3,000万円	12	18	円切上げ 1ドル=308円に
	5	15	日本国内航空(株) 東亜航空(株)と合併し東亜国内航空(株)として新発足 資本金95億2,500万円			
	5	19	東横線に8000系冷房車就役(東京急行電鉄で初めての冷房車が登場)			
	6	5	上谷本第一土地区画整理組合解散認可			
	6	5	成合土地区画整理組合解散認可			
	7	3	東亜国内航空(株) 「ばんだい号」函館上空で墜落(死者68人)			
	7	16	名称審査委員会発足			
	7	28	高村造園(株)を傘下に収める 資本金400万円			
	10	1	北海道・上野幌開発共同企業体設立(総事業費47億6,000万円)			
10	1	東急興産(株) 東海産業(株)を合併 資本金46億270万円となる				
10	29	(株)東急ホテルチェーンはソウル東急ホテル開業				
11	15	恩田第四土地区画整理組合解散認可				
12	1	東急エビス産業(株) 菱和飼料・日本農産工業と合併し解散				
12	15	東急土地開発(株) トウキョウ・ランド・デベロップメント(ハワイ)社設立				
12	20	白馬観光開発(株) 岩岳スキー場に会員制「白馬メンバーズクラブ」を開設				
1972 (S.47)	1	20	(株)石勝エクステリア設立 資本金600万円	1	24	グラム島で元日本兵横井庄一氏発見される
	2	20	上田交通(株) 真田・傍陽線営業廃止	1	27	西湘バイパス全線開通、箱根ターンバイクと接続
	3	30	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 設立 資本金5億円	2	3	第11回冬季オリンピック札幌大会開催(～2.14)
	3	31	東急ターンバイク(株)の有料道路業を譲受ける	2	19	軽井沢山荘で連合赤軍グループ5人、警官隊と銃撃戦
	4	1	東急ターンバイク(株)の有料道路の運営を委託	3	1	都市交通審議会は13路線答申(11号線二子玉川～渋谷～九段下～蠟殻町～深川扇橋)
	4	1	東急観光(株) 東急航空(株)を合併			
	4	1	東光食糧販売(株)を傘下に収める 資本金800万円	3	15	国鉄山陽新幹線新大阪～岡山間開通
	4	1	田園都市線つくし野～すずかけ台間(1.2km)開通	4	23	大手私鉄7労組24時間スト
	4	20	田園都市線冷房車使用開始	4	30	中小私鉄100労組24時間スト
	4	—	日本ドリゾール株式をウエスタン・トレーディングに譲渡(72,900株)	4	—	福岡県が1985年を目標とした長期ビジョンと中期計画(第1期)を発表(「小郡・筑紫野ニュータウン」建設の提言を含む)
	5	1	相談役会(社長諮問機関)設置	5	13	大阪千日デパート火災(118人死亡)
	5	1	定山溪鉄道(株) 札幌市内バス路線を札幌市へ譲渡	5	15	沖縄復帰 沖縄県として発足
	5	8	目蒲線冷房車使用開始	6	5	国連主催人間環境会議、ストックホルムで開催
	5	22	小川第二土地区画整理組合解散認可	6	12	超音速機コンコルド羽田に飛来
	5	29	英文社名を「Tokyu Corporation」と改称	6	30	都営地下鉄6号線巣鴨～日比谷間開業
	6	1	(株)琉球東急ホテル (株)那覇東急ホテルと商号変更	7	1	国内の航空会社3社の事業割当に関する運輸大臣示達
	6	15	神木土地区画整理組合解散認可	7	15	国鉄総武地下新線東京～錦糸町間完成 房総東線を外房線、房総西線を内房線と改称
	6	15	大倉山変電所完成送電開始			
6	17	東横線都立大学駅が自動化駅となる	8	20	国鉄横浜線小机～八王子間複線化工事に着手	
7	25	トヨタカローラ東急の所有株式をトヨタカローラ神奈川に譲渡	9	25	首相田中角栄 中国訪問 周恩来首相と会談 日中共同声明調印	
7	—	目蒲線・田園都市線に冷房車両就役	10	20	営団地下鉄千代田線霞ヶ関～代々木公園間開通 銀座線神宮前駅を「表参道」と改称	
8	1	バス運賃改定 横浜市内片道大人50円均一(ただし1973.3.31までは暫定措置として40円均一)	12	16	横浜市営地下鉄上大岡～伊勢佐木長者町間開通	
8	3	(株)東急レクリエーション 浜松東急ボウル(40レーン)を開業	—	—	渋谷「公園通り」が命名される	
8	10	(株)東急レクリエーション 新潟に古町東急ボウル(42レーン)を開業				
8	—	東急不動産(株) 宇田川町の土地(聖パウロ教会跡地、現:東急ハンズ渋谷店)取得				
8	—	普通乗車券の100%券売機化を完成				
10	1	青葉台フードマートにおいてキャッシュレス・システム実験開始				
10	2	(株)東急ホテルチェーン 東証第二部上場				
10	5	長津田車両工場竣工				
10	—	新玉川線第2期工事を日本鉄道建設工団の事業として当社が受託				
11	1	伊豆急行(株) 東証第二部上場				
12	4	オーキッド・アイランド・リゾーツ・コーポレーション設立 資本金102万ドル				
12	15	ニッポンレンタカー東名(株) ニッポンレンタカー東急(株)と商号変更				
—	—	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 米国大手レジャー会社から、ホノルル(オアフ島)のハワイアン・リージェント・ホテルを75億円で取得				

年表(1973年～2023年)

〈全体〉 ・当社（東京急行電鉄株式会社および東急株式会社）の事項について、原則として主語を省略した。 ・会社の設立・買収・合併等は、当該会社の事業内容に応じたカテゴリーに記載した。ただし、内容により「経営」に記載した。	
〈不動産〉 ・主な事業の営業開始、営業終了等 ・主な施設の開業、廃止等 ・主な資産や設備の取得、売却等 ・その他、史料として重要と認められるもの	〈交通〉 ・鉄道敷設免許および軌道敷設特許にかかわるもの ・鉄軌道事業における主な工事の竣工 ・営業運転の開始、休止、廃止 ・主な鉄道営業制度の導入 ・運賃の改定 ・他社局との相互直通運転にかかわるもの ・その他、史料として重要と認められるもの

年	月	日	不動産	月	日	交通
1973 (S.48)	1	13	北山田第一土地区画整理組合解散認可	1	11	東亜国内航空(株) 大阪～奄美大島線の運航を開始
	4	28	都市開発協議会が発足し、五島昇社長が理事長に就任	1	15	都内のバス運賃改定(1 地帯30円→40円、2 地帯50円→60円)
	5	15	厚木第一地区(東急ニュータウン厚木毛台)一団地造成(神奈川県厚木市)開発許可	2	1	東亜国内航空(株) 東京～大分線を増便、福岡～宮崎線の一部ジェット化
	6	11	富士高原都市プロジェクト始動(静岡県の事前審査をパス)	2	1	横浜市内のバス運賃改定(暫定運賃の適用期間が終了し、50円均一制)
	7	11	上野幌地区(上野幌東急ニュータウン)一団地造成事業(北海道札幌市)開発許可	4	20	「奥沢総合ビル」が完成
	7	25	元石川第二土地区画整理組合解散認可	6	16	綱島線のワンマン化により、バスワンマン化100%を達成
	7	27	北見バス(株) 釧路営業所開設し営業開始	6	25	川崎市内のバス運賃改定(30円均一制→50円均一制、11月30日まで暫定運賃40円)
	8	29	知多西谷地区土地区画整理組合(愛知県知多市)設立認可	8	—	新玉川線・営団地下鉄11号線の渋谷駅出入口が決定
	11	—	トウキョウ・ランド・コーポレーション・マイクロネシア社 グラムで分譲販売開始	9	17	田奈変電所が完成
	12	14	都内初のマンション「東急ドエル清水」を完成	9	—	電車・バスに東急グループシンボルマークを取り付け
				10	1	バス路線鴨志田線を新設
				12	12	東亜国内航空(株) 機体カラーマーキングを一新(赤と緑のツートンカラー)と発表
				12	—	東横線に列車無線装置を装備
1974 (S.49)	2	8	東急不動産(株) 「新南平台東急ビル」を竣工	1	16	新宿～目黒区役所間のバス路線を廃止
	3	25	下長津田土地区画整理組合解散認可	1	20	東急サービス(株) タクシー業を廃業しハイヤー部門を充実
	3	—	当社と東急土地開発(株) 大林組との合併で米国・シアトル市郊外の開発に着手	2	8	交通事業本部を新南平台東急ビルに移転
	5	—	東急不動産(株) 軽量鉄骨のプレハブ住宅「東急フレックスホーム」(量産住宅)の販売開始	3	15	「菊名駅ビル」を完成
			3	28	青葉台駅前に自転車置場を開設	
			4	18	東横線の全急行を8両編成で運転	

〈生活サービス・ホテル・リゾートほか〉 ・主な事業の営業開始、営業終了等 ・主な施設の開業、廃止等 ・主な資産や設備の取得、売却等 ・その他、史料として重要と認められるもの	〈経営〉 ・会社の設立・買収・合併等 ・当社の資本金の増減、社債発行などの財務 ・当社の役員の就任・退任および辞任等の人事 ・その他、史料として重要と認められるもの	〈業界・一般〉 ・関連する業界の主な出来事 ・その他、社会・一般の主な出来事
---	---	---

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1973 (S.48)	1	8	定山溪鉄道(株) リネンサプライ工場の操業開始(運営は(株)東急リネン・サプライ北海道)	1	1	東急自動車(株) 農業機械部門の営業をエム・エス・ケー東急機械(株)に譲渡	1	—	多摩田園都市の人口、15万人を超える
				2	1	政策室、経営企画室、総合開発室を設置	2	1	横浜市、マンション等集合住宅建設に係わる指導要綱施行
				1	20	東横線日吉駅構内にスナック「コピー」を開業	2	14	円、変動相場制に移行
				2	1	(株)東急レクリエーション 東急文化会館屋上に東急文化ゴルフ練習場を開業	4	1	川崎市、中高層建築物の指導要綱施行
				3	21	(株)東急レクリエーション 新宿東急文化会館に「ビームシューティング・ミラノ」を開業	4	20	都市開発協議会設立
				6	1	(株)東急ホテルチェーン 「札幌東急ホテル」(267室)を開業	4	21	租税特別措置法改正(法人等の土地譲渡益重課制度創設)
				7	12	碑文谷に「東急ゴルフガーデン」と「東急アーチェリークラブ」を開業	4	26	地方税法改正(特別土地保有税創設)
				8	1	「浜松サービス・ステーション」開業	5	16	バス専用レーンの合理化策として、目黒通り、青梅街道に自動発光装置を採用
				8	1	白木金属工業(株) 東京および名古屋の証券取引所において市場第一部上場に指定替え	6	14	渋谷PARCO開業
				9	14	東急土地開発(株) 湯布高原の第1次工事完成し営業開始(ゴルフ場、アーチェリーフィールド、テニスコート、屋内温泉プール、別荘)	6	20	NHKホール開場
				10	1	伊豆急行(株) 稲取ゴルフ場に新コース(森コース)開業	9	1	都市緑地保全法公布
				10	5	(株)東急百貨店 「さっぽろ東急百貨店」を開業	9	9	国鉄千歳線の新札幌駅や上野幌駅線形変更の複線新線が開業
				10	5	東急観光(株) さっぽろ東急百貨店内に営業所を開設	10	6	第四次中東戦争勃発
				10	7	上田交通(株) 東急インチェーンの第1号店「上田東急イン」(70室)を開業(東急インチェーンのフランチャイズ店)	10	16	第一次オイルショック
				10	15	東急車輛製造(株) 新交通システムの「バラトラン」実験開始			
	1974 (S.49)	4	19	「京都東急イン」(400室)を全室開業	1	17	東急土地開発(株) 緑化事業の新会社(株)播磨農園を設立	3	1
4		30	(株)石勝エクステリア 本社を移転(目黒区青葉台二丁目)	4	18	中央食品(株)と(株)東光ストア 豪州シドニーにトウキョウ・フィード・ロット社を設立	4	18	社団法人都市開発協会発足
				5	29	「嶮山早野ショッピングセンター」を開業	6	1	小田急多摩線新百合ヶ丘～永山間開通
							6	1	生産緑地法公布(8月31日施行)
							6	25	国土利用計画法公布(12月24日施行)

年	月	日	不動産	月	日	交通	
1974 (S.49)	8	5	富士高原都市御殿場地区本申請	6	30	渋谷～江ノ島間長距離バス廃止	
		12	「東急銀座ビル」を完成	7	1	川崎市の敬老バス制度に協力して敬老バスを発行	
				7	20	鉄軌道運賃改定(初乗り運賃30円→40円)	
				9	30	元住吉車庫線の改良工事が完成	
				9	—	9月期に鉄道部門が営業利益で約15億2,000万円の赤字を計上	
				10	1	都内のバス運賃改定(1地帯40円→70円、2地帯60円→70円、但し、1975年3月31日まで暫定運賃60円)	
				12	3	鷺沼変電所が完成	
1975 (S.50)	2	15	上谷本第二土地区画整理組合解散認可	1	7	渋谷駅東口に「東急バス観光センター」を開業	
		3	25	嶮山第一土地区画整理組合解散認可	2	20	田園都市線に8500系車両を投入
		4	25	嶮山第二土地区画整理組合解散認可	2	25	渋谷駅案内所を「渋谷駅旅行センター」として新装開業
	3	14	早野土地区画整理組合解散認可	3	1	東亜国内航空(株) 東京～札幌、東京～福岡幹線の運行開始	
		6	14	「東急藤が丘ビル」を開設 多摩田園都市20周年記念行事の一環	8	8	新玉川線全線(渋谷～二子玉川間)が貫通
	12	23	千福地区第2期開発計画が静岡県土地利用対策委員会で承認	10	—	田園都市線長津田駅の改良工事が完成(2面4線へ)	
		23	南町田第一土地区画整理組合解散認可	12	1	横浜市内のバス運賃改定(50円→90円、1976年4月30日まで暫定運賃70円)	
	—	—	東急土地開発(株) 大阪市北区にレンタルマンション「東急マークス梅田」を完成	12	3	川崎市内のバス運賃改定(50円→90円、1976年4月30日まで暫定運賃70円)	
				12	13	鉄道運賃改定(初乗り運賃40円→60円)	
				12	15	立体交差化工事中の二子新地前駅～溝の口駅間の下り線(848m)の高架化が完成	
				12	18	当社線全線にシルバーシートを設定	
				12	24	小型車両によるデマンドバス「東急コーチ」の自由が丘線(自由が丘駅～駒沢間)の運行開始	
	1976 (S.51)	3	22	(株)東急ホテルチェーン 「麹町東急ビル」(本社ビル)を完成	1	23	鉄道高架化工事的手法「東急式直上高架工法」が自社特有の特許となる
3			25	上谷本第三土地区画整理組合解散認可	1	30	路線バスの全車両にシルバーシートを設定
3		31	群馬バス(株) 高崎駅前に「群馬バスビル」を完成、スーパーストア「ダイエー」に一括賃貸	3	1	田園都市線の一部で5両運転を開始	
				3	—	鷺沼車庫用地を営団地下鉄に売却	
5		8	千福地区(東急千福ニュータウン)一団地造成(静岡県裾野市)開発許可	3	—	小田急線柿生駅～虹が丘間(3.83km)にバス路線を新設、運行を開始。すすき野団地～たまプラーザ駅間の路線増強	
				4	1	東横線菊名駅改札口の並びにオープンカウンターを設置	
8		20	知多西谷地区土地区画整理組合(愛知県知多市)解散認可	4	1	コーヒーショップ事業の1号店「キュート菊名店」を開店	
				4	2	72時間スト決行	
12		27	厚木第一地区(東急ニュータウン厚木毛台)一団地造成(神奈川県厚木市)完了検査済	4	—	東亜国内航空(株) 1975年度決算で1971年創立以来初の単年度黒字達成	
				4	—	川崎・横浜市内のバス運賃改定(暫定運賃の適用期間終了し、90円)	
					5	1	8500系車両が「ローレル賞」を受賞
				5	9	駅業務の近代化開始(定期券発行の集約化、小規模駅の早朝深夜の無人化、改札のフンチェック方式など)	
				7	21	田園都市線二子新地前駅～溝の口駅間の立体交差化工事が完成	
				8	5	田園都市線延長に備え「つきみ野変電所」が完成	
				8	24	田園都市線延長に備え「つきみ野変電所」が完成	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1974 (S.49)	6	1	「伊豆東急イン」(49室)を開業(初のリゾート型イン)	3	15	オーキッドアイランドリゾート社がマウナロアランド社に社名変更	6	26	国土庁発足
		6	5	「グアム東急ホテル」が改修工事のため一時休業	4	9	ユニテッド・デベロップメント(株)の株式(3,000株)取得	—	—
	6	20	(株)東急百貨店 「東急百貨店吉祥寺店」を開業	4	15	東急土地開発(株)より日本サファリパーク(株)の株式(12万5,000株)買い取り	6	13	第2回「札幌とうきゅうオープン」ゴルフトーナメントを開催(真駒内カントリークラブ)
				7	1	伊豆急行(株) 「ホテル伊豆急」を増築 南伊豆最大のホテルとなる			
	8	1	(株)東急レクリエーション 「広島東急イン」(286室)を開業(フランチャイズ店)	6	13	(株)東光ストア (株)北海道東急ストアを設立	7	1	東急グループ海外懇談会が発足 13社が参加して初会合
				8	31	東急イン建設のため「愛宕山サービスステーション」を閉鎖			
	9	21	「那覇東急ホテル」の労働争議が4か月ぶりに解決し営業を再開	7	25	東急グループ海外懇談会が発足 13社が参加して初会合	8	28	財とうきゅう環境浄化財団を設立
				10	1	「旭川東急イン」(123室)を開業			
	10	1	(株)東急ホテルチェーン 「長崎東急ホテル」(227室)を開業	11	20	東亜国内航空(株) 空港でのサービス業務を行う北海道エアサービス(株)を設立	10	9	「リージェントパタヤホテル」を一部開業
				10	9	「鹿児島東急イン」(125室)を開業			
	10	13	(株)北海道東急ストア 宮の森店(札幌市)を開業	10	13	(株)北海道東急ストア 宮の森店(札幌市)を開業	10	29	(株)東急レクリエーション 「熊本東急イン」(140室)を開業(フランチャイズ店)
				10	29	(株)東急レクリエーション 「熊本東急イン」(140室)を開業(フランチャイズ店)			
	1975 (S.50)	1	1	豪州に海外部の事務所「オーストラリア事務所」を設置	1	17	東名急行バス(株) 株主総会で「東名急行バス」の営業廃止を決定	3	10
3					1	(株)東光ストア 商号を(株)東急ストアに変更	4	1	新都市計画法による市街化区域・市街化調整区域の線引き見直し
2		2	(株)東急ホテルズ・インターナショナル タイでホテル「リージェントパタヤホテル」(300室)を全面開業	3	1	東急興産(株) 東急自動車(株)と対等合併する	4	30	ベトナム戦争終結(サイゴン陥落)
				5	1	東急興産(株) 東急トレーディング(株)に商号変更	7	1	文化財保護法改正
9		19	「酒田東急イン」(88室)を開業	7	20	沖縄国際海洋博覧会が開幕	9	1	宅地開発公団設立
				9	1	東京工業大学 長津田キャンパス(現:すずかけ台キャンパス)開設			
10		4	(株)東急レクリエーション 「蒲田東急ボウル」を改装、「蒲田東急スポーツセンター」として新装開業	9	29	商法の一部改正で定款を変更、株主総会が年1回に	9	—	東京工業大学 長津田キャンパス(現:すずかけ台キャンパス)開設
				6	16	群馬県新鹿沢で(第1回)東急グループ新入社員合同研修会を開催			
10		25	東急建設(株) 「栃木東急ゴルフ倶楽部」を開業(傘下会社(株)東邦レジャー)	9	25	熊本県で「パールラインホテル」を経営する(株)パールライン観光が東急グループに加入	11	15	第1回先進国首脳会議(現在のG7)が開催
				10	23	東急不動産(株) 外国人留学生への奨学金支給を目的とする財とうきゅう外来留学生奨学財団を設立			
11		1	日本サファリパーク(株) 宮崎県に日本初のサファリパーク「宮崎サファリパーク」開業	11	1	弘潤運輸(株)が東弘商事(株)を吸収合併して東弘商事運輸(株)と商号変更	11	1	弘潤運輸(株)が東弘商事(株)を吸収合併して東弘商事運輸(株)と商号変更
	12			9	(財)東急弘潤会 コンビニエンス・ストアの実験第1号店「トークス」を東横線反町駅前に開店(傘下会社東弘商事運輸(株))				
1976 (S.51)	3	16	「愛宕山東急イン」(東京都港区) (269室)を開業	1	5	コンピュータ・センター(渋谷東急ビル)と分室(南平台ビル)間でコンピュータによるオンラインシステムがスタート	2	6	ロッキード事件
				3	22	伊豆急行(株) 下田寝姿山山頂に「下田開港記念館」を開業	4	8	相模鉄道いずみ野線二俣川～いずみ野間開業
	4	1	「東急スイミングスクールたまがわ」を開業	2	11	伊豆急行(株) 伊豆急下田駅前に建設するショッピングセンターの管理運営会社(株)サンプラザを設立、(株)東急ストアとの共同出資	4	11	小田急線新原町駅が町田駅に改称
				4	26	(株)北見バス興産 北海道北見市に「ターミナルストア大町店」を開店	4	—	多摩田園都市の人口、20万人を超える
	5	1	「山形東急イン」「鹿児島東急イン」で飲食部門を直営に変更し、レストラン「シャングリラ」を開業	3	2	東急土地開発(株)の傘下会社 日本環境緑化(株)(資本金3,000万円) 当社直接の関連会社になる	6	19	住宅金融公庫、中古住宅購入資金貸付制度創設
				6	22	「富山東急イン」(128室)を開業	6	25	新自由クラブ結成
	7	1	軽井沢東急フィールド・アスレチックコースを開設	5	31	(株)東急設計コンサルタント 本社移転	9	4	横浜市営地下鉄1、3号線横浜～上永谷間直通運転開始
				6	4	東急労働組合 目黒区大橋に「東急労働会館」を完成			
	8	12	「小倉東急イン」(190室)を開業	6	15	東急グループ6社(当社、東急観光(株)、(株)東急百貨店、東急車輛製造(株)、東亜国内航空(株)、東急通運(株)) 東急エアカーゴ(株)を設立(資本金8,000万円)	6	15	東急グループ6社(当社、東急観光(株)、(株)東急百貨店、東急車輛製造(株)、東亜国内航空(株)、東急通運(株)) 東急エアカーゴ(株)を設立(資本金8,000万円)
				9	9	「名古屋東急イン」(187室)を開業			
	9	24	(株)東急レクリエーション 「釧路東急イン」(150室)を開業	9	24	(株)東急レクリエーション 「釧路東急イン」(150室)を開業	10	9	(株)北海道東急ストア 北海道内最大規模の「北広島とうきゅう」を開業
10				9	(株)北海道東急ストア 北海道内最大規模の「北広島とうきゅう」を開業				

年	月	日	不動産	月	日	交通	
1976 (S.51)				10	11	運輸業務の近代化の一環としてPTC(プログラム式列車運行制御装置)装置を蒲田駅で使用	
				10	15	田園都市線のすずかけ台駅～つきみ野駅間が開通(新たに南町田駅とつきみ野駅が誕生)、同時に長津田駅～すずかけ台駅間の複線化完了	
1977 (S.52)	2	—	東急土地開発㈱ 東急豊栄ニュータウンの区画分譲開始	1	24	5000系車両26両を長野電鉄㈱への譲渡 第1陣として2両を移送	
	4	6	「東急駒沢ビル」を完成 東横食品工業㈱に一括賃貸	4	7	新玉川線(渋谷～二子玉川園間9.4km)が開通	
	5	14	奈良恩田土地区画整理組合解散認可	4	16	玉川線の代行バス廃止	
	6	2	「厚木毛利台ショッピングセンター」を完成、(株)東急ストアほかに賃貸	5	1	元住吉車庫の継電化が稼働(手動の錘付転てつ器を電動装置に変えたことで、構内運転士と転てつ掛の省力化となる)	
	8	15	元石川大場土地区画整理組合解散認可	5	6	都内のバス運賃改定(70円→90円)、東急コーチ運賃改定(120円→140円)	
	11	15	鴨志田第二土地区画整理組合解散認可	5	25	田園都市線たまプラーザ駅～江田駅間に、あざみ野駅が誕生(相対式でホームの長さ170m)	
				6	17	世田谷線のこども運賃が復活(普通運賃40円、通学定期1か月630円、塾などに通う通勤定期1か月1,260円)	
				9	10	集中豪雨のため田園都市線宮前平～鷺沼間の鷺沼構内引込線のガケ崩れにより、同区間が不通	
				11	16	田園都市線と新玉川線を結ぶ直通快速列車の運転を開始	
				12	16	多摩川園前(東横線・目蒲線)を多摩川園前に、二子新地前(田園都市線)を二子新地に駅名改称	
	1978 (S.53)	3	—	東急グループ 北見駅前地区市街地再開発事業で準備組合を結成	1	11	4駅(日吉、横浜、溝の口、長津田)の定期券売場が案内所として開設
		4	—	トウキョウ・ランド・コーポレーション・マイクロネシア社 グラムで分譲販売完了	2	6	伊豆急行㈱社員40人を東急線の各駅で一時受け入れ(1月14日発生の伊豆大島近海地震での被害の救済)
6		16	マウナロアランド開発本部を設置	3	1	日比谷線乗り入れ車両側面に行先表示板を新設	
7		1	保木都市建設事務所を新設	3	16	あざみ野駅～虹ヶ丘団地間にバス路線を新設	
8		20	南町田駅前の貸野球場にソフトボールと少年野球専用の「中球場」と軟式野球専用の「北球場」を増設	5	9	コーヒESHOP2号店「キュート渋谷店」を開店	
9		12	「東急鷺沼ビル」完成、(株)東急ストアに一括賃貸	6	1	東亜国内航空㈱ 全路線全便に禁煙席を設置	
9		29	新崎土地区画整理組合(新潟県新潟市)設立認可	6	15	伊豆急行㈱ 5か月ぶりに全線開通	
11		—	北見駅前地区市街地再開発事業の都市計画決定	7	1	神奈川県内で車いすのバス乗車を実施	
				7	5	東京都内で車いすのバス乗車を実施	
				7	8	荷物運賃を平均8.8%値上げ	
				7	20	東亜国内航空㈱ 東京～鹿児島、東京～熊本、東京～函館のダブルトラック3路線を開通、DC-9型ジェット機で1日1往復運航	
				8	1	新玉川線と営団地下鉄半蔵門線(青山一丁目まで)の直通運転を開始。新玉川線渋谷駅は営団地下鉄の管轄	
				10	1	都内のバス運賃改定(山手線内90円→110円)	
				10	1	横浜市内のバス運賃改定(90円→110円、1979年5月31日まで暫定運賃100円)	
				11	25	新複数券売機を二子玉川園駅に設置	
			12	1	全駅で禁煙タイムを実施(7～9時と17～19時)		
			12	中	大型方向幕と車内暖房を採用した路線バス新車両(44両)を導入(関東初)		
1979 (S.54)	3	31	有馬第二土地区画整理組合解散認可	1	8	鉄軌道運賃改定(初乗り運賃60円→70円)	
	3	31	土橋土地区画整理組合解散認可	2	1	新中央航空㈱が事業免許を取得、中央航空㈱から資産ならびに営業権を譲受して営業を開始	
	3	31	宮崎土地区画整理組合解散認可	2	7	営団鷺沼車庫用地内の建物および付属設備の工事完了、第1期分を営団に引き渡す	
	4	20	日向岡土地区画整理組合(神奈川県平塚市)設立認可	4	28	「鷺沼総合ビル」(地下4階、地上2階建て)を開業	
	6	7	学芸大学駅高架下の「東急名店街」を全面改装開業、有名店を集めたのれん街方式で運営	4	—	東横線でTTC(列車運行総合制御装置)のテスト運用開始	
	7	—	北見駅前地区市街地再開発事業で東急グループの再開発組合が認可	5	—	長津田車庫完成(留置車両数152両)	
	10	6	南町田第二土地区画整理組合解散認可	7	22	鷺沼電車区、同車掌区、同検車区が長津田に移転	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1976 (S.51)	11	7	(株)東急ホテルズ・インターナショナル ジャカルタにホテル「サリパシフィックジャカルタ」(500室)を開業	7	1	東急観光㈱ ハワイに4番目の現地法人パシフィックトウキョウエクスプレス社が営業開始			
	11	12	(株)東急ハンズ 「東急ハンズ藤沢店」(第1号店)を開店	7	11	伊豆急行㈱ 集中豪雨で10億円近い被害			
	12	11	「ケンタッキーフライドチキン青葉台店」(当社がフランチャイズ経営する第1号店)を開店	8	28	東急不動産㈱ (株)東急ハンズを設立	10	31	(株)東急百貨店 傘下会社3社を合併し(株)東急バラエティストアを設立
1977 (S.52)	3	21	伊豆急行㈱ 「稲取フィールドアスレチックコース」を開業	4	1	人事管理制度の一部を改訂し、資格制度を導入	2	1	横浜市大型店舗出店指導要綱施行
	4	20	伊豆急行㈱と(株)東急ストア 伊豆急下田駅前ショッピングセンター「サン・プラーザ」を開店	5	12	東急トレーディング㈱ 自動車事業部を分離し新東急自動車㈱を設立	4	1	連結会計制度開始
	4	26	東急イン15店目の「和歌山東急イン」(137室)を開業	6	—	海外留学制度がスタート、2人を派遣	4	—	多摩田園都市の人口、25万人を超える
	7	16	東急不動産㈱ 「勝浦東急ゴルフコース」を開業	8	1	東横食品工業㈱ サンジェルマン・アメリカ社を設立	8	7	有珠山噴火
	7	16	鷺沼駅前に「ロッセリア鷺沼店」を開店	8	—	(株)東急百貨店がグループ初の外貨建て(ドル建て)転換社債を発行			
	9	20	(株)東急ホテルズ・インターナショナル バングラデシュ政府出資会社、ホテルズ・インターナショナル社とホテル建設コンサルタント契約を調印	9	23	米国・シアトルにミルクリーク・セールス社を設立			
	10	1	伊豆急行㈱ 伊豆稲取に「伊豆バイオパーク」を開業	12	27	ハワイ・ホノルルにトウキョウビルディング社(不動産賃貸・売買、ホテル、飲食業の会社)を設立			
	10	8	「松本東急イン」(100室)を開業						
	10	31	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 韓国「慶州東急ホテル」のコンサルタント業務を受託						
	11	18	(株)東急ハンズ 「東急ハンズ二子玉川店」(第2号店)を開店						
	11	20	東横食品工業㈱ 海外第1号店「サンジェルマン・ハワイ店」を開店						
1978 (S.53)	1	1	東急観光㈱ 宿泊予約のオンラインを開始	1	14	伊豆急行㈱ 伊豆大島近海地震で被災	4	6	サンシャイン60開業
	2	1	「下関東急イン」(128室)を開業	1	17	東急グループが静岡県に地震被災義援金(1千万円)を寄付	5	20	新東京国際空港(成田空港)開港
	3	18	南町田駅前に貸し野球場(3面)を開設(社有地の暫定利用の一環)	6	—	(株)東急百貨店 (株)ティール・エム・ディーを設立	6	—	帝都高速度交通営団 地下鉄11号線を半蔵門線と命名
	4	1	(株)東急弘潤会 駅売店業務を東弘商事運輸㈱に全面委託	7	5	農林水産省発足	7	5	
	7	1	「東急嶮山スポーツガーデン」を開業	8	12	豪州ボンド社所有のヤンチェップ・サン・シティ社の全株式(612万株)を取得	8	12	日中平和友好条約調印
	7	1	「東急スイミングスクールふたご」を開業	10	2	建設省が国道246号線の拡幅整備計画を発表(道路幅員18mを30mに拡幅)	10	2	横浜線小机～中山間複線化完成
	7	31	東急文化会館の「東急ゴールデンホール」を全面改装し渋谷で最大級(700人収容)の披露宴会場が誕生	11	16	計画を発表(道路幅員18mを30mに拡幅)	11	16	ディスコブーム
	8	26	(株)東急レクリエーション 東急文化会館屋上に都内初の「スケートボード・パーク」を開設	—	—		—	—	
	9	1	「大阪東急イン」(402室)を開業	4	23	春闘で終日ストに突入			
	9	7	(株)東急ハンズ 「東急ハンズ渋谷店」(第3号店)を開店	4	25	春闘で14時までストに突入			
	9	21	(株)東急ストア 鷺沼駅前に「さぎ沼とうきゅう」を開店	5	23	株東急イン (株)関西東急インと商号変更			
	10	6	「東急宮前平ショッピングパーク」を開業	5	—	五島昇社長 太平洋経済委員会の国際会長に就任			
	10	6	(株)東急バラエティストア 「東急宮前平ショッピングパーク」内に「宮前平東急バラエティストア」を開店	6	1	東弘商事運輸㈱ 東弘商事㈱に社名変更			
	10	13	東急観光㈱ 国鉄とのコンピュータ結合申請が正式に認可	6	—	当社 1977年度に総売上1,230億円、初めて1,000億円企業に			
	10	13		8	1	(株)東急百貨店 (株)さっぽろ東急百貨店を吸収合併			
10	13		12	15	新中央航空㈱を設立				
1979 (S.54)	1	1	東横食品工業㈱ ハワイにパン工場完成、操業開始	3	—	東急不動産㈱ グラム・アガナにトウキョウランドグラム社を設立	1	—	第二次オイルショック
	1	20	都内2店舗目の「渋谷東急イン」(224室)を開業	4	25	始発からスト突入、16時20分解除	4	1	横浜線中山～長津田間複線化
	1	30	宮古シーサイドホテル㈱ 設立	7	20	株東急ジョイガーデン 設立	6	28	G7東京サミットが開催
	3	8	(株)五島育英会 武蔵工業大学で水素自動車の実用走行テスト実施	7	20	当社保有の浅上航運倉庫㈱の全株式を譲渡	6	29	世界的石油危機に対処する東京サミット宣言採択
	3	31	「高崎ドライブイン」のレストランを閉鎖	8	1	東急建設㈱ ハワイに現地法人を設立(グラムに続き現地法人2社目)	7	11	東名日本坂トンネルで自動車火災事故発生
						10	1	横浜線長津田～町田間および淵野辺～相原間複線化完成	

年	月	日	不動産	月	日	交通
1979 (S.54)	10	18	鷺沼駅前に「第2東急鷺沼ビル」を竣工	8	12	田園都市線、新玉川線、半蔵門線の終日相互直通運転を開始、二子玉川園～大井町は大井町線と改称
	10	25	小黒土地区画整理組合解散認可	9	21	半蔵門線が永田町まで開通
	10	27	東急不動産(株) 多摩田園都市で初の1億円台の土地付き一戸建て住宅16戸(有馬11戸、つくし野5戸)の販売を開始	9	30	「東急コーチ」の鷺沼線(鷺沼駅～宮崎台駅間、140円)の運行開始
	12	25	上野幌地区(上野幌東急ニュータウン)一団地造成事業(北海道札幌市)完了検査済	10	16	東横線のTTC(列車運行総合制御装置)が本格的に稼働(営業線の信号扱いなどが自動化)
				10	20	都内のバス運賃改定(山手線外90円→110円、1980年8月31日まで暫定運賃100円)
				11	—	田園都市線つきみ野～中央林間の延長線建設工事に関する発掘調査開始
				12	3	雪が谷検車区にソーラーシステムによる給湯装置を設置
				12	5	池上線五反田駅に案内所を開設
				12	17	バス路線の鷺沼駅～すみれが丘が開業
				12	20	白馬観光開発(株)、(株)東急ホテルチェーン、当社「東急白馬号」の定期運行を開始
				12	21	川崎市内のバス運賃改定(90円→110円)
	1980 (S.55)	2	20	池上線五反田駅前に「東急五反田ビル」を開業	3	22
4		2	市が尾ビルが竣工(株)東急パレエティストアに一括賃貸	3	29	東横線から5000系車両が引退
4		25	市ヶ尾川和土地区画整理組合解散認可	4	11	横浜駅第2広場(横浜駅西口、天理ビルの裏)のバス停にバス接近表示システムを導入、使用開始
7		—	伊豆急行(株) 伊豆高原(20棟)、城ヶ崎(38棟)で貸別荘業開始	5	12	新玉川線渋谷駅地下2階に「東京急行総合案内所(観光センター)」を開設
8		15	元石川第三土地区画整理組合解散認可	8	—	都内民鉄初の「スケルトンバス」導入
10		29	「渋谷東口ビル」が竣工	9	1	東急コーチ運賃改定(140円→160円)
11		28	しらさぎ台3、4工区(東急しらさぎ台ニュータウン)一団地造成(徳島県徳島市)工事着工	9	1	都内のバス運賃改定(山手線外暫定運賃の適用期間が終了し、110円)
12		3	東急不動産(株) つくし野駅前を再整備、「つくし野スクエア」を完成	12	27	東横線に8090系車両(7両・1編成)を配備、最新鋭の軽量ステンレス製省エネ電車
12		6	伊豆急行(株) 川崎市(野川南台)で戸建住宅の販売を開始、首都圏で初	12	31	大みそかの終夜運転を休止(終電繰り下げ、初電を繰り上げ省エネに協力する)
1981 (S.56)	1	14	市ヶ尾第二土地区画整理組合解散認可	3	3	新東急自動車(株) 中原サービス工場を開設
	3	21	静岡県「東急千禧ニュータウン」で建売住宅の販売を開始	3	23	長津田車両工場に当社初の浴場用大型ソーラーシステムを導入
	5	22	当社と藤屋木材(株)「自由が丘共同ビル」を完成、(株)東急ストアに一括賃貸	4	1	江田駅の改良工事(下り快速待避線、西側通路を新設)が完成
	6	5	北海道の上野幌開発共同企業体(当社、(株)じょうてつ、東急不動産(株)、東急建設(株)、東急観光(株))が解散 全区画の販売を完了	5	6	鉄軌道旅客運賃改定(初乗り運賃70円、1～7km→1km～3km)
	8	1	福岡県「小郡・筑紫野ニュータウン」の当社開発予定地が市街化区域に編入	5	11	青葉台駅前に観光バス案内所を開設
	9	3	大和田地区(東急ニュータウン富雄・若草台)一団地造成(奈良県奈良市)開発許可	5	16	都内のバス運賃改定(山手線内110円→140円、1982年1月31日まで暫定運賃130円)
	11	2	厚木市長谷土地区画整理組合設立認可	5	16	横浜市内のバス運賃改定(110円→140円、1982年1月31日まで暫定運賃130円)
	12	26	ヤンナップ サン シティ社 豪州に「マリンパーク」を開場	6	1	当社を含めた大手私鉄15社 サービス改善の一環として、身体障害者手帳の提示だけで割引乗車券を発売
				6	1	東亜国内航空(株) 東京～札幌線にエアバスA300を、東京～新潟線にDC-9-81を就航
				6	22	自動車部「中延営業所」を閉鎖
				6	23	自動車部「青葉台営業所」を開設
			9	4	青葉台駅の改修工事が竣工、改札口が3ラッチ6通路に	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1979 (S.54)	3	—	(財)とうきゅう環境浄化財団 財団日より「多摩川」を創刊				10	5	多摩ニュータウン初の宅地分譲の平均倍率が155倍
	4	1	多摩川園、二子玉川園、松籟荘を東急不動産(株)に返還				12	24	ソ連軍がアフガニスタンに侵攻
	4	1	東急グループの現有宿泊施設、部屋数が国内最多となる(7,116室)				—	—	インベーダーゲーム流行
	4	1	(株)東急ホテルチェーン「大阪東急ホテル」(340室)を開業						
	4	2	「東急スイミングスクールたまプラーザ」を開業						
	4	6	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 韓国慶州市の慶州普門湖リゾートに「慶州東急ホテル」(303室)を開業						
	4	16	ハワイシロキヤ社「ワイキキ店」を開店						
	4	28	(株)ディー・エム・ディー「ファッションコミュニティ109」を開業						
	4	28	(株)東急ホテルチェーン 福岡市に「博多東急ホテルアネックス」(168室)を開業						
	6	3	東急不動産(株) 多摩川園を閉園						
	7	18	東急不動産(株)「蓼科ゴルフコース」を開業						
	10	1	「東急スポーツクラブつきみ野」を開業						
	10	6	「福島東急イン」(118室)を開業、ビル8階～12階にテナントとして出店						
	10	12	東急フーズ(株) パリのシャンゼリゼ通りに「サンジェルマン」を開店						
11	21	「東急ジョイガーデン鷺沼店」(当社直営ファミリーレストランの1号店)を開店							
1980 (S.55)	2	20	(株)東急ストア 都市型大型店「五反田とうきゅう」を開店	4	2	定年延長(60歳まで)問題が妥結	4	1	国鉄原町田駅が町田駅に改称
				4	15	トウキョウチューリッヒ社 設立	4	—	多摩田園都市の人口、30万人を超える
	3	31	東急建設(株) シンガポール支店を開設	9	2	マウナロアランド社 マウナロアリゾート社に商号変更	5	1	都市計画法および建築基準法改正(1981年4月25日施行、地区計画制度創設等)
	6	1	「札幌東急イン」(422室)を開業	10	25	(株)東急ホテルチェーン「仙台東急ホテル」(302室)を開業	9	2	東急会を再編成し、「東急会連合会」誕生
	10	25	(株)東急百貨店「まちだ東急百貨店」を開業	9	15	第1回の統一定期年式行われる(9月15日、3月15日の年2回に)	9	20	イラン・イラク戦争勃発
	10	26	「ファイブハンドレッドクラブ」を開業	10	1	鷺沼総合ビル(地下1、2階)に「鷺沼社員クラブ」を開設	10	1	横浜線町田～湘野辺間複線化完成
				10	7	東横神社の大改修完成	11	21	農住組合法公布(1981年5月20日施行)
				10	31	「東急グループ労働組合協議会」が発足(37組合加盟)			
				11	1	北見バス(株) (株)北見東急ビルを設立			
				11	22	奥沢総合ビルの6～8階で第1回「清和祭」を開催			
				11	25	欧州およびアジアを中心とする海外市場での米貨建換社債の発行(7,000万米ドル)			
1981 (S.56)	3	1	東急インチェーンの予約オンラインシステム「トピックスIR-1」の稼働を開始	3	16	58歳に定年を延長	3	20	神戸ポートアイランド博覧会開幕
				4	1	適格退職年金制度を創設	4	1	郵便料金値上げ、ハガキ1枚40円に
	4	1	「佐賀東急イン」(134室)を開業	5	1	東急観光(株) 香港に現地法人東急観光有限公司を設立	4	12	米国、初の再使用可能スペースシャトル「コロムビア号」の打ち上げ成功
	4	1	東急観光(株) 国鉄個札の発売を認可される	7	20	東急建設(株) タイで合弁会社チョウカンチャン東急建設(株)を設立(現地チョウカンチャン社と)	7	29	英国のチャールズ皇太子がダイアナ妃と結婚
	4	15	「東急あざみ野ビル」が竣工 東急ストア(4月16日)、第一勧業銀行(4月20日)開業	7	27	東急観光(株) 東証第二部に上場、東急グループで10番目	10	1	住宅・都市整備公団設立(日本住宅公団と宅地開発公団が統合)
	4	26	東急不動産(株) テニスクラブ「多摩川園ラケットクラブ」を開業	8	20	長野県小県郡青木村に「五島慶太翁記念公園」が完成し、五島慶太翁頌徳碑の除幕を行う			
	4	28	宮前平駅高架下に「宮前平ショッピングモール」を開業	9	—	(株)東急ストア「自由が丘とうきゅう」を開店			
	5	23	(株)東急ストア「自由が丘とうきゅう」を開店						
	7	1	東急観光(株)「TOPツアーセンター」を開設						
	7	11	東急不動産(株)「蓼科東急リゾート」(78室)を開業						

年	月	日	不動産	月	日	交通
1982						
(S.57)						
1983	2	8	筑紫野市原田土地区画整理組合(福岡県)設立認可	1	16	奈良町線で新系統のバス運行(5.7km)を開始
(S.58)	9	2	多摩田園都市30周年記念事業を開始	1	22	田園都市線、新玉川線、営団地下鉄半蔵門線が10両編成の直通急行運転開始
	10	14	カナダ・ブレース・プロジェクト事業がカナダ政府の許可を取得し基本契約締結	3	1	武蔵新田駅構内に自転車駐車を開設
	10	22	鷺沼北留置線高架下倉庫(渋谷寄り部分)が完成 株東急百貨店に物流センターとして一括賃貸	3	9	500円硬貨(1982年4月1日発行開始)が使える料金箱を路線バス全車両(874両)に設置
	10	29	「町田ターミナルプラザ」を開業	4	3	日吉駅の改良工事が完成。回数券発売機を導入、定期券発売機も新機器に更新
				4	20	白幡変電所(妙蓮寺～白楽間)の改良工事が完成、運転開始
				6	23	鉄道全線のPC(プレストレスト・コンクリート)まくら木化完成で「ボルト締結式」を開催
				7	21	鷺沼北留置線高架下(長津田寄り部分)に元住吉倉庫の約2倍の「鷺沼倉庫」が完成
				8	14	あざみ野駅に自動改札機(入場用3台、出場用1台)を設置
				8	20	港北ニュータウン内で新バス路線「江田南線」(江田駅～市が尾駅間、約5.8km)の運行を開始
				8	20	「高津営業所」新設
				9	14	新型マルチプルタイタンパー導入
				9	16	青葉台駅～若葉台中央間(5.4km)の新バス路線の運行を開始
				11	1	田園都市線・新玉川線に8500系新型車両14両を投入、8両編成7本を10両編成化、輸送力増強を図る
				11	1	東横線大倉山駅の駅舎改良工事を完成
				11	1	宮崎台駅前に有料自転車駐車を開設
				11	1	東亜国内航空株 東京～大阪線にA300を就航。大阪～花巻線、大阪～山形線のジェット化(11月18日東京～徳島のジェット化)
				11	20	当社の旧5000系電車(愛称“青ガエル”)の中間車を先頭車に改造し、上田交通株の別所線に“上田クハ290形”として運行開始
1984	3	10	千福地区(東急千福ニュータウン)一団地造成(静岡県裾野市)完了検査済	1	25	鉄軌道運賃改定(初乗り運賃70円→80円)
(S.59)	4	14	富士塚土地区画整理組合解散認可	1	—	市が尾駅の改良工事が完成、自動改札機を導入
	4	18	知多八釜土地区画整理組合(愛知県知多市)設立認可	2	16	二子玉川乗務区が誕生(従来は長津田電車区と長津田車掌区が大井町線を管轄)
	6	15	泉田向土地区画整理組合解散認可	2	20	鉄道小荷物の取り扱いを全廃(1982年11月までは10駅で、以降田園調布、目黒、横浜の3駅で扱っていた)
	9	14	荏子田土地区画整理組合解散認可	3	2	定期券発行オンラインシステムを鉄道電話回線を利用した新機種に更新
	9	30	「東急中央林間駅ビル」の商業施設部分が完成	3	15	「駒沢営業所」を廃止
	12	15	山内都市建設事務所廃止	3	16	青葉台を起点とする三系統を新設、バスの運行を開始
				3	31	東横線大倉山駅、太尾架道橋の改良工事を完成
				4	9	つきみ野～中央林間が開通し、田園都市線全通
				4	9	中央林間駅に日本初の電子運動装置(駅構内などで車両の進路を制御し、安全な走行をするシステム)を導入
				4	28	都内バスの運賃改定(山手線外130円→150円、11月30日まで暫定運賃140円)、共通回数券の発売開始
				5	9	池上線に7200系、池上線初の冷房車導入
				6	15	教習所と変電設備を備えた「元住吉総合事務所」(B棟)が完成
				7	4	都内のバス運賃改定(山手線内140円→160円、1985年3月31日まで暫定運賃150円)

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1982	11	30	白馬観光開発株「柺池高原スキー場」で「ゴンドラリフト」と「ペアリフト」を開業						
(S.57)	12	4	(株)東急レクリエーション シアタービル「上野とうきゅうビル」を開業						
	12	5	(株)東急レクリエーション 新宿ミラノ座が正月映画「E.T.」で1日あたりの興行収入で世界記録を樹立						
	12	21	東急不動産株「蓼科東急スキー場」を開業						
1983	1	21	(株)東急ストア 私鉄系ストア8社共同で「Vマーク」商品を開発	1	1	東急観光株 ハワイ、ロサンゼルス、ニューヨークの米国現地法人3社を合併し米国東急観光社を設立	3	24	中国自動車道が開通
(S.58)	2	14	マウナラニリゾート社「マウナラニベイホテル」(351室)を開業	2	22	東急広報委員会「とうきゅうミュージックプラザ」第1回公演を開催	5	26	日本海中部地震が発生(M7.7)
	3	18	(株)東急インフォメーション・システムズ「東急コンピュータショップ」を東急百貨店本店7階に開設	3	2	東急有線テレビ株を設立	7	15	任天堂が「ファミリーコンピュータ」を発売
	4	27	「松江東急イン」(181室)を開業	4	1	「ハワイ東急会」が東急会連合会に加盟	9	1	ソ連戦闘機がサハリン沖で韓国民間機を撃墜
	5	31	東急有線テレビ株 CATV事業の申請(8区域)を行う	4	1	東急有線テレビ株を設立	10	3	三宅島大噴火
	7	1	真鶴・高崎・沼津各「ドライブイン」の名称を「サービス・ステーション」に変更	6	1	(株)東急ホテルチェーン 東証第一部に指定替え	10	12	ロッキード事件で田中角栄首相に実刑判決
	7	5	「東急ジョイガーデンたまがわ店」を開業	6	7	(株)東急エージェンシー 日本番組供給株を設立			
	7	20	「田町サービスステーション」に立体駐車装置設置	7	1	東亜国内航空株 日本エアコミューター株を設立			
	8	1	「札幌東急イン」の増築が完成(422室→574室)	7	9	東急不動産株 本社事務所を新南平台東急ビルに移転	11	17	
	10	1	「江坂東急イン」(361室)を開業	11	17	五島昇社長 郵政審議会会長に就任	11	29	
	10	1	「徳島東急イン」(134室)を開業	11	29	(株)東急百貨店 タイの複合企業(マーブロンクロン・ドライビングアンドサイロ社)と合併で東急百貨店タイランド社を設立 資本金3,000万バーツ			
	10	1	(株)東急ハンズ「東急ハンズ江坂店」を開業、関西進出の第1号店	11	30	(株)クレジット・イチマルキュウ 設立	12	1	東急観光株 東急トラベルサービス株を設立 資本金3,000万円
	10	3	総合カルチャースクール「東急クリエイティブ・ライブ・セミナー渋谷BE」を開業	12	1	東急建設株 東建設備工業株を設立			
	10	29	(株)東急ハンズ「東急ハンズ町田店」を開業						
	11	1	東急観光株「JCBトップツアーカード」を発行						
	11	1	(株)東急百貨店「鷺沼物流サービスセンター」を開設						
	11	3	(株)ながの東急百貨店「こもろ東急百貨店」(小諸市相生町)を開業						
	11	10	(株)東急ホテルチェーン「岡山東急ホテル」(240室)を開業						
	11	30	マウナラニリゾート社「マウナラニ テラス」(80戸のコンドミニウム)を完成、入居開始						
	12	20	白馬観光開発株 八方尾根にゴンドラリフト「アダム」を設置						
1984	1	1	(株)東急ホテルチェーンとヒルトンホテルズ社の契約満了に伴い、東京ヒルトンホテルを「キャピトル東急ホテル」(479室)として営業開始	5	11	五島昇社長が日本商工会議所と東京商工会議所の会頭に就任	1	24	アップルコンピュータがMacintoshを発表
(S.59)	1	22	(株)東急ホテルズインターナショナル東マレーシア・サラワク州クチン市の「パン パシフィック クチン」(325室)の運営受託	6	25	(学)五島育英会 武蔵工業大学で4サイクル水素ディーゼル自動車を開発	3	18	グリコ・森永事件
	2	21	東急有線テレビ株 4地区(渋谷、たまプラーザ、青葉台、つくし野)でCATV事業の許可	9	28	「関西東急共栄会」を設立	4	—	多摩田園都市の人口、35万人を超える
	2	25	(株)定鉄商事「札幌東急ストア北栄店」にカーリング・リンクを開設	10	15	東急建設株 東急軌道工業株を設立	5	4	永野重雄氏(日本商工会議所・東京商工会議所会頭)が死去
	4	20	沖縄県宮古島(宮古郡下地町)に「宮古島東急リゾート」(151室)を開業	11	30	北見バス株 東急グループ7社との共同出資により(株)サロマ湖東急リゾート施設を設立	5	12	NHK衛星テレビ放送開始
	4	20	(株)クレジット・イチマルキュウ「TOPカード」の会員募集を開始				6	2	横浜市建築協定連絡協議会発足
	4	21	(株)ティ・エム・ディー ファッションコミュニティ109に多目的ホール「109スタジオ」を開業				11	1	1万円札(福沢諭吉)、5,000円札(新渡戸稲造)、1,000円札(夏目漱石)の新札発行
							—	—	エリマキトカゲ日本初上陸

年	月	日	不動産	月	日	交通
1984 (S.59)				7	4	横浜市内のバス運賃改定(140円→160円、1985年1月31日まで暫定運賃150円)
				7	5	バス車内インフォメーションシステムを完成、松陰線(渋谷～上町間)のバス1台に試行導入
				7	20	第1回夏休みスタンプラリーを開始
				7	25	当社初の交流電車6200系を大井町線に導入
				7	31	バス新車55台を導入
				9	30	バス事業が中間決算で黒字を計上
				10	1	国鉄武蔵小杉駅構内に観光案内所を開設
				10	1	自由が丘駅案内所で「チケットぴあ」開始
				10	3	元住吉変電所を元住吉総合事務所B棟の地下に移転、設備の更新を完成、竣工式と火入れ式を行う
				10	11	川崎市内のバス運賃改定(140円→160円、1985年3月31日まで暫定運賃150円)
				11	1	青葉台駅を起点とする深夜バス(十日市場線と鴨志田団地線の2路線)の運行を開始
				11	1	三軒茶屋駅案内所にバス定期券発行機を導入(バス用としては国内初の磁器記録方式を採用)
			11	7	横浜市営高速鉄道(地下鉄)3号線との接続駅を「あざみ野」で合意したと発表	
			12	1	東急コーチ運賃改定(180円→200円)	
1985 (S.60)	3	14	「東急岩本町ビル」を完成	2	1	バス路線の荻子田線(たまプラーザ駅～元石川高校経由～嶮山スポーツガーデン、3.28km)を新設、あざみ野線を路線延長(あざみ野駅～たまプラーザ駅間1.8kmを延長)し、運行を開始
	4	1	「東急中央林間ビル」を完成(株東急ストアに一括賃貸)			
	6	14	日向岡土地区画整理組合(神奈川県平塚市)解散認可			
	7	24	知多西谷第二地区土地区画整理組合(愛知県知多市)解散認可	2	9	株伊豆急マリン 下田～石廊崎航路に遊覧船「千石船」を就航
	9	10	大和田地区(東急ニュータウン富雄・若草台)一団地造成(奈良県奈良市)完了検査済	2	21	新玉川線渋谷駅に新型定期券発行機(2台)を導入
				2	28	自由が丘駅南口に新型自動券売機(3台)を導入
	9	27	東急不動産(株)「渋谷東急プラザ」を全館改装	3	1	桜木町駅の改良工事を完成、券売機を増設
	11	3	東急不動産(株) 二子玉川園跡地に「ザ・ホームショー二子玉川」を開業(東急ホームなど32棟の住宅を展示)	3	16	「つくば科学万博」の開催中、全長18mの2両連接バス(スーパーシャトルバス)を運行(常磐線万博中央駅～会場間13km)
	12	7	東急不動産(株) 北海道で「ニセコ国際ひらふ」「ニセコワイススキー場」の経営権を取得し、新会社「ニセコ東急リゾート」を設立	3	30	電車とバスの博物館での上映映画「多摩田園都市の大動脈―田園都市線」が完成(4月27日から上映)
				4	1	溝の口駅に有料自転車駐車場を開設
				4	1	駅案内所にPOSシステムを導入
				4	25	「スーパーデラックスバス」(観光バス)導入
				5	10	元住吉総合事務所A棟を完成、竣工式を挙げる
				5	—	鉄道冷房化率実績と計画を発表、1984年度(9月末)実績は冷房化率58.1%、1985年夏65.2%を計画
				6	3	奥沢変電所の移転工事が完成し火入れ式を挙げる(当社最大出力を備える)
				6	6	東亜国内航空(株) シンガポール航空と提携、連帯運送契約に調印
				7	1	オール交流モーター車6000系1編成(6両)の運転を開始
				7	1	神奈川県内のバス4路線(日吉線、高田線、綱島線、鷺沼線)で深夜バスの運行を開始
				7	1	川崎市内バス共通回数券を発売
				7	17	目黒駅に喫煙コーナーを試験的に設置
			7	20	伊豆急行(株) 中間車両2両に日本で初めてリース方式を採用した新形車両2100系電車「リゾート21」の運行を開始	
			7	31	立体交差工事の進捗により、多摩川園～武蔵小杉間下り線が高架化	
			9	5	新玉川線駒沢大学駅に出入場兼用の自動改札機を設置	
			9	26	新玉川線渋谷駅で車両故障、約6時間不通	
			11	1	中延に有料自転車駐車場を開設	
			11	1	南町田～つきみ野間の高架下に倉庫を完成	
			12	11	青葉台高架橋下に有料自転車駐車場を開設	
			12	16	乗合バス日吉線高田町系統を新設、運行を開始	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1984 (S.59)	4	22	湯布高原で当社初のリゾートマンション販売開始						
	5	13	エメラルドホテルズ社米国カリフォルニア州アナハイム市でホテル「エメラルド オブ アナハイム」(508室)を開業						
	5	16	「東急ジョイガーデンたまプラーザ店」を開店						
	6	17	世紀東急工業(株) 身体障害者だけのハンディキャップテニスを開催						
	9	1	(株)東急ホテルチェーン 全国17ホテルで顧客管理オンラインを稼働						
	9	14	「大森東急イン」(196室)を開業						
	9	18	「名古屋栄東急イン」(295室)を開業						
	10	9	(株)東急ストア 「中央林間駅ビル店」を開店						
	10	19	(株)東急ハンズ 「東急ハンズ池袋店」を開店						
	12	8	(株)まちだ東急百貨店と(株)東急レクリエーション 町田市で初のロードショー館「まちだ東急ル・シネマ」を開業						
	12	15	伊豆観光開発(株) アイススケートリンク「天城高原アイスパレス」を開業						
	1985 (S.60)	1	1	東急病院が基準看護特2類として承認	1	31	美鉄バス(株) 網走交通株の関連会社に東急ブレハブ(株) 東急工建(株)に商号変更	3	14
1		5	「鹿児島東急イン」を閉店(1987年7月に新店舗開業)	7	1	東急不動産(株) 賃貸事業関連会社として東急リロケーション(株)を設立	3	17	国際科学技術博覧会(つくば万博)開幕
2		9	東急不動産(株) パラオ共和国(アラカベサン島)に高級リゾートホテル「パラオパシフィックリゾート」(100室)を全面開業	7	18	相鉄運輸(株) 株式を東京証券取引所第二部に上場	4	1	民営化により日本電信電話(株)(NTT)、日本たばこ産業(株)(JT)が誕生
3		8	(株)東急ストア 「二子玉川店」を全面改装	9	20	株東急エージェンシー (株)東急スペース開発を設立 資本金3,000万円	5	31	日本で初の国際映画祭「第1回東京国際映画祭」が渋谷(渋谷地区一帯)で開催
3		31	東急不動産(株) 「二子玉川園」を閉園(63年の歴史に幕)	10	1	東急環境プラント興業(株) 東建設備工業(株)を合併、同時に東急設備(株)に商号変更	7	11	運輸政策審議会が「東京圏における高速鉄道を中心とする交通網整備」に関する基本計画について運輸大臣に答申(既設路線の混雑緩和、人口の外延化およびニュータウン計画等への対応など)
4		5	(株)東急ストア 「中央林間とうきゅう本館」を開業	12	1	(株)たまプラーザ東急百貨店と(株)東急バラエティストアが合併し、新生(株)たまプラーザ東急百貨店として発足	8	12	日本航空ジャンボ機が群馬県上野村御巣鷹山に墜落(死者520人)
7		1	エアポートホテル「成田東急イン」(406室)を開業				9	22	プラザ合意(為替レートの安定化)
7		14	「東横劇場」(東急百貨店東横店西館9階)が閉館、30年の歴史に幕	10	1		10	1	横浜市有自転車等放置防止条例施行
8		10	北見バス(株)、当社など東急グループ7社 リゾートホテル「サロマ湖東急リゾート」(78室)を開業						
8		20	(株)東急百貨店 タイ・バンコクに「タイ東急百貨店」を開業						
8		30	(株)ティー・エム・ディー 「ファッションコミュニティ109」(渋谷)を全面改装						
9		1	(株)東急百貨店と(株)東急ストア 商品券の利用範囲を東急グループに拡大						
9		1	(株)東急ホテルチェーン 「金沢東急ホテル」(250室)を開業 香林坊第一地区市街地再開発ビル(香林坊第一開発ビル)に出店						
9		2	川崎市に(株)東急ストア「東扇島流通センター」が完成、24時間稼働体制を確立						
9		21	(株)ティー・エム・ディー 「KOHRIINBO 109」を開業 香林坊第一地区市街地再開発ビル「香林坊第一開発ビル」に出店						
11	23	東急不動産(株) 二子玉川園跡地に「二子玉川園東急スポーツガーデン」を開業(アイススケートリンク、テニスコート)							
12	15	(株)東急ホテルズ・インターナショナル マレーシア・クアラルンプールに「パン パシフィック クアラルンプール」(571室)を一部開業							
12	15	「有馬テニスクラブ」を開業							

年	月	日	不動産	月	日	交通		
1986 (S.61)	3	31	厚木市長谷土地区画整理組合解散認可	1	11	旗の台鉄道電話自動交換局の交換機を電子式に更新、鉄電通信網を全デジタル化		
		4	東急カナダ社 カナダ・バンクーバーに「ワールドトレードセンター」を完成、全館開業(地上22階、地下3階建て)。カナダ政府のプロジェクトに参画			2	ニュー・ステーション・プランの1号店として「自由が丘駅総合サービスセンター」を開設	
	10	1	東急グループ4社(当社、東急不動産株、株東急設計コンサルタント、東急建設株)が区画整理事業のための「東急換地設計システム」を共同開発、稼働開始			3	新型車両9000系、東横線で営業運転を開始	
						3	13	横浜駅で元住吉駅発桜木町駅行の9000系急行の最後尾車両が脱線
	10	6	「東急牡丹一丁目ビル」(東京都江東区)が竣工			3	25	「東急バス新交通システム」を実用化、目黒営業所所管の3路線4系統で営業開始
						4	1	1局6社と共に横浜市内バス共通回数券制度を開始
	4	1	代官山駅を約300m渋谷寄りに仮移設			4	1	東横線全車両(日比谷線直通電車を除く)を大型化
	4	2	都内バスの運賃改定(山手線外150円→160円)			4	2	運賃検索機を鉄道部営業課に導入、作動開始
	4	16	伊豆急行株 2100系電車「リゾート21」が1986年最優秀車両のブルーリボン賞を受賞			5	23	5000系電車(愛称「青ガエル」)が最終運行、東急線から姿を消す
	6	18	ロマンスシートタイプ(前向き二人掛けシート)の新型路線バス導入			7	15	「虹が丘営業所」を開業
	8	23	多摩川園～武蔵小杉間の上り線を高架化			9	16	東亜国内航空株 9月20日開催のアジア大会(韓国・ソウル)に合わせて、初の国際チャーター便(大阪～ソウル)を運航
	9	19	バス路線(綱島駅～新横浜駅間)を新設			10	1	田園都市線・新玉川線のダイヤ改正(全列車で10両編成化・営団車両を除く)
	10	4	自由が丘商店街振興組合から自由の女神像(ミニチュア)を贈られる			10	28	

1987 (S.62)	4	8	集合住宅「あざみ野リーベル」分譲開始	3	16	組織改正で、観光課と観光営業所を統合し、観光バスセンターを発足		
		6	23			「東急桜丘町ビル」を竣工	3	27
	7	28	西谷土地区画整理事業共同企業体が知多八釜地区を竣工			3	28	伊豆急行 リゾート21に「ロイヤルボックス」車両を投入
	8	19	知多八釜土地区画整理組合(愛知県知多市)解散認可			4	6	「東急コーチ」の市が尾線(市が尾駅～泉田向～市が尾駅、200円)の運行開始
	10	31	(株)ティー・エム・ディー 「109-②」を渋谷ハチ公広場前に開業			4	7	「二子玉川園駅総合サービスセンター」を開設
						4	20	観光バスセンター事務所完成
	4	27	東亜国内航空株 世界の航空会社の国際組織である国際航空運送協会(IATA)に加盟			5	25	「あざみ野駅総合サービスセンター」を開設
	6	9	トイレ付き観光バス「サービス・ステーションマーカーX-1」(1台)を導入、運行開始			7	15	菊名駅定期券売り場にマルス(磁気電子自動座席予約システム)端末装置を設置。JR線の指定券、自由席券、乗車券等の発売を開始
	7	16	新丸子駅の改札自動化モデル駅工事を完成			8	1	交通事業部(車両部)が7000系を冷房付き車両に改造、大井町線で運行開始(1編成)
	10	8	東横線複々線化事業「特定都市鉄道整備事業計画」の認定を受けるため申請			11	1	東白楽駅高架下に有料自転車駐車場を開設
	11	2	都内5路線(都内では初)、横浜市内1路線に深夜バスの運行を開始			12	28	東横線複々線化事業(目蒲線目黒～多摩川園間改良工事および東横線多摩川園～日吉間複々線化工事)が「特定都市鉄道整備事業計画」に認定

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般	
1986 (S.61)	1	9	(株)東急ホテルズ・インターナショナル カナダ・バンクーバーに「パンパシフィックバンクーバー」(507室)の一部開業	1	21	伊豆急行株 (株)伊豆急リゾートを設立	4	1	男女雇用機会均等法施行	
										6
	2	1	(株)東急ホテルズ・インターナショナル マレーシア・パンコル島に「パンパシフィックリゾートパンコル」(161室)を開業	10	1	東急ホーム株 (株)東急ホームビルダーと合併	4	30	特定都市鉄道整備促進特別措置法公布	
										10
	3	1	(株)東急ホテルズ・インターナショナル カナダ・バンクーバーに「パンパシフィックバンクーバー」(507室)を全面開業	10	1	東急グループの新スローガン「21世紀へ 豊かさを深める」とうきゅうグループ」を導入	6	-	-	運輸政策審議会が新航空政策を答申
	3	1	マウナラニリゾート社 マウナラニラケットクラブを開業	10	-	東急エアカーゴ株 香港に現地法人を設立	12	1	-	東京都が土地取引の適正化に関する条例施行
	3	12	(株)東急ホテルズ・インターナショナル マレーシア・クアラルンプールに「パンパシフィッククアラルンプール」(571室)全面開業			当社 資本金が500億円を突破				
	3	20	(株)伊豆急リゾート 東伊豆リゾート・ルネッサ稲取高原を開業			(株)東急総合研究所 設立				
	4	8	「前橋東急イン」(180室)を開業							
	4	8	「東急ジョイガーデン駒沢店」を開店							
	4	29	(株)ティー・エム・ディー ファッションビル「ワン・オー・ナイン」を開業							
	6	1	(旧)松本東急インの閉店(5月31日)に伴い「松本第2東急イン」を「松本東急イン」に名称変更							
6	25	渋谷・東急百貨店隣接地で総合文化施設(のちのBunkamura)の起工式を開催								
10	1	「神戸東急イン」(236室)を開業								
10	9	会員制のテニスクラブ「二子東急テニスクラブ」を開業								
11	21	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 「パンパシフィックシンガポール」(800室)の一部開業								
11	30	日本サファリパーク株 「宮崎サファリパーク」を閉園								
12	9	初のドライブスルー方式の「ケンタッキーフライドチキン宮前平店」を開店								
12	10	白馬観光開発株 岩岳にゴンドラリフト「ノア」を開業								

1987 (S.62)	2	14	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 「パンパシフィックシンガポール」(800室)を全面開業	2	21	上田交通株 上電観光バス株を設立	4	1	国鉄(日本国有鉄道)分割民営化
	3	3	(株)東急ケーブルテレビジョン 「たまプラザ放送センター」を完成	5	5	渋谷地下街株 中国で日本企業初の写真事業を展開するため、北京市との合併会社北京東急照相图片有限公司を設立、現像所の営業を開始	6	9	総合保養地域整備法(リゾート法)制定
	4	1	東急不動産株 「筑波東急ゴルフコース」を「筑波東急ゴルフクラブ」と名称を変更し、法人専用メンバーシップゴルフクラブとして再スタート	5	29	東急不動産株 沼田市と共同出資で第3セクター玉原東急リゾート株を設立	10	19	ブラックマンデー(米国ニューヨーク株式市場で大暴落)
	4	1	「東急嶮山スポーツガーデン」のテニスコート6面にナイター施設設置	6	1	東急観光株 東証第二部から第一部に指定替え	-	-	バブル景気
	4	1	「東急嶮山スポーツガーデン」と「碑文谷東急ゴルフガーデン」に集球装置を設置	8	1	(株)東急ストア 東証第二部から第一部に指定替え	-	-	サラダ記念日ブーム
	4	1	東急インチェーン・オンライン・トータル管理システム完成	8	1	東急グループほか二者で製作した映画「ハチ公物語」を全国ロードショー			
	4	10	東急グループが旅の情報誌「ナイス・トリップ」を5社で発行	8	14	「軽井沢72・東急女子オープンゴルフトーナメント」を開催			
	5	1	(株)伊豆急ケーブルネットワーク CATV本放送を開始	9	3	上野毛の慎独寮跡地に新しい慎独寮と海外勤務者の子弟寮を完成			
	7	22	「鹿児島東急イン」の新店舗(190室)を開業(1985年1月に閉鎖された「鹿児島東急イン」の再出店)	12	10	五島昇社長 東京商工会議所会頭を退任			
	8	20	(株)東急ホテルチェーン 東海地区最大規模の「名古屋東急ホテル」(客室568室)を開業	12	25	五島昇社長が会長、横田二郎副社長が社長に就任			

年	月	日	不動産	月	日	交通
1987 (S.62)						
1988 (S.63)	4	1	「東急不動前ビル」を開業	2	1	新玉川線内で全駅禁煙
	4	26	(株)東急レクリエーション 「池袋東急」跡地にレジャービル「池袋とうきゅうビル」を開業	2	16	松陰線(渋谷～上町間)で深夜バスの運行を開始
	5	27	多摩田園都市の地元土地所有者との交流を図る目的で「東急グローイングクラブ」を発足	3	11	東横線複々線化に伴う日吉駅改良工事に着手
	5	30	多摩田園都市の良好な街づくりの多年にわたる業績に対して「日本建築学会賞」を受賞	3	15	東横線の全列車(日比谷線直通列車を除く)が20m車両8両編成に
	6	—	「多摩田園都市21プラン」を策定、発表	3	16	「東急コーチ」で初めて深夜バスの運行を開始(自由が丘駅～駒沢間)
	8	—	三軒茶屋地区都市計画決定	3	31	新丸子駅付近の立体交差化工事を竣工(大規模な機動基地と軌道区事務所も完成)
	12	12	「田園コロシアム」の取り壊し工事開始	4	1	新丸子駅に有料自転車駐車を開設
				4	8	工務部機動区、新丸子へ移転
				5	18	鉄道旅客運賃改定
				7	1	(株)日本エアシステム 東京(成田)～ソウル線に初の国際定期便を就航
				7	20	伊豆急行(株)「リゾート21」を私鉄電車として初めてJR東京駅から全席指定の特急電車として運行開始
				9	7	新造車両8590系が東横線で運行開始
				9	16	交通事業部で奥沢検車区を雪が谷検車区に統合することに伴い業務組織の一部を改正
				9	26	「雪が谷大塚駅ビル」が完成
				10	25	南海電気鉄道(株)と共同で東京(渋谷)～和歌山間(613.1km)の都市間高速バス「ミルキーウェイ和歌山線」の運行を開始
				11	1	「市民ミュージアム行」路線の運行を開始
				12	7	奥沢信号扱所を移設、新装置を導入
				12	21	都市間高速バスの出雲線(渋谷～松江・宍道・出雲間)、酒田線(渋谷～鶴岡・酒田間)の運行開始
				12	26	日比谷線乗り入れ用の新型車両1000系(18m車両8両編成)を導入、営業運転を開始
1989 (S.64) (H.元)	8	26	日交南平台ビルに鉄道事業部門を移転	1	8	横浜市内のバス運賃改定(160円→170円)
	10	26	多摩田園都市が「緑の都市賞・内閣総理大臣賞」を受賞	1	26	田園都市線・新玉川線に土曜日ダイヤを新設。こどもの国線をワンマン化。新玉川線・営団地下鉄・半蔵門線の三越前まで直通運転
	12	12	「東急三田ビル」の建設着工	3	3	都市間高速バス「ミルキーウェイ姫路線」(渋谷～神戸・姫路間)の運行を開始
				3	19	3000形が当社の営業線から姿を消し、鉄道全線が全車ステンレス化
				3	19	池上線の戸越銀座～旗の台駅間が立体交差化され、13か所の踏切が解消

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1987 (S.62)	9	6	(株)東急ホテルズインターナショナル 南太平洋バヌアツ共和国所在のリゾートホテル「ホテルラゴン」を大規模改修、「ルラゴンパシフィックリゾート」と改称し営業を開始						
	9	—	(株)東急ケーブルテレビジョン 渋谷区にて試験放送開始						
	10	1	(株)栃木東急ゴルフ倶楽部 (株)思い川東急ゴルフ倶楽部に商号変更						
	10	2	(株)東急ケーブルテレビジョン 日本初の都市型ケーブルテレビ(CATV)として開局						
	10	8	(株)東急百貨店 「シンガポール東急百貨店」を全面開業						
	10	22	「東急ジョイガーデン市が尾店」を開店						
	10	31	(株)たまプラーザ東急百貨店 高級飲食店と生活雑貨の複合商業ビル「プラザ・サウス・ウエスト」を開業						
	11	18	「東急ジョイガーデンあざみ野店」を開店						
	12	10	白馬観光開発(株)「八方尾根スキー場」に総合スキーセンター「兔平109」を開業						
	12	16	東急建設(株)「リゾートパーク・ホテルオニコウベ」(109室)を開業						
1988 (S.63)	1	10	東急車輛製造(株) (株)エイチ・エス・エス・ティにリニアモーターカー「HSST-04号機」を引き渡す、初の実用型磁気浮上式	1	1	東急不動産地域サービス(株) 東急リパブル(株)に商号変更	3	13	青函トンネル開通
				3	1	(株)東急ストア 生花・観葉植物の仕入、販売を行う(株)東急フローラを設立	3	17	「東京ドーム」開業
				4	1	(株)伊豆東急イン (株)今井浜東急リゾートに商号変更	4	10	瀬戸大橋開通
	2	8	(株)伊豆東急イン (株)今井浜東急リゾートに商号変更	4	1	社内OA化、会計情報システムがスタート	7	5	リクルート事件発生
	3	27	「伊豆東急イン」を開店	4	1	東亜国内航空(株) (株)日本エアシステムに商号変更	8	20	イラン・イラク戦争が停戦
	4	8	宮古島でゴルフ場「エメラルドコーストゴルフリンクス」を開業	4	8	東急建設(株)と世紀東急工業(株) (株)イチマルキュー葉山ローンテニス			
	4	21	当社と東急観光(株)「今井浜東急リゾート」(141室)を開業	6	21	第1回「東急グループサミット」開催			
	4	30	(株)ティーン・エム・ディー ファッションビル「ワン・オー・ナイン・サーティーズ」を開業	6	29	東急建設(株) (株)シティ弘前ホテル設立 資本金5,000万円			
	5	29	「東急嶮山スポーツガーデン」のゴルフ場ショートコースにナイター設備を設置し営業を開始(横浜市内初の夜間照明付きショートコース)	8	22	(株)ハイビスカスゴルフクラブおよび(株)東急セブンハンドレッドクラブ設立			
	6	21	東急不動産(株) 共有会員制ホテル事業の第1弾として「東急ハーヴェストクラブ蓼科」(長野県茅野市)を開業	9	5	白木金属工業(株) シロキ工業(株)に商号変更			
	10	1	東急建設(株)「思い川東急ゴルフ倶楽部」を開業	11	16	東急百貨店本店隣接地に新設する文化施設の名称を「Bunkamura」に決定 (株)東急文化村を(株)東急百貨店との共同出資により設立			
	10	5	「東急セミナーBE雪が谷」を開校	12	2	第1回東急グループサミット連絡会議を開催			
	10	8	東急建設(株)・世紀東急工業(株)「葉山ローンテニスクラブ」を開業						
	12	17	東急建設(株)「リゾートパーク・ホテル・オニコウベ」の姉妹ホテルとして「リゾートパーク・ホテルジュネスオニコウベ」(32室)を開業						
	12	24	玉原東急リゾート(株)「玉原スキーパーク」を開業						
1989 (S.64) (H.元)	3	25	東急車輛製造(株) 車体製作の浮上式リニアモーターカー(HSST)が「横浜博覧会」会場内を走行	3	10	当社 資本金が1,000億円を超える	1	7	昭和天皇崩御、平成に改元(1月8日)
	3	25	「横浜博覧会」開催 東急グループが全面協力	3	17	第三セクター裏磐梯東急リゾート(株)設立	2	15	ソ連軍、アフガニスタン撤退完了
	3	30	東急不動産(株) 大阪にファッション専門店ビル「東急ライブプラザブーミン江坂」を開業	3	20	会長五島昇死去	3	25	横浜博覧会開催(～10月1日)
	4	1	海外ホテルの経営を一元化(運営・マーケティング分野で業務提携)	3	20	五島昇会長の死去に伴い東急グループサミットを開催、議長に横田二郎社長が就任	3	29	みなとみらい21線の事業主体となる第三セクター横浜高速鉄道(株) 設立
				4	26	シロキ工業(株) 米国現地法人のシロキ・アメリカ社を設立	4	1	消費税導入(3%)
							6	4	天安門事件発生
							9	27	「横浜ベイブリッジ」開通
							11	10	ベルリンの壁崩壊

年	月	日	不動産	月	日	交通
1989 (S.64) (H.元)				3	19	目蒲線でダイヤ改正、4両編成での運転を開始
				3	23	代官山駅を約330m中目黒寄りに移設
				3	29	3000形車両引退、さよなら運転会を開催
				4	1	鉄道旅客運賃改定(消費税導入)
				4	1	「東急コーチ」の美術館線を用賀駅まで延伸
				4	1	東横線渋谷駅と新玉川線渋谷駅に当社初の自動定期券発行機(計3台)を導入
				4	1	(株)伊豆急マリン 下田港に黒船型遊覧船「サスケハナ」を就航
				4	3	梶が谷線(梶が谷駅～野川公園前)で深夜バスの運行を開始
				4	10	小田急バスと共同で新百合線(新百合ヶ丘駅～嶮山スポーツガーデン)の運行を開始
				5	1	川崎市内のバス運賃改定(160円→170円、消費税導入に伴う)
				5	16	日吉線(日吉駅～高田町間)と高田線(日吉駅東口～下田町間)で深夜バスの運行を開始
				5	16	箕輪循環線(日吉駅東口起点の循環路線)の運行を開始
				5	31	市が尾駅前バスターミナル工事竣工
				7	3	渋谷駅～青葉台駅間で終電後に走る「深夜急行バス」(ミッドナイトアロー)の運行を開始
				7	15	鉄道全線に列車無線を配備
				8	19	鉄道全線に土曜日ダイヤを設定
				9	15	大岡山1号踏切道を自動化
				10	7	都内バスの運賃改定(山手線外160円→180円、1990年3月31日まで暫定運賃170円、消費税導入に伴う)
				10	16	深夜バス路線「新羽線」(綱島駅～勝田折返所間)を新設
			10	30	「あざみ野駅総合サービスセンター」で行政サービス業務(住民票、印鑑証明等の交付)を開始	
			11	1	横浜市内のバス運賃改定(170円→180円、消費税導入に伴う)	
			12	4	田奈1号踏切廃止(田園都市線は踏切がない路線となる)	
			12	16	渋谷線(渋谷駅～丸子橋)を多摩川園まで延伸	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1989 (S.64) (H.元)	4	8	中国・無錫市に中国国際信託投資会社と合併でホテル「無錫大飯店」を開業	4	26	故五島昇会長合同葬(東急グループ・日本商工会議所・東京商工会議所)が東京・芝の増上寺大徳で営まれる	12	29	日経平均株価が史上最高値3万8,915円を記録
	4	26	(株)鹿教湯温泉ホテル 鹿教湯温泉ホテルの増改築工事を行い、高級和風ホテル「鹿教湯温泉ホテル文珠荘」(48室)として新装開業	6	16	白馬観光開発(株) 飯綱リゾート開発(株)を設立	—	—	「渋谷カジ」の流行
	4	26	(株)東急ストア JR外房線土気駅前に「土気東急ストア」を開店	6	16	(株)東急西播磨ゴルフクラブを設立			
	5	18	東急不動産(株) 長野県北佐久郡望月町に「望月東急ゴルフクラブ」を開業、22日から営業を開始	8	1	東急エアカーゴ(株) 英国東急エアカーゴ社を設立			
	5	23	東急グループリゾート推進会議を発足	9	21	ASEAN諸国に事業所を置く東急グループ30社で構成される「ASEAN東急会」を設立			
	6	4	(株)東急百貨店 本店隣接地に第2別館を完成	10	1	東急エアカーゴ(株) オランダに新会社オランダ東急エアカーゴ社を設立			
	6	7	宮崎県宮崎郡佐土原町(現:宮崎市田野町)に「ハイビスカスゴルフクラブ」を開業	10	9	東急建設(株) (株)四日市東急ゴルフ倶楽部を設立			
	6	17	東急不動産(株) 「札幌東急ゴルフクラブ」を開業						
	6	20	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 豪州・ゴールドコーストに「パンパシフィックゴールドコースト」(298室)を全面開業						
	7	15	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ軽井沢万平」(22室)を開業						
	7	27	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ勝浦」(98室)を開業						
	8	1	(株)東急百貨店 (株)まちだ東急百貨店を吸収合併、東急百貨店は都内直営5店舗体制となる						
	8	25	(株)東急百貨店 CI(コーポレートアイデンティティ)を導入 シンボルデザイン、包装紙、制服を一新						
	8	30	(株)東急文化村 「Bunkamura」の落成記念式典を開催(各界からの招待者約1,500人)						
	9	1	(株)東急文化村 6社(日本電気(株)、日本電信電話(株)、第一生命保険(株)、野村證券(株)、(株)日立製作所、当社)と新スポンサード・システム「オフィシャルサプライヤー」の契約を締結						
	9	3	(株)東急文化村 複合文化施設「Bunkamura」を開業し、パイロイト音楽祭の初海外引越公演を開催						
	9	21	東急リパブル(株)と共同で建設した「東急南町田共同ビル」が完成、研修・福利厚生施設「リパブルスクエア南町田」として開業						
	9	27	東急建設(株) 「シティ弘前ホテル」(141室)を開業						
	9	29	渋谷エリアで「東京国際映画祭」を開催						
	9	30	「二子東急ゴルフガーデン」を閉鎖						
	10	7	(株)ディー・エム・ディー ファッションビル「金沢109-②」を開業						
	10	17	「ファイブハンドレッドクラブ」隣接地に日本初の企業向け迎賓館村「ファイブハンドレッドフォレスト」の造成工事を竣工						
	10	26	「東急セブンハンドレッドクラブ」を竣工・開業						
10	31	(株)たまプラーザ東急百貨店 (株)西南東急百貨店に社名変更							
12	14	(株)東急百貨店 台湾の永琦百貨店へ資本参加、台北市で調印							
12	29	「今井浜東急リゾート」の経営を東急インチェーンの直営店にして一元化							
12	29	東急不動産(株) 長野県信濃町に「タングラム斑尾東急リゾート」を開業							
12	—	マウナラニベイホテルが「マウナラニベイホテル&バンガローズ」に名称変更							

年	月	日	不動産	月	日	交通
1990 (H.2)	1	26	小郡市苅又土地区画整理組合(福岡県)設立認可	2	3	(株)日本エアシステム 東京～シンガポール線を開設
	4	1	東急ホームサービス(株) (株)東急アメニックスに商号変更	2	10	伊豆急行(株) 「リゾート21EX」(8両編成)が新登場、東京～伊豆急下田間、熱海～伊豆急下田間で運行を開始
	4	1	多摩田園都市部プロジェクトチームの組織名称を不動産活用センターに改称	3	1	深夜急行バス第2弾「ミッドナイトアロー新横浜線」の運行を開始
	4	2	「渋谷道玄坂一丁目、営団・東急・京王三社開発事務局」を開設	3	1	横浜市営バスと共同でニュータウン線(あざみ野駅～市が尾駅間)の運行を開始
	4	5	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(総合政策学部、環境情報学部)の第1期工事が完成、開校	3	29	バス無線管理システムを導入
	4	14	保木土地区画整理組合解散認可	4	7	日吉駅上りホームが半地下の新設ホームに切り替え
	8	4	上恩田土地区画整理組合解散認可	6	1	路線バスの運行システムを新設(市が尾駅～道中坂下)
	9	12	サンディエゴで「エメラルドシェイプリーセンター」(オフィス棟)を開業	6	18	渋谷～溝の口間の深夜中距離バスの運行を開始
	9	22	「三軒茶屋・太子堂四丁目地区市街地再開発組合」を設立	7	11	代官山駅駅舎が竣工、テナントが営業を開始
	11	8	MM21地区・24街区の事業者を選定される(横浜みなとみらい21地区)	8	27	東弘商事(株) 駅売店を「toks(トークス)」に統一、東横線渋谷駅の東渋谷1号店を新名称「トークス」で改装開店
	12	15	大場第一土地区画整理組合解散認可	8	31	日吉駅の下り線を新設ホームに切り替え
	12	28	厚木市高坪土地区画整理組合設立認可	9	5	田園調布駅が橋上仮駅舎に移転、旧駅舎を解体
				11	16	自動車部 港北ニュータウン内で「ニュータウン北線」(2系統)の運行を開始
				11	28	田園都市・新玉川線 ダイヤ改正(営団地下鉄半蔵門線水天宮前駅まで直通運転を開始)

1991 (H.3)	5	1	セラン事業を開始	1	16	川崎市内のバス運賃改定(170円→180円)
	8	22	「八王子駅北口市街地再開発組合」を設立	2	1	「長津田駅総合サービスセンター」を開業
	10	4	福岡・原田地区の「美しが丘プレステージアベニュー」が都市景観大賞を受賞	3	16	田園都市線、新玉川線に新型ATC(自動列車制御装置)を導入。これに伴い、ダイヤ改正(朝間の平均運転間隔は2分30秒から2分25秒に短縮)
	12	24	二子玉川園駅改良工事と再開発事業に備えて、二子玉川園駅東口仮店舗が竣工	4	17	青葉台駅改良工事、駅前広場、総合サービスセンター竣工式
				4	—	(株)日本エアシステム 自社でのパイロット養成を開始
				5	29	池上線戸越銀座～旗の台間の立体化工事が土木学会技術開発賞を受賞
				6	3	(株)日本エアシステム 東京～ホノルル線の国際定期路線を開設
				10	1	東急バス(株) 営業を開始
				10	20	東横線大倉山～菊名駅間の立体化切替工事を実施 「直上高架切替工法(STRUM工法)」を日本で初めて採用
				11	20	鉄軌道旅客運賃改定(初乗り運賃80円→90円)
				11	22	日吉駅改良工事が竣工、東横線複々線化事業の工事で初めての竣工
				12	12	東急バス(株) 新羽営業所新築
				12	21	大岡山駅で橋上仮駅舎の使用を開始

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1990 (H.2)	3	31	「東急江の島レストハウス」を閉鎖	3	16	勸五島記念文化財団 設立	3	27	大蔵省が「総量規制」を実施(1991年末に廃止)
	5	2	(株)東急ホテルチェーン 「東京ベイホテル東急」(704室)を開業	3	30	東急グループサミットで21世紀に向けての新しいグループ戦略「東急アクションプラン21」を決定(総額2兆円、6項目の重点事業戦略)	4	1	大阪で花の万博開催
	5	30	パンパシフィックプロパティーズ社 ニュージーランドに「パンパシフィックホテルオークランド」(客室286室)を開業	4	1	(株)クレジット・イチマルキョウ 東急カード(株)に商号変更	8	2	イラク、クウェート侵攻
	5	30	(株)東急百貨店 ニュージーランド・オークランド市に「オーケーギフトショップ109」を開業	4	18	「東急アクションプラン21」を発表	10	3	ドイツ連邦共和国が誕生
	6	1	当社とサンフランシスコ109社 ホテル「ザポートマンサンフランシスコ」を買収、「パンパシフィックホテルサンフランシスコ」(客室330室)として営業を開始	6	1	「資料センター管理システム」を稼働	12	23	地価税の創設決定
	7	1	「東急ジョイガーデン駒沢店」を全面改装しイタリア料理店トラットリア「POZZO(ポッツォ)」を開店	8	8	東急不動産(株) 勝山リゾート(株)を設立	—	—	株価の暴落始まる(バブル経済崩壊)
	7	1	(株)タイム商会 (株)東急タイムに商号変更	9	12	「第1回東急レディステニス」を岡山で開催	9	16	完全週休2日制を導入
	7	17	東急不動産(株) 会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ浜名湖」(客室数120室)を開業	10	1	(株)東急ストア (株)九州開発(福岡県筑紫野市)を設立	11	3	「東急本店通り」を「文化村通り」に名称変更(渋谷道玄坂商店街振興組合東急本店通り支部)
	9	3	(株)東急文化村 「Bunkamuraドゥマゴ文学賞」を創設	11	5	海外で2か所目の「米国・カナダ東急会」を設立	12	4	東急広報委員会が多摩川園ラケットクラブで「第1回東急レディステニス全国大会」を開催
	9	15	東急不動産(株) 「斑尾東急ゴルフクラブ」を開業						
	9	19	(株)東急ハンズ 「横浜店」を開業						
	9	22	兵庫県赤穂郡で「ストークヒルゴルフクラブ」を開業						
	10	1	東急不動産(株)、(株)東急ホテルチェーンが「赤坂東急プラザ」を高級化に向けて全面改装、同時にキーテナントの「赤坂東急ホテル」(535室)をリニューアル開業						
	10	6	横浜市緑区桂台に複合施設「コモハウス」を開店						
	11	16	(株)ティー・エム・ディー 「ワン・オー・ナイン」に「HMV渋谷店」を開業						
11	30	(株)東急ケーブルテレビジョン 日本衛星放送(WOWOW)の放送サービスを開始							
11	30	(株)東急東条ゴルフクラブ (株)グランドオークゴルフクラブに商号変更							
12	23	ゴルフ練習場「スイング南町田」を開業							
1991 (H.3)	4	2	「パンパシフィックホテルサンディエゴ」(436室)を開業(米国・サンディエゴ)	2	1	東急バス設立準備室開設	1	17	湾岸戦争勃発
	5	15	兵庫県東条町に「グランドオークゴルフクラブ」を開業	5	21	東急バス(株)を設立	4	1	新宿に新都庁舎が開庁
	5	15	(株)東急百貨店 シュラスコ料理レストラン「バックカーナ」を開店	8	29	(株)ながの東急百貨店 株式を店頭公開	4	24	地価税法が成立
	5	21	東京ホテルズ・インターナショナル「プテリバンパシフィックホテルジョホールバル」(280室)を一部開業(マレーシア)	9	11	(株)裏磐梯高原東急リゾート設立	5	14	信楽高原鉄道で列車同士が衝突
	9	21	「松山東急イン」(245室)を開業	5	15	「ジュリアナ東京」オープン	5	15	長崎県雲仙・普賢岳で大規模な火砕流発生
	9	25	第1回「Bunkamuraドゥマゴ文学賞」が山田宏一氏「トリュフォー ーある映画の人生」に決定	6	3	フィリピン・ピナトゥボ山が20世紀最大級の噴火	6	9	南アフリカ、アパルトヘイト撤廃
	10	1	マウナラニリゾート社 ゴルフコースを18ホール増設	6	17	ソビエト連邦解体	12	26	きんさん、ぎんさんブーム
	10	13	東急建設(株) 「四日市東急ゴルフ倶楽部」(三重県四日市市)を開業	—	—				
	11	2	伊豆急行(株) 「稲取ゴルフクラブ」で9ホールを増設						
	11	3	(株)東急ストア 「すすき野とうきゅう」を開店						

年	月	日	不動産	月	日	交通
1992 (H.4)	2	29	旧二子玉川園跡地に都市型リゾートパーク「タイムスパーク」を開業	2	5	東急バス(株) 都内のバス運賃改定(山手線内160円→180円)
	4	11	「青葉台駅ビル」が竣工、専門店ビル「リクレ」として開業	3	25	新型車両2000系が田園都市線・新玉川線で営業運転開始
	4	15	黒須田土地区画整理組合解散認可	4	1	東急バス(株) 横浜市内のバス運賃改定(180円→200円)
	4	21	「慶應義塾湘南藤沢キャンパス」の開発業務を完了	5	1	日吉、横浜、洗足、青葉台、中央林間、荏原中延、長原の7駅で終日禁煙を実施
	5	1	東急不動産(株) 複合商業ビル「BEAM」を開業	5	20	日本エアシステム(株) チャーター便として初めて中国へ運航
	5	13	多摩川園駅の下りホームを切り替え、使用開始	7	1	雪が谷大塚駅と大岡山駅に「テコプラザ東急旅行センター」を開業
	9	30	MM21地区24街区の本契約締結	9	12	三軒茶屋・太子堂四丁目地区再開発事業の起工式を挙行
	10	2	東急不動産(株)が開発した千葉市・土気南地区(東急ニューシティあすみが丘)が平成4年度都市景観大賞(都市景観百選部門)を受賞	11	16	荏原中延駅ビルが竣工(株)東急ストアに一括賃貸
	10	2	静岡県裾野市・千福が丘地区(千福ニュータウン)が平成4年度都市景観大賞(景観形成事例部門・地区レベル)を受賞	11	25	多摩川園駅で東横線より線仮ホームの使用開始、全ホーム仮り受けが完了
				12	1	「テコプラザ中央林間駅」を開業
1993 (H.5)	2	19	筑紫野市原田土地区画整理組合(福岡県)解散認可	1	22	東急バス(株) 青葉台駅に「バス発車案内システム」を導入、運用を開始
	3	1	渋谷の旧本社跡地に駐車場を開業	3	13	池上線に63年ぶりに新造1000系を導入、営業運転を開始
	3	16	厚木市葛城土地区画整理組合設立認可	4	1	東急バス(株) 東急コーチ運賃改定(200円→230円)
	4	6	「第二東急中央林間ビル」を竣工	4	12	祐天寺駅に「テコプラザ祐天寺駅」を開業
	4	24	「青葉台東急百貨店」を開業	4	18	(株)日本エアシステム 花巻空港で負傷者(乗員・乗客の重軽傷者合計58人)を出す航空機事故発生
	4	30	赤田土地区画整理組合解散認可	7	1	伊豆急行(株) 新造車「アルファ・リゾート21」の運用を開始
	5	18	(株)東急ストア 「筑紫野とうきゅうショッピングセンター」を開業	7	2	大井町駅に「テコプラザ東急旅行センター」を開業
	11	1	当社と東急不動産(株) 「世田谷ビジネススクエア(SBS)」を竣工	7	12	池上線に「テコプラザ東急旅行センター」を開業
				7	28	長津田駅に横浜市の行政サービスコーナーを開業
				10	2	東急バス(株) 都内バスの運賃改定(山手線外180円→200円、1994年9月30日まで暫定運賃190円)
				10	20	二子玉川園駅の改良工事に着手
				12	—	東横線複々線化に伴う多摩川橋梁～武蔵小杉間線増工工事着手
1994 (H.6)	1	25	大場第三土地区画整理組合解散認可	3	23	下高井戸駅の改良工事が完了(京王帝都電鉄(株)との共同事業)
	2	7	東急グループが事業参画するMM21地区・24街区のプロジェクトが始動、起工式を挙行	6	1	伊豆急行(株) 全国で初めての女性電車運転士(甲種電気車運転免許)が誕生
	3	24	「東急南大井ビル」の竣工修祓式および竣工披露式開催	6	25	桜木町駅の新駅舎が完成、使用開始
	4	19	京王帝都電鉄(株)、帝都高速度交通営団との共同事業として渋谷道玄坂一丁目開発事業(TKTプロジェクト)に着工	6	—	(株)日本エアシステム ホノルル線を休止
	4	29	田奈駅高架下に「多摩田園都市まちづくり館」を開業	8	1	日吉駅に有料自転車駐車場を開業

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1992 (H.4)	3	19	「富山エクセルホテル東急」(210室)を開業(新ブランド「エクセルホテル東急」の第1号店)	2	25	東急車輛製造(株) 東急建設(株)と大型機械式立体駐車装置「東急インテリジェントパーキング“TIPシステム”」を開発、発表・視察会を実施	3	14	東海道新幹線のぞみ号登場
	4	1	高村造園(株) 東急グリーンシステム(株)に商号変更	4	25	本社機能の一部(交通事業本部)を「日交渋谷南平台ビル」へ移転	7	1	山形新幹線(福島～山形間)開通
	4	20	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ鬼怒川」(150室)を開業	7	1	完成した新千歳空港ターミナルビルに、建設・出店・広告などグループ9社が参画	8	1	借地借家法施行
	4	24	「博多エクセルホテル東急」(308室)を開業	7	18	本社機能の一部(コーポレート部門、海外事業部)を「東急南平台町ビル」へ移転	9	12	学校週5日制に移行
	6	30	「東急ジョイガーデン鷺沼店」を閉店	9	1	「緑が丘慎独寮」(5階建て、51室、全室1人部屋)を新設	9	21	地価、全国平均で初の下落
	7	4	マウナラニリゾート社 コンドミニウム「ジアイルズアットマウナラニ」を完成(6月末)、販売開始(7月～)、竣工披露を実施	9	15	元住吉慎独寮を廃止			
	8	1	東急不動産(株) 北海道虻田郡倶知安町に「ニセコ東急ゴルフコース」を開業						
	8	29	(株)東急百貨店 東横店西館屋上に都内初のラジコンサーキットコース「シブヤトップサーキット」を開業						
	9	19	「スイング碑文谷」を開業						
	10	1	東急砂利(株) 東急ジオックス(株)に商号変更						
	10	1	東急不動産(株) 千葉県香取郡に「小見川東急ゴルフクラブ」を開業						
	12	18	福島・裏磐梯高原にホテル(106室)とスキー場からなる複合リゾート施設「グランデコ ホテル&リゾート」を開業						
12	23	東急不動産(株) 北海道虻田郡倶知安町に「ニセコ国際ひらふスキー場花園コース」を開業							
1993 (H.5)	1	16	東急リロケーション(株) 短期滞在型マンション事業の第1弾「東急ステイ蒲田」(49室)を開業	4	22	東急スポーツシステム(株)を設立 資本金1,000万円	3	18	横浜市営地下鉄のあざみ野～新横浜間が開通、田園都市線のあざみ野駅と接続
	3	9	「ミスタードーナツ鷺沼店」(第1号店)を開店				5	15	サッカーJリーグ開幕
	3	16	東急バス(株) 「大橋東急ビル」を竣工				6	9	皇太子殿下と小和田雅子さま(現在の天皇皇后両陛下)ご成婚
	3	31	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ南紀田辺」(187室)を開業				7	12	北海道南西沖地震発生
	6	23	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ伊東」(170室)を開業				7	16	「横浜ランドマークタワー」開業
	7	2	東急バス(株) 横浜市港北区綱島に「さっぽろラーメン横丁満龍」を開店				10	26	JR東日本が東京証券取引所第一部などに上場
	7	8	(株)日本エアシステム 「JAS旭川カントリークラブ」を開業				—	—	「米騒動」勃発
	7	11	東急不動産(株) 「箱根明神平別荘地(同社分譲)」に「東急ハーヴェストクラブ トラスト箱根明神平」(39室)を開業						
	9	25	(株)東急ホテルチェーン 予約オンラインシステムを稼働						
	10	13	「成田東急イン新館」(306室)が開業、併せてホテル名を「ホテル成田東急」に変更						
	11	9	東急不動産(株) 千葉県山武郡大網白里町で「季美の森ゴルフ倶楽部」を開業						
	11	20	(株)東急百貨店 バンコク市郊外(ラチャピセ地区)にタイ東急百貨店2号店「ラチャダ店」を開業						
12	23	東急不動産(株) 福井県勝山市に西日本圏初のスキー場「SKI JAM KATSUYAMA」(スキージャム勝山)を開業							
1994 (H.6)	2	4	「ミスタードーナツたまプラーザ店」(第2号店)を開店	3	—	「黒須田社員アパート」完成、49戸全戸3LDK	5	6	英国とフランスを結ぶ英仏海峡トンネル(ユーロトンネル)開通
	3	13	「山形東急イン」を閉店	7	1	海外事業部 事業再構築に向けて組織改正実施	6	22	製造物責任法(PL法)が成立
	3	15	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブトラス東京アーバンステージ」(81室)を開業	9	4	完成した関西国際空港に、建設・出店・物流・広告などでグループ8社が参画	6	27	松本サリン事件発生
				9	4	完成した関西国際空港に、建設・出店・物流・広告などでグループ8社が参画	6	29	ハートビル法公布
							9	4	関西国際空港開港
							11	6	横浜市に「青葉区」と「都筑区」が誕生

年	月	日	不動産	月	日	交通
1994 (H.6)	5	24	八王子駅北口地区の市街地再開発事業の起工式開催	8	2	多摩川橋梁で、東横線下り線が新橋に切り替え
	6	20	渋谷・桜丘町プロジェクト協定締結	8	25	田園都市・新玉川線がオール10両編成運転を開始
	10	3	「溝の口駅高架下店舗」を竣工 (株)東急ストアに一括賃貸	10	1	東急バス(株) 東京都内のバス運賃を改定(190円→200円)
	10	4	「世田谷ビジネススクエア」と用賀駅周辺地区が平成6年度都市景観大賞(景観形成事例部門・地区レベル)を受賞	10	21	多摩川橋梁で、東横線上り線が新橋に切り替え
				10	25	目蒲線(目黒駅付近～洗足駅付近間)の立体交差化事業を東京都が都市計画事業に決定
				11	26	東横線複々線化事業の一環として目蒲線の田園調布駅および多摩川園駅の地下ホームを完成
				12	1	東急バス(株) 関連会社東京満龍(株)の商号を東急フードサービス(株)に変更
1995 (H.7)	3	16	「サレジオ学院港北ニュータウン新校舎」の建設工事竣工	1	19	運賃改定申請と併せ、大井町線の改良・延伸工事に「特定都市
	3	17	平塚市五領ヶ台特定土地区画整理組合(神奈川県平塚市)設立認可	3	1	鉄道整備積立金制度(特特制度)」の適用を申請
	3	25	東急グループが資本参加する第三セクター(株)日本住情報交流センターが建設・運営する、住まいの情報交流センター「ハウススクエア横浜」が開業	3	1	東急バス(株) 都内のバス運賃改定(山手線内180円→200円)
	7	5	大場第二土地区画整理組合解散認可	3	17	東急バス(株) 川崎市内のバス運賃改定(180円→200円)
				3	20	大井町線の改良・延伸工事に「特特法」の適用が認可
				3	—	日吉～綱島駅間立体交差事業に着手
				4	1	JR東日本と共同で、菊名駅に連絡改札口を新設、自動改札機と乗り継ぎ精算機を導入
				5	16	日吉駅にバスターミナルが完成、使用開始
				6	1	田園調布駅で東横線下り線が地下化
				9	1	鉄道旅客運賃改定(初乗り運賃90円→110円)
				9	10	未導入の66駅で分煙を導入し、東急線全駅で終日禁煙・分煙を実施(禁煙駅16駅、分煙駅83駅)
			10	1	機動区工作班の業務を東急軌道工業(株)に移管	
			11	24	田園都市線・新玉川線で車両間隔を2分10秒に短縮	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1994 (H.6)	3	16	三菱商事(株)、三井物産(株)、東京電力(株)の3社と共同で「次世代ネットワーク研究会」を発足、電話など通信事業とケーブルテレビを接続、マルチメディア開発の提携で合意	10	1	グループの共同販促キャンペーンと地域貢献をめざした「第1回とうきゅうThanks Days」を開催(9日を中心とした約1週間に展開)			
	3	19	伊豆急行(株) 伊豆高原駅前開発事業の第1期工事である伊豆高原駅と隣接する商業施設「やまもプラザ」が竣工						
	4	1	東急インチェーンの新しい会員組織「東急REIクラブ」を発足						
	5	14	(株)群バスリゾート 温泉を併設したリゾートホテル「伊香保東急ビラ」(32室)を開業						
	6	11	(株)北見バス 「東急ハーブヒルゴルフクラブ」(北海道北見市)を開業						
	7	20	白馬観光開発(株) 樽池高原に「樽池ロープウェイ」を開業						
	8	31	(株)東急ホテルチェーン 「白馬東急ホテル」を閉店、長野冬季五輪に備えて新たなホテル建設						
	9	10	(株)東急ホテルズ・インターナショナル マレーシアのグレンマリーリゾート内に「パンパシフィックグレンマリーリゾート」(291室)を開業						
	9	10	東急不動産(株) 和歌山県に「有田東急ゴルフクラブ」を開業						
	9	15	(株)東急レクリエーション 「広島東急イン」(286室)を開業						
	9	22	「ミスタードーナツ宮崎台店」を開店						
	10	1	東急フーズ(株) ベーカリー、ミート、レストランの3事業部を分社、(株)サンジェルマン、(株)セントラルフーズ、(株)レストランモンテローザを設立						
10	1	「アトリオあざみ野」を全面開業							
10	25	世紀東急工業(株) 「ロイヤルフォレストゴルフ倶楽部」(茨城県水戸市)を開業							
12	15	東急バス(株) 手づくり豆腐料理の店「中華南雲」渋谷店を開店							
1995 (H.7)	1	1	(株)東急ホテルズ・インターナショナル タイ・バンコクに「パンパシフィックホテルバンコク」(235室)を開業	1	1	CS推進室を設置	1	17	阪神・淡路大震災
				2	16	「東急109(トーク)センター」を開設	3	20	地下鉄サリン事件
				4	28	横田二郎社長が取締役相談役に、清水仁専務が取締役社長に就任	4	9	青島幸男東京都知事・横山ノック大阪府知事誕生
	1	27	ニュージーランドの「パンパシフィックホテルオークランド」を売却	6	26	パンパシフィックホテルズアンドリゾート社(PPHR)(資本金1,500万シンガポールドル)を設立	7	1	PHS(パーソナルハンディフォン)登場
	1	31	パヌアツの「ルラゴンパンパシフィックリゾート」を売却	11	23	ウィンドウズ95発売			
	2	24	サンディエゴの「エメラルドシェイプリーセンター」を売却	7	1	社内提案制度の運用開始			
	5	—	「東急鷺沼グラウンド」使用開始	7	19	東急グループCS推進連絡協議会が発足			
	7	1	阪神・淡路大震災で被害を受け営業を休止していた「神戸東急イン」が営業を再開	9	20	東急グループ外食事業連絡会を設立			
	8	1	「パンパシフィックホテルサンディエゴ」契約終了	12	31	Bunkamuraで第1回の「東急ジルベスターコンサート」を開催			
	9	30	「旭川東急イン」を閉店						
	10	1	当社が出資し、総括代理店を務めるPHS(簡易型携帯電話)事業会社「アステル東京」がサービス開始						
	10	2	マウナラニベイホテル社 マウナラニリゾート(オペレーション)社に商号変更						
10	30	長野県・軽井沢町で「軽井沢矢ヶ崎別荘地」の販売を開始							
11	9	(株)日吉東急百貨店 「東急日吉駅ビル」の百貨店(本館)および専門店街(南館)が開業							
12	1	「ミスタードーナツ梶が谷店」を開店							
12	11	カリフォルニア州の「パンパシフィックホテルアナハイム」をウォルトディズニーカンパニーの100%子会社に売却							

年	月	日	不動産	月	日	交通
1995						
(H.7)						
1996	1	23	「みなとみらい21地区・24街区」の名称が「クイーンズスクエア横浜」に決定	2	4	多摩川園駅で東横線下り線本設ホームの使用開始
(H.8)	3	8	小郡市苅又土地区画整理組合(福岡県)解散認可	3	8	(株)日本エアシステム 国産YS-11型機が南紀白浜線で定期路線から退役、全路線でジェット化
	3	16	富士高原事務所を閉鎖	3	12	田園調布～多摩川園間改良工事で東横線と目蒲線の4線地下化が完成
	3	19	長野県・軽井沢ヶ崎別荘地開発工事を竣工(4月1日に現地案内所を開設)	3	15	伊豆急行(株)「伊豆波勝崎マリン」が運航開始
	7	1	福岡都市建設事務所を廃止	4	1	工務部の業務を移管し、営繕区を廃止
	10	—	事業用借地権による賃貸事業を開始	4	26	田園都市・新玉川線・大井町線でダイヤ改正 田園都市・新玉川線では快速列車をすべて急行列車に変更し、中央林間駅まで延長運転(日中時間帯のみ)
	11	18	三軒茶屋の「キャロットタワー」が竣工	6	1	全車両にシルバーシートを設置
				6	1	東横線複雑線化工事に伴い、大岡山駅で大井町線上下線を地下ホームに切り替え(踏切4か所解消)
				6	15	東急バス(株) 都市間高速バス酒田線を廃止
				10	27	大岡山駅で目蒲線下り線を地下化し供用開始
				11	1	東急バス(株) 高津営業所新築事務所竣工式
				11	15	世田谷線三軒茶屋駅本設移転
				12	2	洗足変電所が竣工し運転開始
				12	19	世田谷線三軒茶屋駅と新玉川線三軒茶屋駅を結ぶ三軒茶屋地下道が開設
				12	21	大岡山駅の目蒲線上りホームが切り替え
1997	1	11	(株)東急コミュニティー 地域コミュニティーを支援する「青葉台フォーラム」を開設(設立25周年記念事業の一環)	1	17	田園調布駅新駅舎竣工
(H.9)	2	7	厚木市葛城土地区画整理組合解散認可	1	20	(株)日本エアシステム 福岡に不定期航空会社(株)ハーレクインエアを設立
	3	14	JR八王子駅北口の再開発ビル内に「八王子東急スクエア」を開業	3	20	東横線渋谷～菊名間でATC使用開始
	7	18	「クイーンズスクエア横浜」が「街びらき」オフィス棟「クイーンズタワー」と専門店街「アット！」開業	4	1	鉄道旅客運賃改定(消費税率3%→5%変更による)
	8	1	南町田プロジェクト推進部を新設、商業デベロッパー事業に参入	4	1	東急バス(株) バス共通カードを発行
	9	5	(株)よこはま東急百貨店 「クイーンズスクエア横浜」で百貨店「クイーンズイースト」を開業	4	1	(株)日本エアシステム 東京～福岡線、東京～札幌線の幹線にB-777型機「レインボーセブン」を就航 A300-600R型機のスーパーシート設定 MDシリーズ型機のボーナスシート設定での運航を開始 客室乗務員の制服をリニューアル
	10	10	青葉台プラザビルA・B館をリニューアル、(株)西南東急百貨店が運営する「青葉台アネックス」を開業	4	16	田園調布駅バスターミナルが完成、使用開始
	11	1	「たまプラザ東急SC」の運営管理業務を(株)東急マーチャンダイジングアンドマネージメントに委託	4	19	(株)日本エアシステム 香港に商事会社「日本佳速航空貿易有限公司」を設立
	11	13	事業用借地権事業で(株)東急ストアの新業態「プレッセ美しが丘店」を開店	4	23	多摩川園駅の駅舎が完成(エスカレーター6基、エレベーター2基設置等)
	11	25	渋谷・桜丘町プロジェクト起工式 ホテル・オフィスからなる41階建ての高層複合ビルを建設(現在のセルリアンタワー)	6	27	大岡山駅で目蒲線上り線を地下ホームに切り替え、使用開始。4線すべての地下化が完了
				7	2	東急バス(株) 超低床ノンステップバスを採用
				7	27	目黒駅地下ホームの使用開始、目蒲線ダイヤ改正、「テコプラザ目黒店」を新装開店
				8	30	多摩川橋梁と武蔵小杉駅で東横線上下線を本設化
				9	1	東急バス(株) 横浜市内のバス運賃改定(200円→210円)
				10	16	東急バス(株) コンビニエンスストア「am/pm東急溝の口駅前店」を開店
				12	10	東急バス(株) 都内バスの運賃改定(山手線外200円→210円)
				12	28	鉄道旅客運賃改定

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1995	12	—	西豪州政府とヤンチェップ地区の開発に関する基本合意書を締結						
(H.7)									
1996	1	1	マウナラニリゾート社 施設運営部門をマウナラニリゾート(オペレーション)社に移管	2	1	インターネットに人事採用情報のホームページを開設	2	10	北海道豊浜トンネル崩落事故
(H.8)	1	9	「札幌エクセルホテル東急」(388室)を開業	3	16	鷺沼グラウンドの敷地内に慎独寮(男子寮)を新設	3	16	JR埼京線が恵比寿まで延伸
	4	1	石油販売課福岡営業所を開設	4	12	資金調達機の機動性、安定性を向上させるため、総額1,000億円のユーロ・メディアム・ターム・ノート(ユーロMTN)・プログラムを設定	4	12	沖縄の普天間飛行場全面返還、日米合意
	4	1	(株)東急コミュニティー 託児所事業に進出、東急不動産(株)開発の千葉県あすみが丘のJR土気駅前に第1号店を開業	6	14	ユーロ市場で普通社債(ユーロMTN)を発行	12	17	ペルー日本大使公邸が占拠される
	4	1	(株)東急コミュニティー 託児所事業に進出、東急不動産(株)開発の千葉県あすみが丘のJR土気駅前に第1号店を開業	7	1	役員定年制度を導入			
	4	13	「嶮山スポーツガーデン」にフットサルコートを開業	8	15	ユーロ市場で普通社債(ユーロMTN)を発行			
	4	26	(株)東急レクリエーション 相模原市にドライブインシアターの第1号店を開業	9	2	商業施設の運営管理会社として(株)東急マーチャンダイジングアンドマネージメントを設立			
	4	27	「ミスタードーナツ藤が丘駅前店」を開店						
	10	4	(株)東急ハンズ 新宿駅南口のタカシマヤタイムズスクエアに「新宿店」を開店						
	10	17	青葉区美しが丘に「神戸屋レストラン」が開店(事業用借地権事業の第1号)						
	11	1	青葉区美しが丘にアウトドアショップの「WILD-1」が開店(事業用借地権事業の第2号)						
	11	8	鷺沼駅に簡易クリーニング店舗「シャトルシャツクリーニング」を開店						
	11	15	(株)東急レクリエーション 新宿文化会館をリニューアル開業、併せて「新宿TOKYU MILANO」に名称変更						
	11	20	(株)東急ストア キャロットタワー内に「三軒茶屋とうきゅう」を開店						
	11	30	「東急ジョイガーデンあざみ野店」を開店						
	12	12	(株)東急ホテルチェーン 「白馬東急ホテル」(102室)を開業(長野冬季オリンピックに向け建て替え)						
	12	18	「東急嶮山スポーツガーデン」内にレストラン「ALBATROSS(アルバトロス)」を開業						
1997	3	31	豪州の「パンパシフィックホテルゴールドコースト」の運営受託契約を解約、PPHRから離脱	3	17	(株)日本エアシステム 香港に販売会社「日本佳速航空香港有限公司」(JAS香港)を設立	1	2	日本海でロシアのタンカー(ナホトカ号)が沈没、重油流出
(H.9)	4	1	「246-net」を設立し、インターネットのプロバイダー事業に参画	4	1	当社のランドホームページおよび東急グループのランドホームページ開設	2	10	神戸児童殺傷事件発生
	4	1	石油販売課上信越営業所を開設	2	23	英国で世界初のクローン羊(ドリー)が誕生			
	4	1	学五島育英会 武蔵工業大学に「環境情報学部」を新設	3	22	秋田新幹線(盛岡～秋田間)開通			
	4	16	ランドオークゴルフクラブで乗用カートによるセルフプレーを導入	4	1	消費税引き上げ(3%→5%)			
	4	16	(株)東急ホテルチェーン 「沼津東急ホテル」(120室)を開業	7	1	英国が香港の主権を中国に返還			
	4	23	シンガポール東急エアカーゴ(株)チャングサウスに新本社倉庫を完成(東急建設(株)シンガポール支店の設計・施工)	7	15	第82回東急グループサミットにてグループスローガン・グループ理念などからなる東急グループ理念体系を決定	10	1	長野新幹線(高崎～長野間)開通
	4	30	「トラットリアPOZZO」を開店	7	17	北海道拓殖銀行 経営破綻	11	17	山一証券 自主廃業発表
	5	1	当社がマウナラニリゾート(オペレーション)社の全株式を取得	7	16	京都で地球温暖化防止会議を開催、京都議定書を採択	11	24	山一証券 自主廃業発表
	5	15	「レストランコモハウス」を開店	9	1	東急グループ経営理念・新スローガンを「美しい時代へー東急グループ」を発表	12	1	京都で地球温暖化防止会議を開催、京都議定書を採択
	5	23	「愛宕山東急イン」新館(159室)を開業	7	16	東急バス(株) 東急コンビニエンスシステム(株)を設立	12	17	独占禁止法の改正により「純粋持株会社」が解禁
	6	30	「ジョイガーデンたまがわ店」を開店	9	1	東急グループ経営理念・新スローガンを「美しい時代へー東急グループ」を発表	—	—	プリクラ、たまごっち、ポケットモンスター流行
	8	7	「パンパシフィックホテル横浜」(485室)を開業(PPHR初の日本出店)	10	1	グループ内1,031か所で利用可能な「東急グループ商品券」の販売開始			
	9	1	「テコプラザ武蔵小杉駅」が新店舗で営業開始	11	28	(株)東急ホテルズ・インターナショナル 解散			
	9	26	(株)ながの東急百貨店 岡谷市の再開発事業の核店舗として「おかや東急百貨店」を開業						

年	月	日	不動産	月	日	交通
1997						
(H.9)						
1998	1	23	伊勢原市稲荷久保土地区画整理組合設立認可	1	27	不動前駅の駅舎を約70m目黒寄りに仮移設して供用開始
(H.10)	2	19	東急不動産(株) 千葉市緑区の土気東地区で区画整理組合を設立	2	7	沼部駅に自動改札機、遠隔監視システムを導入
	2	23	「日吉駅東西自由通路と銀杏並木」と「クイーンズスクエア横浜」が「横浜まちなみ景観賞」を受賞	3	11	奥沢総合ビルに太陽光発電システムを導入
	2	25	三保天神前土地区画整理組合解散認可	3	13	戸越公園駅の自動改札機を更新し、遠隔監視システムを導入
	3	5	事業用借地権事業により「ニトリ南町田店」を開店	3	16	池上線ワンマン運転開始、8年ぶりのダイヤ改正を実施
	3	21	東急不動産(株) 西伊豆・堂ヶ島に「加山雄三ミュージアム」を開業	3	16	東急バス(株) ハウスクリーニング「モーリーメイド」の営業を開始
	7	1	「渋谷道玄坂一丁目開発計画(TKTプロジェクト) 開業準備室」を開設	3	31	工務部の業務を移管し、施設事務所を廃止
	8	28	厚木市高坪土地区画整理組合解散認可	3	31	旗の台駅の本屋口・A口の自動改札機を更新、遠隔監視システムを導入
	12	7	世田谷区駒沢の「トラットリアPOZZO」跡地で都内初のマンション建設に着手	4	21	大岡山駅で本設駅舎一部使用開始、「テコプラザ大岡山駅」の新店舗が開店
				4	22	多摩川園～武蔵小杉間下り線仮線切り替え
				5	15	大岡山駅前に「東急大岡山駅前建物」を竣工、(株)東急ストアに一括賃貸し「(株)東急ストア大岡山店」を開業
				6	1	溝の口駅上に商業施設が入ったフロア「Cre Station」を開業
				7	25	「NECPCカレッジ東急溝の口校」開校
				7	28	運輸司令所にある田園都市線・新玉川線のTTC(列車運行総合制御装置)を更新
				10	1	東急バス(株) 渋谷～代官山を循環するミニバス「東急トランセ」の運行を開始(運転手全員が女性)
				12	7	東急バス(株) たまプラーザ～羽田空港の直行バス「空港線」を開設
				12	13	こどもの国線の間接駅の駅名が「恩田」に決定 併せて環境に配慮した新造車両を導入
				12	20	二子玉川園駅で大井町線(1番線)と田園都市線・新玉川線下り線(2番線)を入れ替え
						函館バス(株) 100円均一の「リングバス」の運行を開始
1999	1	21	東急不動産(株) 国内SPC法に基づき、同社が開発・所有しているショッピングセンターを三井信託銀行と共同で証券化し機関投資家に売却すると発表、日本で初	3	10	みなとみらい21線と東横線との相互直通運転に伴う横浜駅付近地下化工事でシールド工事発進式
(H.11)	3	17	当社、帝都高速度交通営団、京王電鉄(株)の3社の共同開発プロジェクト「渋谷道玄坂一丁目開発計画」の施設名称が「渋谷マークシティ」に決定	3	19	長津田車両工場でISO14001の認証を取得、鉄道車両整備工場としては民鉄初
	4	1	(株)東急コミュニティー 「世田谷ビジネススクエア」で生ごみリサイクルを本格的に始動	4	16	東横線に3000系車両(将来の目黒駅からの地下鉄線乗り入れ用)を導入
	4	14	「南町田ショッピングセンター(のちのグランパリーモール)」の起工式を開催	5	15	新丸子、武蔵小杉駅の下り線本設ホームを供用開始
				6	8	(株)日本エアシステム ミノースウエスト航空と共同運航契約を締結
				7	11	世田谷線に300系(70形車両を改造)を導入、営業運転を開始

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1997	10	1	「クーバー・コーチング・サッカースクールあざみ野校」開校						
(H.9)	11	1	上田交通(株) 上田駅前(温泉口)に「上田東急イン」(133室)を移転						
	11	13	東急ストア「プレッセ美しが丘店」を開業						
	11	14	「ミスタードーナツ市が尾店」を開店						
	12	6	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ斑尾」(90室)を開業						
	12	15	「パンパシフィックロジウィスラー」(121室)を開業【カナダ・ウィスラー】						
	12	24	マレーシア・マラッカに「パンパシフィックレガシーホテルマラッカ」(255室)が開業						
1998	1	2	マウナラニサービス社を設立	1	5	清水仁社長 東急グループ賀詞交歓会において「自立できない会社は、共創のゲームに参加する資格はない」との発言	2	7	長野オリンピック開催
(H.10)	2	7	白馬観光開発(株)、(株)ながの東急百貨店、(株)白馬東急ホテル、草軽交通、上田交通(株)など 「長野冬季五輪」に側面から参画	2	7	田園都市部で業務組織の一部改正を実施、恩田都市建設事務所を廃止	3	19	「特定非営利活動促進法」(NPO法)が成立
	3	16	上田交通(株) 「旧上田東急イン」(1997年10月営業終了)をアパートメントホテル「上田ステイ」(65室)として開業	3	23	東調布慎独寮廃止	4	5	明石海峡大橋が開通
	3	17	「パンパシフィックステラコタキナバル」(500室)を一部開業【マレーシア・ボルネオ島】	3	31	東調布慎独寮廃止	7	25	和歌山市でカレーヒ素混入事件発生
	3	31	「ジョイガーデンたまプラーザ店」を開店	4	1	株定鉄商事 (株)札幌東急ストアに商号変更			
	3	ー	マウナラニリゾート社を解散	4	8	東急バス(株) 新たな運営形態のバス会社(株)東急トランセを設立			
	4	1	東急カード(株) TOPカードの分割払いを開始	4	17	「自立」のための「3か年経営計画」の策定を求めた「東急グループ社長会」を開催			
	4	1	(株)東急ケーブルテレビジョン CATV網を利用した超高速インターネット接続サービスを開始	6	11	最後の大会となった「第26回札幌とうぎゅうオープンゴルフトーナメント」を開催			
	4	8	(株)東急レクリエーション 「港北とうぎゅうボウル」を開業	7	1	東急グループが新運営体制を発足			
	4	20	東急インチェーンがインターネットによる予約システムに加入	7	1	5つの「グループ機能ビジョン」の役割を明確化			
	4	20	フィリピンに「パンパシフィックホテルマニラ」(238室)を開業	7	16	業務組織を改正 経営管理室に環境活動推進委員会を設置			
	4	25	湯布高原(株) 建売別荘および別荘地の新規分譲を開始	7	16	電子稟議システムが稼働			
	4	25	(株)ディー・エム・ディー 「港北東急百貨店SC」を開業	8	1	東京・渋谷での電子マネー実用化実験にグループ各社が参画			
	6	1	自分史ビデオを作る新事業「アニメーションビデオ」の営業を開始	9	16	社員クラブの運営・管理業務を(株)東弘二葉に委託 併せて人事部厚生課の組織を一部改正			
	6	5	(株)東急総合研究所 第1回研究発表会を開催	10	1	工務部で業務組織を変更 機動区の業務を保線区および東急軌道工業(株)に移管			
	6	23	「パンパシフィッククアラルンプール新国際空港」(441室)を一部開業【マレーシア】	10	15	「環境活動推進委員会」が発足			
	9	16	(株)東急百貨店 日本橋店を1999年1月末で閉鎖し、売却することなどを柱とする「中期経営計画」を発表	10	20	北見バス(株)のバス事業を継承する新会社北海道北見バス(株)を設立			
	11	1	「東急灯油センター青葉」を新設	11	20	(株)東急コミュニティー 東証第二部に上場			
	11	4	「クーバー・コーチング・サッカースクール リーヴ新百合ヶ丘校」開校	12	28	東急建設(株) 「経営再建計画」を発表 1,300人の希望退職者を募集			
	12	25	シロキ工業(株)藤沢工場がISO14001認証を取得						
1999	1	25	タイムシェアリゾート事業の第1弾「ビッグウィーク京都」利用権販売開始	1	21	第1回「東急グループ事業推進委員会総会」を開催	1	1	欧州連合(EU)に単一通貨「ユーロ」誕生
(H.11)	1	31	(株)東急百貨店 「東急百貨店日本橋店」を閉店、336年の歴史に幕	1	21	第2回「環境活動推進委員会」を開催	2	28	臓器移植法(1997年10月16日施行)後、初の脳死臓器移植手術実施
	3	1	草軽交通(株)が運営する「草津東急ホテル」を「草津温泉ホテル東急」に名称変更、東急インチェーンに加盟	2	1	環境に関する経営方針「東京急行エコポリシー」を策定	2	ー	(株)NTTドコモ「iモード」スタート
	4	1	(株)五島育英会 武蔵工業大学の世田谷キャンパス内に「エネルギー環境技術開発センター」を開設	5	1	東急グループ各社の営業を総合的に支援する東急セールスサポート(株)を設立	5	1	「瀬戸内しまなみ海道」開通
							5	7	情報公開法が成立
							12	20	ボルトガルがマカオの主権を中国に返還

年	月	日	不動産	月	日	交通	
1999 (H.11)	4	16	渋谷・桜丘町プロジェクトの名称を「セルリアンタワー」に決定	8	1	東急バス(株) 株東急トランセに都区内の一部路線の運行を委託	
	6	28	「南町田ショッピングセンター」の名称を「グランベリーモール(GRANDBERRY MALL)」に決定	9	4	二子玉川園駅の方向別ホーム完成	
	7	5	たまプラーザ駅北口に建設の商業施設の名称を「スパイスボックス」に決定	10	9	目蒲線不動前駅付近(約570m)を、直上高架切替工法により高架に切り替え	
	7	19	西豪州政府と戦略的協調合意書を締結、パース市郊外(ヤンナップ・セントアンドリュース地区)の土地開発に協力	11	20	新丸子変電所運用開始	
	9	3	伊勢原市稲荷久保土地区画整理組合解散認可	11	25	日吉～綱島間下り線を高架化	
	10	8	たまプラーザ駅前に複合商業施設「スパイス・ボックス」を開業	11	30	伊豆急行(株) 東海自動車(株)と共同で伊豆急東海タクシー(株)を設立	
	11	5	東急不動産(株) 赤坂東急ホテルなどが入る主力賃貸ビル「赤坂東急ビル」の証券化を実施、181億円を調達	11	—	多摩川橋梁～武蔵小杉間線増工事竣工	
	2000 (H.12)	1	15	自社企画戸建住宅「ノイエあざみ野」の分譲を開始	1	15	田園調布旧駅舎復元(5月19日関東の駅百選に選定)
	1	28	渋谷・桜丘町プロジェクト「セルリアンタワー」のホテルの名称を「セルリアンタワー東急ホテル」に決定	3	18	東急バス(株) 都内バスの運賃改定(山手線外210円、淡島・初台線のみ200円(渋谷駅～初台駅))	
	1	31	株大阪会館の経営権を株東急コミュニティに移譲	3	29	こどもの国線通勤線化 恩田駅開業、子どもの国線運賃改定(130円→150円)	
	2	28	「東急溜池ビル」の売却を決定(引き渡し3/27)	4	10	東急バス(株) ボディー広告バスを導入	
4	7	東急不動産(株)と東急建設(株) 「南青山プラザ」を開業	7	1	伊豆急行(株) 新形式車両200系電車を導入		
4	21	南町田駅前に「グランベリーモール」を開業	7	15	グランベリーモール開業に伴い南町田駅に急行列車が臨時停車(土曜日・休日のみ)		
6	26	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業が都市計画決定	8	6	目蒲線が「目黒線」と「東急多摩川線」に運行系統変更 多摩川園駅が「多摩川駅」、二子玉川園駅が「二子玉川駅」に名称変更、田園都市線・新玉川線の線名を田園都市線に統一		
8	13	セルリアンタワー新築工事の一環として、首都高速道路と国道246号上に「渋谷区道玄坂横断歩道橋(仮称)」の橋梁を架ける工事を実施	9	16	当社鉄道線(横浜駅JR連絡改札口と軌道線の世田谷線を除く)の全改札口が自動改札化		
9	7	稲荷前地区一団地造成(神奈川県横浜市青葉区)開発許可	9	26	目黒駅で営団南北線、都営三田線と目黒線との相互直通運転を開始		
10	2	東急不動産(株) 豊通テレコムとの共同出資により福利厚生業務のサービス代行会社株イーウェルを設立	10	1	関東地区17鉄道事業者で導入(10月14日～)の共通乗車カードシステムに対応したオリジナル「パスネット」の販売を開始		
10	6	東急不動産(株) 「あすみが丘プランニューモール」を開業 同時に株東急ストアが「土気あすみが丘とうきゅう」、株東急レクリエーションが「あすみが丘とうきゅうポウル」を開業	11	17	特定都市鉄道整備事業計画を変更(大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事の工事区間を「大岡山～溝の口間」から「大井町～溝の口間」に)		
10	11	「東急百貨店日本橋店」跡地の開発計画「日本橋一丁目計画」が都市計画決定	11	21	日吉～綱島間上り線高架化により上下線とも高架完了(踏切4か所解消)		
11	1	青葉台駅周辺の商業施設を「青葉台東急スクエア」として再構築し、第1期開業	12	16	田園都市線急行列車が南町田駅に臨時停車(12月16～24日および2001年1月6～28日の土曜日・休日のみ、土曜日が上下線合計51本・休日48本)		

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
1999 (H.11)	7	15	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブスキージャム勝山」(100室)を開業	3	16	渋谷道玄坂一丁目開発計画の運営管理会社株渋谷マークシティを設立(帝都高速度交通営団、京王電鉄(株)と共同出資)	12	31	コンピュータの「2000年問題」に各所対応 会計ビッグバン
	9	17	株東急文化村 第9回「メセナ大賞」を受賞、芸術文化の振興に貢献	3	17	東急建設(株)を子会社化	—	—	
	10	1	東急インチェーンでインターネットリアルタイム予約システムを導入	3	24	東急建設(株) 東急工建(株)、東急設備(株)の解散・清算を決定			
	10	13	株東急百貨店 新システム「クラブキューポイント」TOPカードを導入	3	29	伊豆急行(株) 子会社5社(株伊豆急リゾート、ホテル伊豆急(株)、株伊豆急サービス、南伊豆漁業(株)、株伊豆波崎マリ)の解散、事業撤退などを発表			
	10	22	「ビッグウィーク京都」(21室)を開業(1号店)	4	1	参事職以上に新人事制度導入			
	10	29	2000円札の図柄に五島美術館所蔵の「源氏物語絵巻」「紫式部日記絵巻」が採用決定	4	1	組織改正(一般管理部門の課制廃止)			
	10	—	当社を含む私鉄6社で、各社が敷設した光ファイバー網を利用したLAN(ローカルエリアネットワーク)間接続実験開始	4	16	清水社長 社長会で「創造のための破壊」を行うことを宣言			
	12	15	札幌プラザ(株)が渋谷・ハチ公交差点前にマルチメディア情報発信型の商業ビル「QFRONT」を開業	4	27	東急観光(株) 総額50億1,000万円の第三者割当増資を決定 当社の子会社に			
	12	28	「ビッグウィーク軽井沢」(30室)が開業	6	1	鉄道施設の保守点検などを行う株東急テクニカルサービスを設立			
	12	31	「スイング南町田」を閉鎖	7	1	「自立」と「共創」を推進するため業務組織の改正			
				7	2	タイムシェアリゾート事業の運営会社株東急ビッグウィークステーションを設立			
				7	16	旧副参事以下に新人事制度導入			
				10	5	第1回「東急グループ環境情報交換会」を開催、グループ各社が情報を共有化			
2000 (H.12)	3	1	東急インチェーンで統括予約窓口「東急チェックイン・ドットコム」開設	1	1	新規事業チャレンジ制度の運用開始	1	27	運輸政策審議会答申第18号(渋谷における営団13号線と東急東横線の相互直通運転化)
	4	1	メディア事業用光ファイバーケーブルで「芯線賃貸事業」を開始	2	7	本社部門のISO14001認証取得キックオフ			
	4	7	「渋谷マークシティ」および「渋谷エクセルホテル東急」(408室)を開業	2	28	伊豆急行(株)を当社子会社化	1	—	「山王パークタワー」が竣工
	4	7	株東急百貨店 東横店地下1階食料品フロアをリニューアル、新しい食のテーマパーク「東急フードショー」として開業	2	28	東急建設(株)が経営再建計画発表	3	8	営団地下鉄日比谷線、中目黒駅付近で脱線事故発生
	4	7	株東急百貨店 東横店地下1階食料品フロアをリニューアル、新しい食のテーマパーク「東急フードショー」として開業	3	1	株東急コミュニティ 東証第二部から第一部に指定替え	7	12	そごう経営破綻
	4	13	田園調布駅上に商業施設「東急スクエアガーデンサイト」を開業 株東急ストアが同施設内に「プレッセ」を開業	3	16	東急建設(株)の第三者割当て増資を引き受け	7	19	二千円紙幣発行
	6	1	「東急メディアステーション(二子玉川園)」を開業	4	7	当社、ソニー、トヨタ自動車とケーブルテレビ網などの高速大容量インターネットに適したコンテンツ配信事業を検討する企画会社All企画(株)を設立	8	18	三宅島大噴火、9月1日全島避難発令
	6	30	世紀東急工業(株) 株葉山ローンテニスクラブを解散	4	10	当社、小田急電鉄(株)、相模鉄道(株)、東武鉄道(株)と日本デジタル配信(株)を設立	11	15	交通バリアフリー法施行
	8	31	東急トレーディング(株)を解散 当社保有の債権を放棄	4	18	「東急グループ経営方針」を発表「グループの生き残りをかけ、強力なガバナンス(企業統治)を発揮し、経営の危機に立ち向かう」「選択と集中」を実行に移す	12	1	BSデジタル放送開始
	11	30	株東急ホテルチェーン 「長崎東急ホテル」と「那覇東急ホテル」を閉鎖	7	1	組織改正(経営企画室、グループ政策室、グループ事業室を傘下とするコーポレート統括本部を新設)	12	12	都営地下鉄大江戸線が開通
	12	8	「札幌東急イン」のレストランをリニューアルし、「サウスウエストウィン&ダイン」を開業	7	13	「東急グループMB(モーニングボード=社内掲示板)」を開設			
				10	1	給与、社会保険関連業務などを東急ファイナンスアンドアカウンティング(株)に委託			
				10	1	上田交通(株) 株鹿教湯温泉ホテル東急を吸収合併			
				10	—	「環境活動報告書」の定例発行を開始			
				11	7	「2000年版 東京急行環境報告書」配布開始			
				11	29	本社部門でISO14001認証取得			
				11	—	東急不動産(株) 東急不動産グループとして2005年3月期を最終年度とする5か年計画の「新中期経営計画」を策定			

年	月	日	不動産	月	日	交通
2001 (H.13)	1	16	事業用借地権事業によりスイング南町田跡地に仏スーパー「カルフル南町田」を開業	2	11	世田谷線の車両とホームを改良 各駅にホームへのスロープを設置
	3	16	「東急三田ビル」を売却	3	1	東急バス(株) 東急コーチ運賃改定(美術館線他3路線、一般路線化)
	3	23	関耕地土地区画整理組合解散認可			
	3	27	「東急鷺沼ビル」を信託設定し、信託受益権を譲渡	3	28	東横線に「特急」がデビュー 渋谷～横浜間の所要時間が急行よりも約4分短縮
	5	24	「セルリアンタワー」開業			
	5	—	当社初の短期資金回収型事業として、川崎市宮前区で建売住宅(4戸)の販売を開始	3	28	目黒線、埼玉高速鉄道線との相互直通運転を開始
				3	31	(株)じょうてつ 観光貸切バス事業から撤退
				3	—	世田谷線の車掌を廃止
				4	2	渋谷、中目黒、青葉台の3駅管内で「サービスアップ109」を開始
				5	1	世田谷線に案内係を配置
				7	25	田奈変電所に落雷、電車の運行の大幅な乱れ
				10	—	環状6号線上の高架橋(目黒～不動前間)本設化
			11	12	(株)日本エアシステム 日本航空(株)との経営統合を発表	
			12	19	田奈変電所落雷事故の原因と対応策を発表	

2002 (H.14)	3	1	青葉台東急スクエアのサウス1・別館5階に「東急セミナーBE青葉台」を開校	1	28	東横線と営団13号線の相互直通運転実施を決定
	3	14	「JR東急目黒ビル」が完成	3	1	長津田車両工場がISO14001の認証更新審査に合格
	3	29	平塚市五領ヶ台特定土地区画整理組合解散認可	3	8	駅係員の「接客サービス選手権大会」を開催
	4	16	分譲マンションのブランド名を「ドレッセ」に統一すると発表	3	28	あざみ野駅を急行停車駅に変更
	4	26	「ビッグウィーク箱根強羅」(30室)を開業	3	30	東横線渋谷駅で当社初のシースルー改札を設置
	4	—	賃貸コンセプトマンションによる土地活用事業「トップブライド」を開始	4	1	「サービスアップ109」が全駅展開
	6	8	東横線沿線初の分譲マンション「ドレッセ大倉山」(124戸)の販売を開始	4	—	営団13号線との相互直通運転に向け、東横線渋谷駅～代官山駅間(約1.5km)の地下化工事に着手
	7	15	「トップブライド」の第1号物件「a・cube(エー・キューブ)」が青葉台に竣工	5	2	田園都市線に新形式車両5000系を10両1編成導入
	7	—	ヤンチェップ地区開発が豪州連邦政府から大規模プロジェクト指定を受ける	5	23	東横線と営団地下鉄13号線との相互直通運転に向けた「渋谷駅～代官山駅間の地下化工事」のうち、渋谷駅建設1期工事に着手
	11	5	横浜市がたまプラーザ駅周辺地区を都市計画決定	7	7	世田谷線にICカード乗車券「せたまる」を導入
	12	27	「東急南平台町ビル」、「東急桜丘町ビル」、「第2東急鷺沼ビル」を信託設定し、信託受益権を譲渡	7	16	元住吉教習所内に駅務サービス向上のための育成センターを開設
				8	1	携帯端末向け列車運行情報提供サービスを開始
			8	—	駅務の一部と人材育成業務を(株)東急テクニカルサービスに委託	
			12	2	東急バス(株) 青葉台行き深夜急行バス「ナイトアロー」を新設、運行を開始	

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2001 (H.13)	1	15	当社、(株)東急エージェンシー、(株)東急ケーブルテレビジョンと共同で、東急沿線の生活サイト「salus」を開設	1	9	(株)東急ホテルマネジメントを設立	2	19	宮崎県のリゾート施設「宮崎シーガイア」が倒産
	1	18	(株)東急ホテルチェーン 「銀座東急ホテル」を閉店	3	1	東急リパブル(株) 東証第二部から第一部に指定替え	9	1	新宿の雑居ビル火災で44人が死亡
	1	31	ゴールドバック(株)の株式を取得し100%子会社化	4	1	「新規事業チャレンジ制度」に表彰制度(社長賞:100万円)を新設	9	11	米国同時多発テロ
	2	1	ベンチャー企業を支援・育成するインキュベーター事業のため、ITベンチャー企業専用ビル「ビットキューブ」(渋谷)を開業	6	5	第1回東京急行環境賞表彰式	12	1	JR新宿湘南ラインが運行開始
	3	11	「天文博物館五島プラネタリウム」が閉館	6	27	当社と東急不動産(株) 東急リアル・エステート・インベストメント・マネジメント(株)を設立	12	1	皇太子ご夫妻に「敬宮愛子さま」ご誕生
	3	14	「佐賀東急イン」を閉店	6	28	清水仁社長が会長に、上條清文副社長が社長に就任			
	3	17	無錫(無錫大飯店有限公司)の合併事業から撤退	6	29	東急弘潤会グループを再編 東弘商事を当社の子会社化			
	3	31	「東急スポーツクラブつきみ野」を閉鎖	6	29	北紋バス(株) 従業員らが主体となった経営に移行			
	3	31	石油販売事業の営業を終了	7	31	鷺沼慎独寮を廃止			
	4	1	東急沿線の情報誌「salus」を創刊	8	1	藤が丘慎独寮の入寮開始			
	4	1	(株)イーウェル 福利厚生代行サービス「ウェルボックス(WELBOX)」の営業を開始	8	1	(株)東急ケーブルテレビジョン イッツ・コミュニケーションズ(株)に商号変更			
	4	1	東急インチェーンの運営を(株)東急ホテルマネジメントに委託	9	30	大倉山慎独寮を廃止			
4	14	アディダス・ジャパン(株)とサッカー・フットサル事業でネーミング・ライツ契約を締結 「アディダスフットボールパーク横浜金沢」を開業	9	30	東急病院が3つの科(小児科、産婦人科、歯科)を閉鎖				
7	15	東急百貨店東横店西館屋上に「アディダスフットボールパーク渋谷」を開業	10	1	東急不動産(株) (株)東急リゾートサービスにリゾート運営の11子会社を一本化				
7	17	株式交換により、(株)東急ホテルチェーンを完全子会社化	10	1	選択型福利厚生制度「カフェテリアプラン」を導入				
7	18	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢」(156室)を開業	10	1	群馬バス(株) 同社従業員らの出資で設立された高崎バスにバス事業を継承				
7	20	「ビッグウィーク夢科」(31室)を開業	10	26	ユニテッドデベロップメント社とミルクリーリアルティ社の解散を決定				
7	23	東急ホテルチェーンと東急インチェーンの予約・販売体制を統合し「東急ホテルズ予約センター」を開業	11	30	グループ会社4社が共同出資して、統合損害保険代理店の東急保険コンサルティング(株)を設立				
7	29	渋谷駅構内(東急百貨店東横店西館2階コンコース)で「ranKing ranQueen」を開店							
10	31	「シャトルシャツクリーニング」を閉店							
11	23	「ビッグウィーク伊豆高原」(26室)を開業							
12	27	トウキョウランドデベロップメント社(ハワイ)を解散							
2002 (H.14)	1	16	「キュート」の運営を(株)東急ジョイガーデンに委託	1	1	コンプライアンス経営を推進するための基本原則「東急グループコンプライアンス指針」を制定	2	17	「千と千尋の神隠し」(宮崎駿監督)がベルリン国際映画祭で金熊賞受賞
	3	16	東弘商事(株) コンビニ事業(トークス)駅構内5店舗を東急バス(株)へ譲渡	4	—	都市再生特別措置法公布	4	—	都市再生特別措置法公布
	3	17	「京都東急イン」を閉店	1	24	第1回東急グループコンプライアンス委員会を開催	5	31	サッカーの日韓W杯開幕
	3	31	東弘商事(株) コンビニ事業(トークス)駅構外11店舗をローソンへ譲渡	3	25	「情報セキュリティポリシー」を策定	7	—	都市再生特別措置法に基づく「都市再生緊急整備地域」の第一次認定が開始
	3	31	「サロマ湖東急リゾート」の営業を休止のちに「阿寒グランドホテル」に譲渡	3	26	東急建設(株)の第三者割当て増資約500億円を実施	8	—	アザラシ「タマちゃん」出現
	3	31	鷺沼グラウンドを閉鎖	4	1	グループ会社役員転籍制度を導入	9	17	日朝首脳会談
	4	1	インターネットサービスプロバイダー事業「246ネット」の営業をイッツ・コミュニケーションズ(株)に譲渡	4	1	役職定年年齢を改定			
	4	1	(株)東急ホテルマネジメントと(株)東急ホテルチェーンがホテルチェーン(ウェルカムメンバーズ)とインチェーン(東急REIクラブ)の会員組織を一元化、「東急ホテルズ・コンフォートメンバーズ」としてサービスを開始	4	1	行動規範を制定			
	4	1	東急ホテルチェーンがホテルチェーン(ウェルカムメンバーズ)とインチェーン(東急REIクラブ)の会員組織を一元化、「東急ホテルズ・コンフォートメンバーズ」としてサービスを開始	4	1	東急インチェーンと東急ホテルチェーンを統合し「東急ホテルズ」としてスタート			
	5	—	東急沿線での映像制作を支援する「トウキョウC&C」を試行	4	1	東急保険コンサルティング(株)が営業を開始			
	7	20	(株)ディー・エム・ディー ファッションビル「109町田」を開業	4	1	(株)東急ストアを連結子会社化			
	7	31	東急カナダ社を解散	4	1	相鉄運輸(株)が東急運輸(株)を吸収合併し、東急ロジスティック(株)に商号変更			
			4	3	東京通運(株)は株式交換により東急ロジスティック(株)の完全子会社化				
					第52・53回無担保社債を初めて「個人向け社債」として発行				

年	月	日	不動産	月	日	交通
2002 (H.14)						
2003 (H.15)	2	1	東急ワイ・エム・エムプロパティーズ(株)を吸収合併	1	14	沿線駅前に保育所を誘致、1号園の「パレット保育園岡山」が開園
	3	27	渋谷東急文化会館の土地(5,103㎡の7割)を信託設定し、信託受益権を譲渡	3	19	ダイヤ改正(田園都市線の営団地下鉄半蔵門線を介した東武伊勢崎線・日光線との相互直通運転の開始、東横線の「通勤特急」の新設と特急の停車駅に中目黒駅を追加)
	4	9	「第12回地球環境大賞」の「環境大臣賞」を受賞	3	21	「電車とバスの博物館」を宮崎台に移転し、開業
	5	16	「東急多摩田園都市における50年にわたる街づくりの実績」で、2002年度日本都市計画学会賞石川賞を受賞	3	28	東急バス(株) 渋谷区初のコミュニティーバス「ハチ公バス」の運行を開始
	6	27	「東急スクエアガーデンサイト」の「南館」を開業	3	—	目黒線に新形式車両5080系を導入
	6	27	伊勢原市稲荷久保第二土地区画整理組合設立認可	4	1	(株)じょうてつ 札幌市交通局から藻岩営業所の土地、建物とバス路線(9路線24系統)を譲り受け、運行を開始
	6	30	「渋谷東急文化会館」が閉館	4	1	(株)東急テクニカルサービス (株)東急レールウェイサービスに商号変更
				4	1	函館バス(株) 函館市交通局からのバス路線譲受が完了
				5	1	東急線の全駅を終日禁煙に変更
				7	1	電気部に駅務システム課を新設
				8	18	渋谷駅管内、中目黒駅管内の2つの駅部門、本社部門の運輸営業部サービス課でISO9001の認証を取得
				10	10	みなとみらい線との相互直通運転に向け、反町変電所を新設

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2002 (H.14)	9	8	「ミスタードーナツ鷺沼店」を閉店	4	30	(株)ながの東急百貨店 「こもる東急百貨店」の閉店、「おかや東急百貨店」の閉店・解散			
	9	30	「東急スイミングスクールふたご」を閉鎖	4	—	美鉄バス(株) 自主的に解散			
	10	20	横浜コミュニティ放送(株) 横浜市青葉区周辺を放送エリアとするFM放送局「FMサルース」を開局	7	1	東急サービス(株)と東急管財(株)が合併 東急ファシリティサービス(株)として新たなスタート			
	12	15	(株)東急ホテルチェーン 「札幌東急ホテル」を閉店	7	31	奥沢社員クラブ、鷺沼社員クラブを閉鎖			
	12	19	東急建設(株) 人間型ロボットの遠隔操作による産業車両代行運転に世界で初めて成功したと発表	10	1	東弘商事(株)の子会社(株)アド・東弘(株)東急アド・コミュニケーションズに商号変更			
	12	27	(株)ティー・エム・ディーと(株)キューフロントの全株式を買い取り、100%子会社化	10	1	東急車輛製造(株)を完全子会社化			
	12	31	テコプラザ六店舗(五反田、祐天寺、雪が谷大塚、池上、大岡山、鷺沼)を閉鎖	10	2	(株)日本エアシステムと日本航空(株)が株式移転制度により共同持株会社(株)日本航空システムを設立し経営を統合			
				10	21	グループ全従業員に向け「コンプライアンス相談」専用窓口を設置			
2003 (H.15)	3	1	会員制フィットネスクラブ「アトリオドゥーエ碑文谷」を開業	2	17	三井物産(株)とアクアクララジャパン(株)の2社と共同でアクアクララ西南(株)を設立 RO(逆浸透膜)ミネラルウォーターの製造・販売事業を開始	2	1	米国のスペースシャトル「コロンビア号」打ち上げ時に空中分解
	3	15	東急メディアステーション三店舗を閉店(31日に携帯電話販売事業を終了)	3	20	東急109(トーク)センターを「東急お客さまセンター」に名称変更、受付時間を延長	3	20	イラク戦争勃発
	4	1	5か所のゴルフ場(東急セブンハンドレッドクラブ、グランドオークゴルフクラブ、白浜ビーチゴルフ倶楽部、湯布高原ゴルフクラブ、エメラルドコーストゴルフリンクス)の営業を各運営子会社に一部譲渡	4	1	新会計システムが稼働	4	1	日本郵政公社発足
	4	1	東急スポーツシステム(株) (株)東急ゴルフ場を吸収合併 スポーツ事業の運営を一元化	3	15	新人システム「COMPANY(カンパニー)」が稼働	8	14	米国やカナダで大停電
	4	1	ホテル事業を(株)東急ホテルチェーンに営業譲渡	8	25	「ブランドマネジメント」の運用を担うブランドマネジメント委員会を設置し、本格運用を7月14日より開始	8	25	住民基本台帳ネットワークが本格稼働
	4	1	(株)東弘二葉 (株)東急ジョイガーデンを吸収合併 (株)東急グルメフロントに商号変更	9	26	東急ファシリティサービス(株) 営業譲渡により東急ホテルサービス(株)のホテル管理事業部門と自社の同部門を統合	9	26	十勝沖地震が発生(M8.0)
	4	9	東急建設(株) 竹中土木、熊谷組との3社(建設共同企業体)が「港区赤坂1丁目、六本木2丁目付近再構築工事」で機械式T字接合シールド工法によるトンネル接合を完了、実証施工成功は世界初	3	31	中期2か年計画発表	11	26	超音速旅客機コンコルドが退役
	5	1	映像制作支援事業「トウキョウC&C」を本格稼働	4	1	ゴールドパック(株)の株式を(株)ジービーホールディングスに譲渡	12	1	地上デジタル放送開始
	6	1	「ストークヒルゴルフクラブ」の営業をロイヤルヴィレッジゴルフ倶楽部に譲渡	4	1	新会計システムが稼働	—	—	SARS流行
	7	1	(株)東急レクリエーション 「渋谷エルミタージュ」を開業	4	1	新人事システム「COMPANY(カンパニー)」が稼働			
	9	26	株式交換により東急観光(株)を完全子会社化すると発表、同日付で株式交換契約を締結	4	1	「ブランドマネジメント」の運用を担うブランドマネジメント委員会を設置し、本格運用を7月14日より開始			
	9	30	(株)ストークヒルゴルフクラブと(株)ハイビスカスゴルフクラブを解散	4	1	東急ファシリティサービス(株) 営業譲渡により東急ホテルサービス(株)のホテル管理事業部門と自社の同部門を統合			
	10	1	東急車輛製造(株) 「和歌山製作所」の操業を開始	4	1	連結経営体制の転換をめざし大幅な組織改正 事業部門を「鉄道事業本部」「都市生活事業本部」に集約			
	10	1	東急スポーツシステム(株) 「東急ゴルフ場」(世田谷区)を「東急ゴルフパークたまがわ」に名称変更	5	16	コーポレート部門を「経営統括本部」「財務戦略推進本部」に再編成			
	12	1	「東京急行エコポリシー(環境に関する経営方針)」「東京急行電鉄本社環境方針」の2つを統合した新「環境方針」を制定	5	16	鉄道事業本部で組織改正 保線業務の一部を(株)東急レールウェイサービス、東急軌道工業(株)へ移管			
	12	16	「グランデコホテル&スキーリゾート」を東急不動産(株)に営業譲渡	6	28	長津田社員アパートの入居を開始、70戸全戸2LDK			
	12	18	東急不動産(株) 「東急ハーヴェストクラブ箱根甲子園」(151室)を開業	7	1	函館バス(株) 東急グループから離れる			
				7	1	東弘商事(株) (株)東急ステーションリテールサービスに商号変更			
				7	18	第1回「東急グループ環境経営推進会議」開催			
				8	4	サンフランシスコ109社を解散			
				9	1	東興不動産(株) 東急ライフィア(株)に商号変更			
				9	5	第1回「東急ブランドプロモーション委員会」を開催			
				9	10	東急リアル・エステート 投資法人が東京証券取引所に上場 東急のREIT事業がスタート			
				10	1	東急建設(株)が会社分割、不動産事業を分離、新・東急建設(株)として東証第一部に上場			
				10	7	「東急」のブランドアイデンティティを明確化			
				12	1	「東京急行エコポリシー(環境に関する経営方針)」「東京急行電鉄本社環境方針」の2つを統合した新「環境方針」を制定			

年	月	日	不動産	月	日	交通
2004 (H.16)	1	26	「日本橋一丁目ビルディング」を竣工	1	31	回数券を「区間式」から「金額式」に変更
	2	27	「日本橋一丁目ビルディング」の建物持ち分と事業実施にかかわる地位を三井不動産に譲渡	2	1	東横線とみなとみらい線の相互直通運転開始(1月30日終電後に東横線横浜～桜木町駅間を廃止、横浜駅と反町駅を地下化)
	2	27	旧「鷺沼東急グラウンド」の土地売買契約を解除	2	1	東横線で車体広告電車の運行を開始
	3	12	「セルリアンタワー」の信託受益権を譲渡	3	26	伊豆急行(株) ラッピング電車「黒船電車」の運行を開始
	3	26	稲荷前地区一団地造成(神奈川県横浜市青葉区)完了検査済	4	16	世田谷線に女性の案内係「車内アテンダント」を導入
	3	30	「日本橋一丁目ビルディング」を全面開業	4	—	東横線に新形式車両5050系を導入
	4	1	東急不動産(株)「渋谷スクエア」を開業	10	1	駅の清掃業務の委託先を東急ファシリティサービス(株)から機能子会社(株)東急レールウェイサービスに変更すると発表
	4	1	リファービッシュ(磨き直し)戸建て住宅事業「アライエ」を試験展開	12	—	上田交通(株) 上田電鉄別所線に対する助成について上田市との間で協定書を締結
	4	7	あざみ野で商業モール「悠・粋・知 三規庭」を開業			
	6	11	二子玉川東地区再開発組合の設立認可を申請			
7	29	渋谷戦略推進室が設立準備に携わったNPO法人「渋谷駅周辺地区まちづくり協議会」が設立				
8	31	(株)ティー・エイチ・プロパティーズ「名古屋東急ホテル」と「京都東急ホテル」の土地と建物を信託設定し、グループ外に信託受益権を譲渡				
10	8	商業施設「ヴェレヴ(VeLeV)」(横浜市都筑区)を開業				
2005 (H.17)	3	4	二子玉川東地区市街地再開発事業の組合設立が認可	2	10	「東横線渋谷～横浜間改良工事」が特定都市鉄道整備事業計画として認定
	3	—	「永田町二丁目地区再開発地区」の変更内容が都市計画決定	2	14	田園都市線で民鉄で初となる6ドア・座席格納車(1編成)の運行を開始
	4	26	住み替え促進事業「ア・ラ・イエ」の本格展開を開始	3	20	鉄軌道旅客運賃改定(初乗り運賃110円→120円)
	7	23	豪州のヤンチェップ地区開発計画で第1期宅地販売を開始	4	1	伊豆急行(株) 8000系車両の運転を開始
	8	—	当社、東急不動産(株)、行政により二子玉川再開発の第2期事業に関する「総合まちづくり協議会」が発足	4	27	「東急電車全線一日乗車券」発売
	11	9	「東急田園都市線・たまプラーザ駅周辺開発計画」に着工、起工式を開催	5	9	田園都市線に女性専用車両を導入
	12	28	「都市再生特別措置法」に基づく「都市再生緊急整備地域」に、渋谷駅周辺139haが認定	7	25	東横線、みなとみらい線に女性専用車両を導入
	12	—	虎ノ門一丁目のオフィスビルを取得	12	1	東急バス(株) 路線バス全線に「東急バスナビ(運行情報サービス)」を導入
2006 (H.18)	2	11	たまプラーザ駅南口に「東急電鉄ハウジングギャラリー」を開業	3	11	大井町線で電気回路のショートに伴う走行中の開扉事故発生
	3	17	犬蔵土地地区画整理組合解散認可	4	6	東横線渋谷駅、横浜駅にAED(自動体外式除細動器)を設置(主要駅に順次導入)
	3	31	伊勢原市稲荷久保第二土地区画整理組合解散認可	5	25	国土交通省に相模鉄道(株)との相互直通運転を盛り込んだ速達性向上計画の認定を申請
	4	1	駐輪場の運営・管理業務を(株)東急レールウェイサービスに移管	7	2	目黒線不動前駅～洗足駅間を地下化 16か所の踏切が解消され、武蔵小山、西小山の2駅を地下に切り替え
	10	2	「不動産活用センター自由が丘オフィス」を開業	8	31	ローソンと共同で「LAWSON+toks(ローソンプラストックス)」第1号店を田園都市線長津田駅構内に開店
	10	26	当社と(株)東急モルズデベロップメント 大井町線自由が丘駅に隣接する車庫跡地に商業施設「Trainchi(トレインチ)」を開業	9	23	武蔵小杉駅～日吉駅間を高架化
	10	27	「ビッグウィーク那須」(8棟)を開業	9	24	元住吉駅で駅の改良工事(高架化)が完成、横浜寄りに約300m移設した2面6線のホームと環境配慮型の新駅舎(太陽光発電や雨水を再利用しトイレ洗浄水に使用するなど環境に配慮)の供用開始
	11	19	「第1回渋谷音楽祭」を開催	9	25	東横線・目黒線・大井町線・池上線・東急多摩川線の5路線でダイヤ改正を実施 目黒線で急行運転を開始
				10	1	鉄道事業法改正に伴い運輸安全マネジメント制度導入、安全方針、安全管理規程を制定、「安全統括管理者」を選任
				12	1	元住吉検車区・長津田検車区・雪が谷検車区の業務を(株)東急レールウェイサービスに移管

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2004 (H.16)	2	14	東急不動産(株)と(株)イーライフデザイン 高齢者住宅事業の第1号施設としてシニア住宅「グランクレールあざみ野」を開業	1	1	渋谷戦略推進室とセキュリティ事業推進部を新設	1	12	鳥インフルエンザが国内で79年ぶりに発生
				4	1	OB会組織「東京急行清和会」を設立	3	18	九州新幹線(新八代～鹿児島中央間)開通
				4	1	障がい者の雇用促進を目的とした(株)東急ウィルを設立	4	1	帝都高速度交通営団が「東京地下鉄(株)」(東京メトロ)に改称
	2	27	(株)東急ハーブヒルゴルフクラブの株式を譲渡	4	1	メディア事業を再編、メディア事業室を廃止	10	23	新潟県中越地震発生
	3	1	「箱根ターンバイク」を営業譲渡	5	1	(株)ティー・エム・ディー 東急商業開発(株)に商号変更	10	—	イチロー、MLBでシーズン最多安打記録を達成
	3	31	東急観光(株)の株式の85.03%を譲渡	6	1	(株)よこはま東急百貨店 (株)クイーンズに商号変更	11	1	新紙幣発行
	4	1	「東横学園二子幼稚園」が「東急スイミングスクールふたこ」跡地に移転	6	26	元社長横田二郎死去	12	26	インドネシアのスマトラ沖で大地震・大津波が発生
	4	1	グランベリーモールの運営業務を(株)東急マーチャングライディングアンドマネージメントに委託	9	27	株式交換により(株)東急百貨店を完全子会社化すると発表、株式交換覚書に調印	—	—	韓流ブーム
	9	13	東急不動産(株)と(株)イーライフデザイン 介護付き有料老人ホーム「グランケアあざみ野」を開業	9	30	(株)東急ハンズの当社保有全株式(360万株)を譲渡			
	9	30	(株)東急ホテルチェーンと(株)東急ホテルマネージメント「羽田東急ホテル」を閉店	10	1	伊豆急行(株)を完全子会社化			
	10	1	(株)東急ホテルチェーン「鹿児島東急ホテル」を譲渡	10	1	個人情報保護に関する基本方針「個人情報保護ポリシー」とそれに基づく社内規定「個人情報保護規程」を制定			
	12	1	東急セキュリティ(株) 本格営業を開始	10	1	東急セキュリティ(株)を設立			
	12	1	(株)東急ホテルチェーン「羽田エクセルホテル東急」(387室)を開業	10	1	企業型確定拠出年金(企業型DC)を導入			
	12	15	東急エアカーゴ(株)の株式を譲渡						
	2005 (H.17)	4	1	東急スポーツシステム(株) スペインサッカー協会と提携した「J-フロンテッジ・フットボールスクール」を5か所で開校	2	1	育成センターの業務を(株)東急レールウェイサービスから人事育成課へ移管	2	16
				4	1	(株)東急ホテルマネージメント (株)東急ホテルチェーンのホテル事業部門を吸収、国内ホテル事業の経営と運営を一元化し、(株)東急ホテルズに商号変更	3	25	愛・地球博が開幕
7		15	「ビッグウィーク伊豆今井浜in今井浜東急リゾート」(5室)を開業	4	1	個人情報保護法施行	4	1	減損会計の強制適用
7		15	「パンパシフィックウィスラーレレッジセンター」(83室)を開業[カナダ・ウィスラー]	4	1	JR福知山線脱線事故発生	4	25	都市鉄道等利便増進法が可決・成立
				4	1	(株)東急百貨店を完全子会社化	4	27	「北海道・知床」が世界自然遺産に登録決定
				4	1	伊豆急行(株) 鉄道事業専門の伊豆急行(株)と不動産事業および付帯事業を承継する会社(のちの伊豆急不動産(株))の2社に会社分割	7	26	宇宙飛行士の野口聡一さんが宇宙へ
9		30	マレーシアの「パンパシフィックグレンマリーリゾート」の運営を終了	8	1	都市鉄道等利便増進法が施行	8	24	つくばエクスプレス開業
10		3	グループ各社の優待割引制度を「TOKYUポイント」に集約・統一したサービスを開始することを発表	10	1	道路関係4公団が民営化	10	14	郵政民営化関連法案成立
				4	1	組織改正し、リテール事業本部を新設			
				4	1	執行役員制度の導入、機構改革			
				6	21	東急ロジスティック(株)、日本貨物急送(株)、伊豆貨物急送(株)の3社の株式を(株)エスピーエスに譲渡			
				6	29	越村敏昭専務が社長に就任、清水仁会長は取締役相談役に、上條清文社長は代表取締役会長に			
				9	27	第1回「CSR経営会議」を開催			
				10	3	上田交通(株) 鉄道事業を分社化し、上田電鉄(株)を設立			
				10	25	第1回「東急グループCSR委員会」を開催			
2006 (H.18)	1	—	東急観光(株) トップツアー(株)に商号変更	1	1	会社略称を「東京急行」から「東急電鉄」に変更	2	11	表参道ヒルズ開業
	2	17	「東急グループリテール事業リファイン・プラン」を発表	1	3	第1回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本チームが優勝	3	20	会社法施行
	3	17	グランベリーモールに初めての屋内型施設「オアシススクエア」が開業(2・3階部分にシネコン「109シネマズグランベリーモール」が出店)	3	10	株東急ストア (株)札幌東急ストアを子会社化	5	1	三大都市圏の地価、16年ぶりに上昇
				4	1	渋谷開発(株)を吸収合併	9	19	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律が施行(バリアフリー新法)
				4	1	東急商業開発(株)と(株)東急マーチャングライディングアンドマネージメントが合併し(株)東急モルズデベロップメントを設立	12	20	
	3	20	大型複合ビル「PICASSO347」を「cocoti(ココチ)」に名称変更、リニューアル開業	4	18	ゴールドバック(株) ジャスダック証券取引所に株式上場			
	3	31	(株)東急ホテルズ「大阪東急ホテル」を閉店	6	1	組織改正 鉄軌道事業の安全専門部署「安全推進委員会」を新設			
	4	5	当社と東急カード(株)「TOP&(トップアンド)」のサービスを開始	7	4	東急南平台町ビル1階会議室で「東急アカデミー」リーダー育成プログラムを開講			
	4	10	東急嶮山スポーツガーデンに、多摩田園都市初のインドアテニススクール「ジュノテニスドーム嶮山」が開業	—	—	人事制度において東急バリューを策定			

年	月	日	不動産	月	日	交通
2006 (H.18)						
2007 (H.19)	1	19	高級戸建て団地「IDEARENA」販売開始	3	18	交通IC乗車券「PASMO」のサービスを開始 合わせて「オートチャージサービス」と「TOKYUポイントチャージサービス」を実施
	1	19	「たまプラーザテラス」の第1弾として商業施設「たまプラーザサウスプラザ」の一部テナントを開業(2月1日完全開業)			
	3	14	当社と東急不動産(株)が参画する「二子玉川東地区市街地再開発組合」が東京都から権利変換計画の認可を取得	3	—	鉄軌道事業、2007年3月期輸送人員が10億1849万人を記録、初の「10億人」超え
	3	29	当社と東急不動産(株)が参画する二子玉川東地区市街地再開発組合が第1期事業(二子玉川東地区第一種市街地再開発事業)の土木工事に着手	4	1	東急線で早期地震警報システムを導入
	3	30	福岡販売事務所の営業が終了	4	5	田園都市線の午前8時台の急行を準急に変更(二子玉川～渋谷駅間の各駅に停車)
	3	—	学識経験者や国土交通省、東京都、渋谷区の担当部局らで構成する「渋谷駅街区基盤整備検討委員会」を設置	4	11	相鉄線との相互直通運転で「速達性向上計画」が認定
	10	1	TCプロパティーズ(株)および(株)シティ弘前ホテル「シティ弘前ホテル」の関連資産とホテル事業を東急グループ外企業(エリアリンクとランドナーージャパン)に譲渡	4	13	田園都市線に新たに6ドア・座席格納車両を導入
	10	2	たまプラーザ駅北口に「たまプラーザテラスゲートプラザ(1期)」が開業	6	15	二子玉川第一変電所が送電を開始
				6	24	洗足池変電所が送電を開始
				11	17	東横線全駅ホームへの運行情報表示器設置を完了
				12	2	田園都市線渋谷駅の駅業務を東京地下鉄から当社に移管
				12	25	池上線と東急多摩川線で新型車両7000系2編成が営業運転開始
2008 (H.20)	3	7	「渋谷新文化街区」(東急文化会館跡地周辺地区、現:渋谷ヒカリエ)が都市再生特別地区に指定される	1	13	東横線から8000系が引退 さよなら運転を実施
	4	1	東急ホーム(株)と(株)東急アメニックスが合併、新会社名は東急ホームズ(株)	2	23	大井町線がATC化、ATSからの切り替え工事が完了
	4	10	「西小山駅ビル」を開業	3	8	三軒茶屋変電所を新設、送電を開始
				3	28	「東急お台場バス」の発売を開始
				3	28	大井町線で急行運転を開始 急行列車用に新型車両6000系を導入 田園都市線・こどもの国線でダイヤ改正を実施

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2006 (H.18)	6	9	「金沢エクセルホテル東急」の最上階に「ビッグウィーク金沢」(6室)を開業						
	6	30	マレーシアの「パンパシフィックホテルクアラルンプール新国際空港」の運営を終了						
	6	30	(株)東急ハンズ 二子玉川東地区再開発計画に伴い「二子玉川店」を閉店						
	7	31	「前橋東急イン」を閉店						
	10	1	東急不動産(株)「東急ハーヴェストクラブ那須」(144室)を開業						
	11	14	パンパシフィックホテルズアンドリゾート(株)「パンパシフィックシアトル」(160室)を開業[米国・シアトル]						
	11	30	(株)東急ホテルズ 旗艦ホテル「キャピトル東急ホテル」(東京・永田町)を閉店、43年の歴史に幕						
2007 (H.19)	2	1	フィットネスクラブ「アトリオドゥーエたまプラーザ」が開業	1	1	業務組織を3事業本部体制に一部改正 主計部に「財務報告に係る内部統制事務局」を設置	1	1	観光立国推進基本法が施行 防衛省発足
	3	27	当社、(株)東急百貨店、伊勢丹の3社が(株)東急百貨店と伊勢丹の業務提携で基本合意書を締結	3	31	草軽交通(株) 草軽リゾートサービス(株)の全株式を大江戸温泉物語(株)に譲渡	2	18	第一回東京マラソン開催
	3	30	パンパシフィックホテルズアンドリゾート社の全株式をシンガポール企業に譲渡することを発表	3	31	上田交通(株) (株)鹿教湯温泉ホテル東急を大江戸温泉物語(株)に譲渡	3	6	北海道夕張市が財政再建団体に
	3	—	福岡県筑紫野に展開していた大型ショッピングセンター「筑紫野とうきゅう」を閉店して外部に売却	3	31	(株)伊豆急ハウジングが(株)伊豆急メンテナンスを吸収合併	3	31	東京ミッドタウン開業
	4	1	東急セキュリティ(株)「パスモ」を利用した新サービス「キッズセキュリティ」を開始	4	1	伊豆急不動産(株) 伊豆バイオパーク、伊豆急スポーツセンター、伊豆急マリン、ルネッサ採取高原の4事業を加森観光(株)に譲渡	9	—	渋谷区が「渋谷駅中心地区まちづくりガイドライン」を発表
	5	16	「博多東急イン」を閉店	4	1	東急不動産(株) 有料老人ホーム「ライフニクス高井戸」を経営する(株)ライフシステムズの全株式を取得、連結子会社に	10	1	郵政民営化がスタート
	6	1	(株)東急ホテルズ「パンパシフィックホテル横浜」(現:「横浜ベイホテル東急」)を直営化し、名称を「パンパシフィック横浜ベイホテル東急」と改称	5	31	東急不動産(株) 有料老人ホーム「ライフニクス高井戸」を経営する(株)ライフシステムズの全株式を取得、連結子会社に			
	6	6	(株)東急ホテルズ 宿泊特化型ハイグレードビジネスホテルをめざした新ブランド「ホテル東急ビズフォート」を立ち上げ	6	29	東急不動産(株) 有料老人ホーム「ライフニクス高井戸」を経営する(株)ライフシステムズの全株式を取得、連結子会社に			
	7	21	東急不動産(株)「東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢アネックス」(26室)を開業	12	12	東急アセットマネジメント(株)を設立			
	10	5	「ビッグウィーク斑尾フレンズ」(5室)を開業						
	10	5	当社、(株)東急百貨店、(株)東急ハンズがJR町田駅周辺地区の東急グループ商業施設を再編 (株)東急百貨店「町田東急ツインズ」を開業						
	10	6	(株)東急モルズデベロップメント「SHIZUOKA109」を開業						
	10	31	(株)東急百貨店「きたみ東急百貨店」を閉店						
	11	3	東急病院を大井町線・目黒線大岡山駅上に移転、開業、日本初の駅上病院						
	12	1	東急セキュリティ(株) キッズセキュリティ「エキッズ」のサービス提供を開始						
	12	8	(株)東急ホテルズ「白馬東急ホテル」をリニューアル開業 露天風呂を新設						
2008 (H.20)	2	15	広告媒体ブランド「TOKYU OOH」をスタート	1	24	(株)白浜ビーチゴルフ倶楽部を解散	4	1	後期高齢者医療制度発足
	3	—	日吉東急百貨店を「日吉東急アベニュー」に、港北東急百貨店S.C.を「港北TOKYUS.C.」に改称	3	20	東横車輻電設(株) 東急テクノシステム(株)と商号変更	6	14	東京メトロ副都心線が開業
				4	1	「資産ポートフォリオ委員会」発足	7	7	北海道洞爺湖サミット開幕
				5	28	東急ウェルネス(株)を設立し、シニア住宅事業に参入	9	15	リーマン・ブラザーズが経営破綻(リーマンショック)
							10	—	日本人4人がノーベル賞受賞

年	月	日	不動産	月	日	交通	
2008 (H.20)	4	17	「二子玉川東地区第一種市街地再開発事業」の街全体の名称「二子玉川ライズ」を発表	3	30	横浜市営地下鉄グリーンラインが開業、日吉駅で連絡改札口の供用を開始	
	4	23	「レミィ五反田」を開業	4	1	鉄道現業部門の制服を変更	
	6	—	「渋谷駅街区基盤整備方針」を策定	5	27	「東急線運行情報メール」の配信を開始	
	7	—	「道玄坂一丁目駅前地区」市街地再開発準備組合が設立	6	22	目黒線が日吉駅まで延伸 目黒線・東横線でダイヤ改正を実施	
	7	—	「二子玉川東第二地区」市街地再開発組合が認可・設立	9	—	新旗の台変電所を新設、送電開始	
	8	29	「東急銀座二丁目ビル」を竣工				
	11	14	筑紫野南地区一団地造成(福岡県筑紫野市)開発許可				
	11	—	豪州でジュンダラップからヤンチェップ地区南部地区まで続く幹線道路(マミオン道路)が開通				
	2009 (H.21)	1	19	東急不動産(株)と(株)東急コミュニティー 東急不動産SCマネジメント(株)を設立	6	12	終電後から15日初電前にかけて、田園都市線複々線化の「溝の口駅付近切替工事」を実施
		2	9	東急線沿線を中心としたエリアで賃貸住宅事業への本格参入を発表 ブランド名は「STYLIO(スタイリオ)」	7	11	大井町線を溝の口駅まで延伸
4		24	「東急中延駅前ビル」が開業	9	9	たまプラーザ駅南口バスターミナルを供用開始	
5		30	「東急電鉄ア・ラ・イエセンター」を開業、「イツコムスポットたまプラーザ」(イツ・コミュニケーションズ(株))、「東急グリーンシステムガーデン倶楽部」(東急グリーンシステム(株))を併設	10	3	たまプラーザ駅北口バスターミナルを供用開始	
6		29	大和市下鶴間山北土地区画整理組合解散認可	10	3	たまプラーザ駅東改札供用開始	
6		30	「渋谷新文化街区プロジェクト推進協議会」は「渋谷新文化街区プロジェクト」の新築工事に着手	10	11	東急バス(株) 大田区コミュニティバス「たまちゃんバス」の運行を開始	
6		—	「渋谷駅街区」が都市計画決定	12	1	田園都市線「早起き応援キャンペーン」実施	
7		8	東急文化会館跡地周辺地区の共同開発事業「渋谷新文化街区プロジェクト」の起工式を開催				
7		31	東急不動産(株) オフィスビル「渋谷プレイス」が完成				
9		28	「東急電鉄住まいと暮らしのコンシェルジュ」1号店を武蔵小杉駅構内に開設				
10		22	「たまプラーザテラスゲートプラザ(2期)」が開業				
12		7	賃貸マンション「スタイリオ池尻大橋」が開業				
2010 (H.22)		4	14	渋谷新文化街区プロジェクトのビル名称を「渋谷ヒカリエ」に決定	1	5	池上線・東急多摩川線で新造車両7000系を1編成追加導入
	4	15	「東急虎ノ門ビル」を竣工	3	2	東急線のすべての踏切に「非常ボタン」の設置完了	
	7	31	「永田町二丁目計画(東急キャピトルタワー)」が「キャピトル東急ホテル」の跡地に竣工	4	7	「TOKYUモバイル」を開業	
	8	4	当社含めた6社 二子玉川地区をモデルとした「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」を設立	7	31	東急バス(株) 「バス共通カード」の利用を終了	
	9	7	筑紫野南地区一団地造成(福岡県筑紫野市)完了検査済	9	3	東急線の鉄道線全駅にAEDを設置	
	9	17	「武蔵小山駅ビル」を開業				
	10	7	「たまプラーザテラスゲートプラザ(3期)」が開業				
	10	14	「東京都市計画事業 渋谷駅街区土地区画整理事業」が東京都から事業認可				
	11	20	「スタイリオ下丸子」が開業				
	12	—	「渋谷駅街区」土地区画整理事業施行地域全域で仮換地指定を実施				

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2008 (H.20)	4	1	東急カード(株) クレジット一体型PASMO「TOP&ClubQ JMBカードPASMO」のサービス開始	7	1	(株)東急ストアを完全子会社化	11	17	渋谷マークシティ2階連絡通路に岡本太郎作の巨大壁画「明日の神話」が公開
	4	4	「青葉台東急スクエア」に「アトリオドゥーエ青葉台」が開業						
	4	26	東急不動産(株) 新ブランド「VIALA」の第1号として「東急ハーヴェストクラブVIALA箱根翡翠」(70室)を開業						
	6	2	(株)東急ハンズ 新規業態「ハンズビー」の1号店を「札幌ステラプレイス」内に開業						
	10	15	東急セキュリティ(株) 高齢者見守りサービス「シニアセキュリティ」の提供開始						
12	10	(株)キッズベースキャンプの全株式を取得し、学童保育事業に参入							
2009 (H.21)	4	1	(株)キッズベースキャンプ 東急線沿線に学童保育施設「キッズベースキャンプ」の5施設を新規開業、計14施設に	4	1	本社部門全体でスライド勤務を本実施	4	—	新型インフルエンザが世界的に流行
	4	1	(株)五島育英会 武蔵工業大学と東横学園女子短期大学を統合し、名称を「東京都市大学」に変更	4	1	連結経営の強化を図るため組織改正や人事配置を実施	5	21	裁判員制度が開始
	4	1	(株)東急ホテルズ ホテル東急ビズフォートブランドの第1号店「ホテル東急ビズフォート那覇」(215室)を開業	5	19	連結子会社の地方バス事業、タクシー事業を譲渡することなどを発表	7	8	ラクイラ・G8サミットで「核なき世界」協調声明
	6	20	(株)東急百貨店 「たまプラーザテラスノースプラザ」として営業を開始	5	29	上條清文会長が日本民営鉄道協会の会長に就任	9	1	消費者庁発足
	8	27	(株)東急ホテルズ 「ホテル東急ビズフォート博多」(204室)を開業	10	1	地方バス事業、タクシー事業などを経営する連結子会社の株式を譲渡	9	16	民主党政権が発足
	9	23	「たまプラーザ東急ショッピングセンター」が27年の歴史に幕を下ろし閉店	10	30	(株)東急ストアと当社 (株)札幌東急ストアの株式を(株)アークスに譲渡	9	22	鳩山首相が国連で温室効果ガス25%削減(1990年比)を宣言
	10	22	東急スポーツシステム(株) 「アディダスフットサルパーク池袋」を開業						
	10	22	「いわき東急イン」を閉店						
	10	30	(株)東急百貨店 「たまプラーザテラス」の1号店を「たまプラーザテラスゲートプラザ」に開業						
	10	31	(株)東急ホテルズ 「和歌山東急イン」の運営をホテル運営会社ホスピタリティオペレーションズに移管						
	11	1	(株)東急百貨店 「たまプラーザテラス」の1号店を「たまプラーザテラスゲートプラザ」に開業						
	12	10	(株)五島育英会 「東急自動車学校」を多摩市に移転開業 愛称は「東急ドライビングスクール」						
	2010 (H.22)	3	27	東急不動産(株) 神戸市北区に「東急ハーヴェストクラブ有馬六彩」(109室)と「東急ハーヴェストクラブVIALA annex有馬六彩」(25室)を開業	3	13	JR東日本 横須賀線「武蔵小杉駅」設置	3	13
3		—	学生証や社員証などに利用できる「PASMO付ICカード」の発行を開始	3	31	高速増殖原型炉「もんじゅ」14年ぶりに運転再開	3	31	高速増殖原型炉「もんじゅ」14年ぶりに運転再開
4		28	「二子玉川ライズ」で「オークモール」「パースモール」が開業	5	6	小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還	5	6	高速増殖原型炉「もんじゅ」14年ぶりに運転再開
5		25	(株)東急グルメフロント シンガポール発の高級ティーサロン「TWG Tea自由が丘」(日本1号フランチャイズ店舗)を開業	6	13	羽田空港新国際線ターミナルビル開業	6	13	小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還
9		1	サービス付きシニア住宅の第1号施設「東急ウェリナ大岡山」が東急病院の跡地に開業	10	21	東北新幹線(東京～新青森間)全線開通	10	21	羽田空港新国際線ターミナルビル開業
9		9	(株)東急百貨店 渋谷本店(5～8階)を改装開店、7階に渋谷地区最大級の書籍売場「丸善&ジュンク堂書店」が出店	12	4		12	4	東北新幹線(東京～新青森間)全線開通

年	月	日	不動産	月	日	交通
2010 (H.22)						
2011 (H.23)	2	15	「東急銀座二丁目ビル」を東急リアル・エステート投資法人へ譲渡	3	11	東日本大震災発生により東急線は全線で運転を見合わせ。同日22時30分から全線で順次運転を再開し、終夜運転を実施
	3	8	二子玉川東地区第一種市街地再開発事業(第1期)が竣工	3	14	計画停電により一部区間・時間帯の運休や運転本数を削減
	3	19	「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」を開業	5	9	東急教習所と育成センターの事務所を統合
	3	31	「荏原駅前ビル」を開業	7	1	東日本大震災による電力不足に対応するため夏季限定の臨時ダイヤで運行(9月10日から池上線・東急多摩川線の平日を除き、通常ダイヤで運行。23日から全線で通常ダイヤで運行)
	4	25	「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」が「二子玉川ライズ・オフィス」8階に「カタリストBA」を開業	8	1	新丸子駅駐輪場でサイクルシェア(自転車共同利用)サービスを開始
	4	26	東急不動産株「あへのマーケットパークキューズモール」を開業	8	6	「東急線トライアングルチケット」の発売を開始
	9	30	「東急番町ビル」が竣工	10	19	第1回「鉄道技術アカデミー」が開講
	10	17	大和市下鶴間松の久保土地区画整理組合解散認可	11	1	東急バス(株) 沿線の住宅地(虹が丘、すすき野・美しが丘、犬蔵周辺地区)から池尻大橋駅・渋谷駅へ直通の通勤高速バス「TOKYU E-Liner」を開業
	10	27	ベトナム・ベカメックス社と、同国内の都市開発に関して事業検討を行う基本合意書に調印			
2012 (H.24)	1	25	渋谷駅周辺地区が都市再生特別措置法に基づく「特定都市再生緊急整備地域」に追指定	1	26	東急線全駅で駅ナンバリングを導入
	2	10	「みどろリンク」アクションの募集を開始	2	26	検測車「デヤ7200・デヤ7290さよなら運転」を実施
	3	30	「宮下町アパート跡地事業」の応募グループの一員(代表企業)として応募、事業予定者に選定	3	3	大井町駅にホームドアを設置、運用開始
	4	26	「渋谷ヒカリエ」を開業	4	9	伊豆急行線「オモシロ駅長」が決定
	5	—	初の定期借地権分譲マンション「ドレッセたまプラーザテラス」一般販売開始	4	11	「GAKUDAI KOUKASHITA」が開業
	6	12	当社と横浜市が共同で推進する「次世代郊外まちづくり」第1号のモデル地区をたまプラーザ駅北側地区に決定	4	11	第1回「鉄道技術アカデミー」で運輸部門への提案発表会を開催
	7	4	「武蔵小山駅前ビル」「西小山第2駅ビル」を開業	4	14	新しい総合検測車「TOQ i(トークアイ)」がデビュー
	10	11	「東急ウェリナ旗の台」を開業	8	28	5000系をモチーフにした東急線のマスコットキャラクターが誕生。ホームページ専用サイトで愛称を募集
				8	30	東急線の全線・全駅で公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスを整備
				9	28	第1回「運転士技能コンクール」を上町と元住吉で開催
				9	30	世田谷線IC乗車券「せたまる」使用終了
				10	5	国土交通省から、相模鉄道(株)との直通線(のちの相鉄・東急新横浜線)の工事施行認可を取得
				11	11	東急線マスコットキャラクターの愛称が「のるん」に決定
				12	23	中目黒駅で横浜方面に改札を増設
2013 (H.25)	1	23	「渋谷駅地区 駅街区開発計画」の名称で「都市再生特別地区」の都市計画提案	2	1	「乗ってタッチTOKYUポイント」サービスを開始
	1	23	「渋谷駅南街区」に関する「都市再生特別地区」の都市計画提案	3	15	渋谷～代官山間地下化切替工事
	1	23	「道玄坂一丁目駅前地区」に関する「都市再生特別地区」の都市計画提案	3	16	東横線と東京メトロ副都心線、東武東上線、西武有楽町線・池袋線の相互直通運転を開始
	3	29	東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)との3社で「渋谷駅街区」の共同ビル開発に関する事業合意締結	3	16	「東急線アプリ」開設
	3	—	西豪州ヤンチェップの宅地開発併合事業が「UDIA ナショナルアワード」の大規模住宅開発部門で全豪最優秀プロジェクトに選出	4	10	二子新地～高津間の高架下を利用したプロムナードを開通
	4	2	「武蔵小杉東急スクエア」を開業「東急電鉄住まいと暮らしのコンシェルジュ」「テコプラザ武蔵小杉東急スクエア店」開店	4	26	東横線に特別仕様車「Shibuya Hikarie号」デビュー
	4	19	ベトナム・ビンズン省でのマンションプロジェクト「ソラ・ガーデンズI」販売開始	5	14	次世代ステンレス車両「sustina(サスティナ)」シリーズ(5050系5576号車)を導入
	6	17	「渋谷駅地区駅街区」「渋谷駅南街区」「渋谷駅地区道玄坂街区」の3街区、都市再生特別地区の都市計画決定	10	11	田園都市線つきみ野駅で昇降式ホームドアの試験運用を開始
	6	19	「次世代郊外まちづくり基本構想2013-東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン」を策定			
	6	19	次世代校外まちづくり「住民創発プロジェクト」を開始			
	6	—	「渋谷駅地区駅街区開発計画」が都市計画決定			
	6	—	「渋谷駅南街区」が都市計画決定			

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2010 (H.22)	10	7	イツ・コミュニケーションズ(株)「たまプラーザテラスゲートプラザ(3期)」にCATV業界初のクロスメディアスタジオ「TSCOMスタジオたまプラーザ」を開業						
	10	22	(株)東急ホテルズ 東急キャピトルタワーに最上級「ザ・キャピトルホテル東急」(251室)を開業						
2011 (H.23)	2	25	レンタル収納の第1号店「クラモ鷺沼」が田園都市線宮前平～鷺沼駅間の高架下に開店	4	1	取締役社長に野本弘文専務取締役が就任、越村敏昭取締役社長が取締役会長に、上條清文取締役会長が取締役相談役にそれぞれ就任	3	11	東日本大震災発生(M9.0)
	3	19	「東急電鉄住まいと暮らしのコンシェルジュ」と「TSCOMスポット」が「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」内に初の共同出店	4	—	シロキ工業(株)の株式の一部をトヨタ自動車(株)とアイシン精機(株)に譲渡	3	12	九州新幹線(博多～新八代間)開通
	3	28	「東急セミナーBE渋谷」を閉校	6	6	勤務時間を1時間30分繰り上げる「東急サマータイム」を実施(8時始業)	5	24	PFI法(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)の改正案が可決・成立
	4	1	東急カード(株)のポイント事業を会社分割により当社が承継				7	18	サッカー日本女子代表などでこジャパンがW杯優勝
	5	20	(株)東急ストア 新業態「フレルさぎ沼」を開店				7	24	地上波テレビのアナログ放送終了、デジタル放送へ移行
	5	27	(株)東急ストア 「フレル・ウィズ自由が丘」を開店				11	30	震災復興のための復興財源確保法成立
	10	7	(株)ジュピターテレコム(J:COM)と共同で横浜ケーブルビジョン(株)の株式を取得(J:COM51%、当社49%)				12	18	米軍がイラクから撤退完了
2012 (H.24)	4	2	東急ウェルネス(株) 新たにデイサービス事業に参入し、第1号店舗「オハナ池尻大橋」を開業	3	1	ベトナム・ベカメックス社と合併でベカメックス東急社を設立	3	1	ピーチ・アビエーション運航開始
	4	18	横浜市と「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定(まちづくりの包括協定)を締結	3	1	伊豆急グループの中間持株会社として伊豆急ホールディングス(株)(当社完全子会社)を設立	5	22	東京スカイツリー開業
	6	1	宅配スタッフ「ベルキャスト」が自宅へ商品やサービスを届ける新業態ホーム・コンビニエンスサービス「東急ベル」をスタート	3	27	中期3か年経営計画「～創る、繋ぐ、拓く～」を発表	10	—	渋谷区が「渋谷駅中心地区基盤整備方針」を公表
	7	14	住民参加による「次世代郊外まちづくりキックオフフォーラム」を開催	4	1	中期3か年経営計画を推進するための機構改革を実施	12	2	中央自動車道笹子トンネルで崩落事故
	7	18	「東急シアターオーブ」を開業 オープニング作品は「ウエスト・サイド・ストーリー」	4	2	東急車輛製造(株)の全株式をJR東日本に売却	12	26	自公連立政権が発足
	8	1	(株)東急ビッグウィークステーション「フレックスポイント」の発売開始	4	23	渋谷エリアに外国人向け観光案内所を設置			
	8	15	東急商務諮詢(上海)有限公司のオフィスを開設	5	10	中国に当社100%子会社として東急商務諮詢(上海)有限公司を設立			
	10	—	東急スポーツシステム(株)「東急嶮山スポーツガーデン」の屋外テニスコート9面とフットサル施設2面およびクラブハウスを移転開業	11	1	白馬観光開発(株)をグループ外に売却			
	11	1	「東急ベル」のサービスとして「家ナカお助けサービス」を開始	12	5	東急不動産(株) インドネシアにトウキョウ・ランド・インドネシア社を設立			
2013 (H.25)	3	31	東急百貨店東横店東館を閉店	4	—	東急不動産 TTL Residences社を設立 インドネシアにおけるホテルレジデンス事業に本格参入	2	1	米国産牛肉の輸入規制緩和
	4	18	東急ベルのサービスエリアを東急線沿線の大半に拡大	4	4	日銀、過去最大の量的・質的金融緩和	4	4	政策決定
	5	10	東急ベルで「東急ストアネットスーパー」サービスを開始	10	1	富士山が世界文化遺産登録	6	22	
	10	3	「東急嶮山スポーツガーデン」の一部をリニューアルし、「あざみ野ガーデンズ」を開業				9	8	2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催決定
	11	17	宮古観光開発(株) 沖縄県宮古島市に「まいばり宮古島熱帯果樹園」を開業	12	—	特定秘密保護法成立	12	6	

年	月	日	不動産	月	日	交通
2013 (H.25)	6	12	「道玄坂一丁目駅前地区」都市再生特別地区の都市計画決定 「東急虎ノ門ビル」を東急リアル・エステート投資法人へ譲渡 東急線駅構内・駅近隣商業施設の新たなブランド「エトモ」の 1号店を江田駅に開業			
2014 (H.26)	4	18	道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発組合の設立が認可	1	1	相鉄・東急直通線事業のうち、日吉駅付近の工事に着手
	5	27	渋谷駅南街区土地区画整理組合設立認可	2	15	元住吉駅で列車衝突事故発生
	7	14	代官山の東横線線路跡地で「(仮称)代官山東横線上部開発計 画」を着工	2	15	大雪の影響によりこどもの国駅でホーム屋根が落下
	7	31	当社、JR東日本、東京メトロの3社による渋谷駅街区開発計 画Ⅰ期(渋谷スクランブルスクエア東棟)の起工式を開催、同日 に「変わりゆく渋谷」記者説明会を開催	2	28	下神明駅でエレベーターの供用を開始
	10	1	タイでの賃貸住宅事業実施に向け、現地会社と合併会社サハ 東急社を設立	3	16	学芸大学駅のホームドアを供用開始
				4	1	消費税増税に伴う鉄軌道運賃改定(IC運賃導入)
				4	1	東急バス(株) 消費税増税(5%→8%)に伴う運賃改定(IC運 賃導入)
				4	28	渋谷駅地下1階コンコースに「渋谷ちかみちラウンジ」を開設
				9	20	ベカメックス東急バス社 トウヤモット市街のベカマック スタワーからピンズン新都市内の東部国際大学まで走る路 線バス「KAZESHUTTLE」を暫定運行開始
				12	1	東急バス(株) 都内バスの運賃改定(山手線内・都内均一)
				12	19	ベカメックス東急バス社 「KAZESHUTTLE」を本格運行 開始
2015 (H.27)	1	6	ベカメックス東急社 ピンズン新都市の商業施設「hikari」が 第1期開業	2	12	元住吉駅列車衝突事故から1年を受けて、第1回「東急安全 の日」を開催
	3	22	東急不動産(株)、東急不動産SCマネジメント(株) 「東急プラザ 渋谷」を閉館	3	9	東急セキュリティ(株)と東急バス(株) 「エキップ」を東急バス の路線バスに拡大 バスでのサービス導入は日本初
	3	27	東急不動産(株)と東急不動産SCマネジメント(株) 「キューブ ラザ原宿」を開業	4	1	鉄道事業の広報戦略として「いい街いい電車プロジェクト」 を開始
	3	30	渋谷宮下町リアルティ(株)(大成建設(株)、サッポロ不動産開発(株)、 東急建設(株)、当社が出資)が推進する「渋谷宮下町計画」を着工	7	1	東急トランセ、ハイグレード観光バス「東急トランセプレミ アム」の運行を開始
	3	31	ベカメックス東急社 初のマンションプロジェクト「SORA gardensI」(406戸)が竣工	9	11	東急グループと前田建設工業、豊田通商で構成された東急前 田豊通グループが、「仙台空港特定運営事業等」に係る公募手 続きで優先交渉権者に選定
	4	1	東急グループの賃貸住宅事業を統合した新会社東急住宅 リースが営業開始	9	30	東急前田豊通グループが「仙台空港特定運営事業等」に関す る国土交通省と基本協定を締結
	4	17	「LOG ROAD DAIKANYAMA (ログロード代官山)」が第1 期開業	10	31	宮前平駅ホーム(下り)にてホームドアを運用開始 田園都 市線では初
	4	24	二子玉川ライズの第2期事業の核となる商業施設「二子玉川 ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケット」を開業	12	1	訪日外国人限定「東急ワンダーオープンチケット」の販売を 開始
	4	27	東急不動産(株)と東急不動産SCマネジメント 大阪市の日生 球場跡地に「もりのみやキューズモールBASE」を開業	12	1	仙台国際空港(株) 国土交通省と仙台空港の公共施設等運営 権実施契約を締結
	5	3	二子玉川ライズ・ショッピングセンター・テラスマーケッ トの第2弾で「葛屋家電」が開業			
	6	2	川崎市と「東急沿線まちづくり」に関する包括連携協定を締結			
	6	20	「スタイリオ元住吉II」を開業 シェアハウス・デイサービ ス・保育園を融合した新しいコミュニティ賃貸マンション			
	6	22	二子玉川ライズへの楽天(株)本社移転に先駆けて「楽天クリ ムゾンハウス」の開所式を実施			
	7	2	渋谷駅街区開発計画Ⅰ期(東棟)に日本最大級規模の屋外展 望施設を設置することを発表			
	7	17	「二子玉川エクセルホテル東急」を開業 二子玉川ライズの 全施設が完成			
	7	21	「渋谷駅南街区プロジェクト」の起工式を実施、8月から工事着手			
	8	5	東急不動産(株) インドネシア・西ジャワ州・ブカシ県で進め るプロジェクト「SAKURA REGENCY3」の街開きを実施			
	8	5	二子玉川ライズ・タワーオフィスが「LEED NC (新築ビル部 門)」のゴールド認証を取得			
	9	30	都立大学駅の高架下に商業施設「ToritsuNade (トリツナ ド)」を開業、屋上に自転車駐輪場を整備			
	9	30	「渋谷駅桜丘口地区」市街地再開発組合設立認可			
	10	1	RCI社とタイムシェアリゾートについて契約締結(「RCI ウィーク交換プログラム」)し、海外約4,500か所のリゾート 宿泊権利が交換可能となる			
	11	16	二子玉川ライズ「LEED ND (まちづくり部門)」で世界初の ゴールド本認証を取得			
	11	25	武蔵小杉駅南口高架下に飲食店舗5テナントが入居する商 業施設を開業 駐輪場(自転車とバイク)も整備			
	12	4	サハ東急社 タイ・シラチャ郡に日本人駐在員向け賃貸住宅 「ハーモニックレジデンスシラチャ」のオープニングセレモ ニーを開催、12月から第1期69戸の入居開始			
2016 (H.28)	2	29	町田市と「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」を官民 共同で推進することに合意し協定を締結	2	1	国管理空港民営化第1号案件として仙台空港の一部事業の 運営(ビル施設の運営)開始
	2	29	「二子玉川ライズ」が「第25回地球環境大賞(グランプリ)」を 受賞	3	5	ベカメックス東急バス社 ベトナム・ピンズン新都市で新た にバス5路線を運行開始

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2013 (H.25)									
2014 (H.26)	3	1	「東急電鉄住まいと暮らしのコン シェルジュ」たまプラーザテラス店 に保険の相談窓口「東急ほけんのコン シェルジュ」を併設	2	20	ベガメックス東急社 ベカメックス 東急バス社を設立	2	20	ピンズン省統合行政センターが竣工、 省都がトゥーヤモット市からピンズ ン新都市に移転
	3	31	「エトモ自由が丘」を開業				3	7	「あべのハルカス」開業
	4	2	「小杉コアタウン」を開業				4	1	消費税引き上げ(5%→8%)
	5	2	東急スポーツシステム(株) 「アディ ダスフットサルパークたまプラー ザ」を開業				8	20	広島で豪雨災害発生
	10	4	東急不動産(株) 「東急ハーヴェスト クラブ京都鷹峯&VIALA」(133室) を開業				9	27	御嶽山が噴火
	10	20	飲食店情報検索サイト「ぐるなび」と 提携				12	3	小惑星探査機「はやぶさ2」打ち上げ 成功
	12	3	「エトモ鵜の木」を開業				—	—	西豪州交通局(トランスパース)が、 ジュンダラップ線をパトラー駅(ヤ ンチェップの南約11km)まで延長
2015 (H.27)	3	1	テコプラザ全14店舗をリニューアル、 JTB総合提携店「東急トラベルサ ロン」として展開	3	25	従業員の健康管理を経営的な視点か ら考え、戦略的に取り組んでいる企 業として、「健康経営銘柄」に選定	3	14	北陸新幹線(長野～金沢間)開通
	4	1	「エトモ市が尾」を開業	3	27	中期3か年経営計画「STEP TO THE NEXT STAGE」を発表	5	28	国土交通省運輸安全委員会が2014 年2月に発生した元住吉駅列車衝突 事故について鉄道事故調査報告書を 公表
	4	1	キッズベースキャンプが自治体から の指定管理・運営委託を受け、大田 区・新宿区・港区の公設学童クラブ・ 児童館の運営を開始	4	1	新規事業創出のため社内企業家育成 制度を発足	5	29	口永良部島・新島噴火、全島民に島外 避難指示
	4	1	(株)東急ホテルズ 「東急ホテル」「エ クセルホテル東急」「東急REIホテル」 の3ブランド制に再編	7	1	ベンチャー企業を支援する「東急ア クセラレートプログラム」を開始	9	19	ラグビーW杯で日本が南アフリカ に勝利
	4	26	キッズベースキャンプと連携し、二 子玉川で休日の東急グループ事業所 内保育サービスを開始	10	1	(株)東急パワーサプライを設立 電力 小売事業への参画として、資源エネ ルギー庁に小売電気事業者の登録 申請	10	5	環太平洋経済連携協定(TPP)につい て大筋合意
	7	22	カードの名称を「TOP&」から「TOKYU CARD」に変更	11	2	東急前田豊通グループが「仙台国際 空港(株)」を設立	12	12	国連気候変動枠組条約締約国会議 (COP21)で「パリ協定」採択
	8	1	東急ホテルズ(株) 「ザ・パーク・フロ ント・ホテル・アット・ユニバーサル スタジオ・ジャパン」(598室)を開業 (運営受託)	11	11	「東急アクセラレートプログラム」初 年度の最終選考会を実施、3社を支 援企業に選出	—	—	マイナンバー制度開始
	10	13	第1回「東急リテールGM会議」を開催						
	11	25	イツ・コミュニケーションズ(株)など がConnected Design(株)を設立						
	12	7	「エトモ中央林間」を開業						
2016 (H.28)	1	12	日本初となるネットスーパー受け取 り冷蔵ロッカーを網島駅構内で試 験的に運用を開始	3	1	シロキ工業(株)の全株式をトヨタ自動 車系列の会社に譲渡	1	29	日銀がマイナス金利の導入を決定
				3	17	株式公開買付により(株)東急レクリ エーションを連結子会社化	3	26	北海道新幹線(新函館北斗～新青森 間)開通
							3	29	安全保障関連法施行

年	月	日	不動産	月	日	交通			
2016 (H.28)	4	-	タイで「ハーモニック・レジデンス・シラチャ」を開業	3	22	スマートフォンやパソコンで予約する「定期券ネット予約サービス」を開始			
			3	28	東急所属電車車内への防犯カメラの設置を開始				
			7	1	仙台空港の運営を開始				
			8	1	「東急線アプリ」内で目的駅までの所要時間実績を表示する「駅間time」を開始(鉄道業界初)				
			10	-	「駅視-vision」ケーブルテレビでの配信を含めて正式に運用を開始				
			11	1	訪日外国人向け多言語通訳サービスを、東急線全駅に一斉導入				
			12	11	戸越銀座駅の駅舎改修工事「木になるリニューアル」が竣工				
			2017 (H.29)	1	31	三島市と三島駅南口再開発の基本協定を締結	3	16	第1回「アナウンス・アテンドコンテスト」を開催
			4	11	タイの賃貸住宅「ハーモニックレジデンスシラチャ」が「子育てにやさしい住まいと環境」に海外物件で初認定	3	25	「S-TRAIN」の運行を開始	
			4	28	「渋谷キャスト」を開業	3	25	祐天寺駅急行通過線を供用開始	
5	9	次世代郊外まちづくりの活動拠点「WISE Living Lab」を開業	3	25	テロ対策への協力が評価され警視総監賞を受賞				
6	3	一棟まるごとリノベーションマンション新ブランド「DRESSER Reno(ドレッセReno)」が誕生	4	26	朝6時台の田園都市線臨時特急列車「時差Bizライナー」を運転し、複数企業と連携したクーポン配信で朝活を推進				
7	16	「BBQPITあざみ野ガーデンズ」を開業	7	11	横浜と伊豆を結ぶ国内最大級の観光列車「THE ROYAL EXPRESS」を運行開始				
8	1	コインパーキング上層階に保育園施設「すこやか小杉保育園」を開業	7	21	池上線沿線を活性化させる「生活名所」プロジェクトを開始				
9	-	横浜市と「環境未来都市横浜」が推進するモデル事業として「緑区十日市場町周辺地域持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の工事に本格着手	9	6	玉電開通110周年記念イベントを実施し、招き猫のラッピングや招き猫型吊り手の「幸福の招き猫電車」を運行				
10	30	中国で上海地下鉄「徐家匯(シュージャーホイ)」駅構内に駅構内開発・運営コンサルティングとして「LINE plus徐家匯」を開業	9	25	「開通90周年記念イベント池上線フリー乗車デー」を実施				
10	30		11	4	大井町線急行列車を7両編成に順次変更開始				
2018 (H.30)	3	13	「池上線五反田高架下」が開業	3	-	大井町線に新型車両6020系を導入			
			3	15	東急不動産(株)と(株)学生情報センターが学生レジデンス第1弾「キャンパスヴィレッジ椎名町」入居開始	4	19	富士山静岡空港特定運営事業等基本協定の締結(三菱地所と共同)	
			3	28	「中央林間東急スクエア」が開業(大和市の図書館・行政窓口等が入居)	8	8	鷺沼駅で「転落検知支援システム」の運用を開始	
			5	11	第1回都市創造本部安全大会を開催	9	19	日本初の鉄道保守管理システムを当社、伊豆急行(株)と首都高グループが共同開発、伊豆急行線全線で実証実験を開始	
			6	18	東京都の「起業家による空き家活用モデル事業」のコーディネーター事業者に選定	11	23	「生活名所」プロジェクトのイベント第2弾として「池上線全線祭り」を開催	
			7	11	渋谷スクランブルスクエア(株)、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東京都市大学の6者で産学連携でのイノベーション創出や発信およびクリエイティブ人材の育成を目的に連携事業協定を締結	12	13	神奈川東部方面線の路線名を、相鉄区間を「相鉄新横浜線」、当社区間を「東急新横浜線」と発表	
			9	13	「渋谷ストリーム」と「渋谷ブリッジ」を開業	12	14	大井町線で有料座席指定サービス「Q SEAT」を開始	
			10	1	「東急祐天寺駅ビル」を開業				
			10	1	横浜市、昭和大学と藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定を締結				
			10	11	地域利便施設「CO-NIWAたまプラザ」を開業				

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般		
2016 (H.28)	4	1	東急グループの顧客会員組織「TOKYU ROYAL CLUB」を新設	9	1	働き方改革の一環としてサテライトオフィスでの勤務を導入	4	14	熊本地震発生		
			(株)東急パワーサプライ「東急でんき」のサービス開始	10	25	(株)東急ホテルズ・アジア社を設立	4	20	交通政策審議会答申第198号において、空港アクセスの利便に資するプロジェクトとして、路線区間を一部修正した「新空港線」(多摩川線矢口渡駅~東急蒲田駅~京急蒲田駅~京急大鳥居駅)が答申		
			雪が谷大塚駅上にキッズベースキャンプとカルチャースクール「東急セミナーBE」の複合施設を開業	11	14	東急不動産ホールディングス(株) (株)学生情報センターの全株式を取得					
			(株)ぐるなび、東京地下鉄(株)などと、訪日外国人向け観光情報サービスを提供するWEBサイト「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOKYO」を開設	4	13				10	8	熊本県の阿蘇山中岳が36年ぶりに爆発的噴火
			「エトモ大井町」を開業	4	27						
			「社内起業家育成制度」第1号案件として会員制サテライトシェアオフィス事業「NewWork」を開始	5	20						
			沿線の名所を紹介するWEBサイト「TOKYU PLUS+」を開設	6	1						
			「社内起業家育成制度」第2号案件として翻訳・ローカライズ事業「YaQcel(ヤクセル)」を開始	6	15						
			(株)南東京ケーブルテレビ (株)ケーブルテレビ品川に商号を変更	7	1						
			(株)東急イーライフデザインが在宅サービス拠点「ホームケア横浜」を開業	10	5						
			「中目黒高架下」を開業	11	22						
2017 (H.29)	2	12	「南町田拠点創出まちづくりプロジェクト」に伴い「グランベリーモール」を開店	4	3	(株)東急モータースデベロップメントの会社分割により109事業に特化した(株)SHIBUYA109エンタテインメントを設立	2	24	プレミアムフライデー開始		
			「緑が丘エキナカ保育園」を開園	4	1	前田建設工業(株)と合併会社グローバル・インフラ・マネジメント(株)を設立	4	1	都市ガス小売りが完全自由化		
			(株)東急ビッグウィークステーション(株)東急シェアリングに商号変更、同時にサービス名を「ビッグウィーク」から「東急パークションズ」に改称	4	1	パナソニック(株)と合併で(株)リンクレイマーケティング(現:TPコンテクストマーケティング)を設立	6	9	天皇退位特例法が成立		
			「渋谷ヒカリエ」が第7回日本SC大賞で銀賞を受賞	4	3	株式併合(2株→1株)および単元株式数の変更(1,000株→100株)を実施	9	1	九州北部豪雨災害発生		
			「新宿TOKYU MILANO」跡地に(株)バウダイナムコエンターテインメントによるVRなどの最先端技術を活用した施設「VR ZONE SHINJUKU」を開業	5	25	第1回「東急グループ感謝のつどい」を開催	10	1	米国・ラスベガスで銃乱射事件		
			企業連合「コネクティッドホームアライアンス」を設立	7	14	「東急電鉄(連結)ダイバーシティ宣言」を制定	12	19	上野動物園のパンダ、シャンシャンが一般公開開始		
			「東急ウェリナケア尾山台」を開業	7	25	LGBTへの取り組みが評価されPRIDE指標2017「ゴールド賞」を受賞					
			マウナラニリゾート(オペレーション)社の保有・運営するホテル(マウナラニベイホテル&バンガローズ)、ゴルフ場(フランス・H・I・I・ブラウンコース)を譲渡	8	1	「東急グループ・スポGOMI大会@渋谷」を開催					
			タイ・サンシリ社と合併会社を設立し、バンコクにおける分譲住宅事業に着手	8	7						
			武蔵小山駅ビルを「エトモ武蔵小山」としてリニューアル	9	14						
			2018 (H.30)	1	-	「東急ウェリナケア自由が丘」を開業	3	27	中期3か年経営計画「Make the Sustainable Growth」を策定	3	29
4	1	(株)キッズベースキャンプ 保育園1号園「KBCほいくえん大井町」を開業	4	1	野本弘文取締役社長 社長執行役員が取締役会長に、高橋和夫取締役 専務執行役員が取締役社長 社長執行役員に就任	6	12	史上初の米朝首脳会談が実現			
5	1	(株)東急ホテルズ「東京ベイ東急ホテル」(638室)を開業(運営受託)	6	13	成人年齢を18歳に引き下げる改正民法が成立	6	13	成人年齢を18歳に引き下げる改正民法が成立			
6	1	(株)東急ホテルズ「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」(186室)を開業	6	15	大手民鉄各社人材の相互受入スキーム「民鉄キャリアトレイン」に参画	6	1	西日本豪雨災害発生			
7	18	「社内起業家育成制度」第4号案件として未活用壁面による街ジャックメディア開発事業「ROADCAST(ロードキャスト)」を開始	7	1	基幹職の休暇取得を促進する「ポジティブワン」を導入	9	13	豊洲市場が開場			
9	10	「テコプラザ渋谷店」が開店 「テコプラザ」はすべて「東急トラベルサロン」へ業態変更	7	23	働き方改革に対する国家プロジェクト「テレワーク・テイス」に参加	12	1	4K・8Kテレビ放送開始			
				8	24	富士山静岡空港(株)に資本参加					

年	月	日	不動産	月	日	交通
2018 (H.30)	12	3	東急不動産(株) 東急少額短期保険(株)を設立 大手デベロッパーとして少額短期保険業界に初参入			
2019 (H.31) (R.元)	3	6	大田区と「地域力を活かした公民連携によるまちづくりの推進に関する基本協定」を締結	3	25	世田谷線で日本初となる再生可能エネルギー由来の電力100%により運行開始(東北電力(株)と(株)東急パワーサプライが協力)
	6	14	「渋谷駅南街区土地区画整理組合」が、国土交通省より「まちづくり月間功労者国土交通大臣表彰」を受賞	4	1	富士山静岡空港の空港運営事業を開始
	7	1	オープンイノベーション施設「SOIL (Shibuya Open Innovation Lab・通称:ソイル)」を開業	8	9	当社が参画するコンソーシアムが北海道内7空港特定運営事業等基本協定書の締結
	7	19	東急不動産(株) 池袋エリアのランドマーク「キューブラザ池袋」を開業	9	21	東急電鉄(株) 渋谷ファーストプレイルへ本社移転
	8	28	渋谷二丁目17地区市街地再開発事業が本格始動	10	1	東急電鉄(株) 「南町田」の駅名を「南町田グランベリーパーク」に改称 田園都市線、大井町線のダイヤ改正により田園都市線の全急行列車を同駅に停車
	11	1	横浜市、東急不動産(株)、NTT都市開発(株)と「緑区十日市場町周辺地域持続可能な住宅地推進プロジェクト」の20街区を順次開業	10	1	東急電鉄(株) 鉄軌道事業の営業を開始
	11	1	渋谷スクランブルスクエア第1期(東棟)を開業	10	1	東急電鉄(株)および東急バス(株) 旅客運賃改定(消費税率8%→10%変更による)
	11	13	「南町田グランベリーパーク」がまちびらき、商業施設「グランベリーパーク」を開業	11	22	東急電鉄(株) 目黒線で新型車両3020系を導入
	12	27	三井不動産(株)を代表企業として、他6社と横浜市現市庁舎街区活用事業基本協定書を締結			
2020 (R.2)	3	23	山谷南地区(神奈川県大和市)土地区画整理組合解散認可	3	18	東急電鉄(株) モバイルPASMOサービスを開始
				3	18	東急電鉄(株) 等々力駅へのホームドア設置により、東横線・田園都市線・大井町線全64駅の設置完了
				6	1	当社が参画する北海道エアポート(株)が新千歳空港の空港運営事業を開始(北海道7空港の運営を順次開始)
				7	25	東急電鉄(株) LED蛍光灯一体型の防犯カメラ「IoTube」の全車両への導入完了
				8	28	「THE ROYAL EXPRESS ~HOKKAIDO CRUISE TRAIN~」の運行を開始
				9	8	阪急阪神ホールディングスと東急グループが協働し、ラッピング電車「SDGsトレイン2020」の運行を開始
				10	6	Apple PayのPASMOサービス開始
				11	16	広島空港特定運営事業等基本協定書締結
				12	16	東急電鉄(株)「令和2年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」内閣総理大臣表彰を受賞
2021 (R.3)	1	27	東急グループが推進する渋谷駅周辺開発が、MIPIM Asia Awards2020「Best Mixed-Use Development」部門で銅賞を受賞	1	20	東急電鉄(株) 終電時刻繰り上げを実施
				2	3	東急電鉄(株) 東急線内駅構内トイレ洗面器非接触・自動水洗浄100%達成
	3	23	「南町田グランベリーパーク」が「第1回グリーンインフラ大賞」都市空間部門で優秀賞受賞	3	25	観光案内所「WANDER COMPASS SHIBUYA (ワンダーコンパス渋谷)」が遠隔接客とAIチャットによるリモートコンシェルジュ案内を実施
	3	24	当社、前田建設工業(株)、(株)NTTドコモなどと構成する企業グループが、愛知県新体育館整備・運営等事業に関する基本協定を愛知県と締結	3	25	当社、東急テクノシステム(株)、伊豆急ホールディングス(株)などと参加する企業グループが、静岡県4市町(伊東市、東伊豆町、河津町、下田市)と無人航空機(ドローン)の活用による地方創生を目的に連携協定を締結
	3	30	地域共助のプラットフォームサービスアプリ「common (コモン)」のサービスを開始	3	28	上田電鉄千曲川橋梁復旧により別所線 上田～城下間運転再開

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2018 (H.30)	10	1	「東急上馬ビル」を開業	12	7	(株)東急レクリエーション、(株)ソニー・ミュージックエンタテインメントと「歌舞伎町一丁目地区開発計画(新宿TOKYU MILANO再開発計画)」でエンターテインメント施設の企画・運営に関する合弁会社(株)TSTエンタテインメントを設立			
	10	1	(株)東急ホテルズ 客室清掃業務を担う(株)東急ホテルパートナーズを設立						
	10	19	渋谷駅に外国人観光客向けのサービスを強化した観光案内所「WANDER COMPASS SHIBUYA」を開業						
	12	1	イツ・コミュニケーションズ(株) 光ファイバーを回線を使ったサービスでBS4K・8K放送の配信を開始						
2019 (H.31) (R.元)	1	29	「東急ベル」で地域特化型総合ECサービスを運営開始	2	23	第1回東急グループ駅伝大会「ファンラン」を開催	4	1	新元号「令和」が発表
	1	—	たまプラーザ駅北側地区を中心に日本初となる郊外型MaaSの実証実験を実施	4	1	(公財)東急財団が活動開始(3つの財団を合併)	4	9	紙幣デザインを2024年度に刷新すると発表
	3	28	「エトモあざみ野」を開業	4	25	鉄軌道事業の分社化に向けて東急電鉄分割準備(株)を設立	4	15	パリの世界文化遺産、ノートルダム大聖堂で火災
	4	1	JR東日本と共同で伊豆エリアで「観光型MaaS」の実証実験を開始(当社・JR東日本・JR東日本企画)	5	7	国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名	5	1	明仁天皇生前退位、令和に改元
	4	22	田園都市線渋谷駅に世界最大サイズの「ビッグサイネージプレミアム」を開始	6	17	渋谷のIT企業4社と協働し、渋谷区教育委員会と「プログラミング教育事業に関する協定」を締結	6	9	香港で大規模な民主化要求デモ
	5	8	スマートフォンを活用して駅の券売機で預貯金を引き出せるキャッシュアウト・サービスを開始	8	1	渋谷の街を丸ごとメディア「ROADCAST」本格運用開始	9	20	ラグビーW杯2019日本大会開催
	7	17	伊豆急グループ「ワーケーション(リゾート地でのテレワーク)」を通じた伊豆エリアの地域活性化の取り組み	9	2	東京急行電鉄(株)を東急(株)に商号変更	10	1	消費税引き上げ(10%)
	8	30	下田ロープウェイ(株) 水戸岡鋭治氏のデザイン・設計による「THE ROYAL HOUSE」を開業	9	2	長期経営構想を策定	10	31	那覇市の世界文化遺産、首里城で火災
	9	12	東急(株)を含む6社「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE TOHOKU」を開業	9	2	東急電鉄分割準備(株)を東急電鉄(株)に商号変更	11	30	相鉄・JR直通線が開業
	10	5	伊豆高原駅前にレストラン「ミクニ伊豆高原」を開業	10	25	日本で初めて鉄軌道事業を含む企業グループとして「RE100」に加盟	11	30	新国立競技場が完成
	10	9	ふるさと納税サイト「ふるさとパレット」を開業	10	29	第1回「統合報告書」を発行			
	11	1	渋谷駅周辺の利便性向上のために、新地下出入口番号の運用を開始	12	17	「東急子ども応援プログラム」を開始			
	12	1	日本初の「観光型MaaS」の実証実験Phase2を伊豆半島で実施						
2020 (R.2)	1	6	ベトナムで商業施設「MIDORI PARK SQUARE」を開業	7	1	東急不動産ホールディングス(株) ホテル・リゾート事業部の関連会社を統合し、東急リゾート&ステイ(株)を設立	1	31	英国が欧州連合(EU)を離脱
	3	31	「東急百貨店東横店」の営業を終了	3	11	新型コロナウイルス感染症の世界的流行についてWHOがパンデミック宣言	3	11	
	6	25	「東急フードショースライス自由が丘」を開業	7	22	松竹(株)と新たなBS放送局を運営するBS松竹東急(株)を設立	7	1	プラスチック製レジ袋が原則有料化
	7	7	「エトモ溝の口」を開業	7	22	観光支援策「GoToトラベル」開始	7	22	
	8	31	渋谷駅東口雨水貯留施設の供用開始	7	30	楽天(株)と共同出資で楽天東急プランニング(株)を設立	7	28	「MIYASHITA PARK」開業
	10	1	「NewWork」と(株)東急ホテルズが提携リモートワーク時のWEB会議スペースとしてホテル客室の利用を開始	10	1	新観光案内所「SHIBU HACHI BOX」を開業	10	1	
				9	16	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言に賛同	—	—	日本全国で緊急事態宣言が発令
				11	20	三井不動産(株)他と広島国際空港(株)を設立			
				12	10	「サスティナビリティボンド」を初発行			
2021 (R.3)	3	30	「エトモ池上」を開業	2	22	住友商事(株)と携帯通信事業者向けに5Gを中心とした基地局シェアリングサービスを提供するSharing Design(株)を設立	1	16	大学入学共通テストの開始
	4	9	定額制回遊型住み替えサービス「Tsugi Tsugi」(ツギツギ)の応募を開始	7	23	第32回東京オリンピック・第16回東京パラリンピック無観客で開催(～9月5日)	7	23	
	6	1	(株)ながの東急百貨店が当社の完全子会社になる	3	8	寺田倉庫(株)、三菱地所(株)、(株)TSIホールディングスと(株)MAGUS(マグアス)を設立	9	1	デジタル庁が発足
				3	9	「SDGsトレイン2020美しい時代へ号」が第12回東京野外広告コンクール東京都知事賞を受賞	11	29	政府、全世界からの外国人の新規入国停止を発表

年	月	日	不動産	月	日	交通
2021 (R.3)	3	—	「イエナカ+α」のサービスを開始	4	8	東急電鉄(株) 全従業員を対象に新型コロナウイルス感染症への感染の診断を行うPCR検査を開始
	4	1	当社を代表企業とする「しぶぎたパートナーズ」が「渋谷区立北谷公園」の指定管理者に選定され、運営業務を開始	4	30	武蔵小杉、目黒、長津田、大井町、五反田、蒲田各駅の定期券売り場の営業を終了
	4	28	NewWork事業の個人利用者向け新業態直営1号店「relarkたまプラーザ」を開業	7	1	広島空港の運営開始
	5	—	ベガメックス東急社 ベトナムで新都市高層マンション「SORAgardens II」を竣工	7	—	東急電鉄(株) 踏切障害物検知装置(3D式・レーザー式)の設置100%を達成
	6	25	サービスアパートメント「Re-rent Residence渋谷」の賃貸を開始	12	1	東急電鉄(株) 安全教育施設「安全共創館」を開業、「安全方針」を改定
	7	15	渋谷駅東口エリアの歩行者デッキ「渋谷ヒカリエ ヒカリエデッキ」を供用開始	12	下	東急電鉄(株) 長原駅「木になるリニューアル」を竣工
8	—	タイ・シラチャ最大規模のサービス付き賃貸住宅「ハーモニックレジデンスシラチャ拡張計画」第1期を開業				
	11	10	「横浜北幸ビル」が「第19回屋上・壁面緑化技術コンクール」で「環境大臣賞」を受賞			
2022 (R.4)	1	19	新たな郊外まちづくり「nexus(ネクサス)構想」を始動	1	11	東急電鉄(株)と阪急電鉄(株) 東京工業大学と協働して「列車内の混雑状況の可視化」に関する実証実験実施
	1	31	TECH人材向けコミュニティ型賃貸住宅との複合ビル「arbre(アーブル)自由が丘」を竣工	1	17	東急電鉄(株) 車載カメラによる路線巡視業務に関する実証実験を開始
	2	1	賃貸マンション「スタイリオ蒲田II」開業	2	26	東急電鉄(株) 奥沢駅の新駅舎・連絡デッキの供用開始
	3	16	「Re-rent Residence押上」を開業	3	12	東急電鉄(株) 奥沢駅の通過線・新たな上りホームの供用開始
	3	19	学生向け賃貸住宅「スタイリオネスト駒場東大前」を開業	3	23	東急電鉄(株) 東京都「心のバリアフリー」好事例企業に選定(鉄道業界初)
	4	1	横浜市と「『次世代郊外まちづくり』の推進に関する協定」を更新	3	28	東急電鉄(株)とユニリーバ・ジャパンは、南町田グランベリーパーク駅に、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器の回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験を開始。
	4	7	「nexusチャレンジパーク早野」が開業	4	1	東急線全路線で再生可能エネルギー由来の電力100%で運行開始
	10	12	「nexus構想」における教育・エネルギー分野で当社・東急電鉄(株)・学校法人桐蔭学園が協定締結	4	—	東急電鉄(株) 目黒線で8両編成列車の営業を順次開始
	11	2	「トレインチ自由が丘」をリニューアル開業	7	22	神奈川東部方面線(相鉄・東急新横浜線)のレール締結式を実施
	11	8	当社を代表とするコンソーシアムが「等々力緑地再編整備・運営等事業」における落札者に選定	8	9	東急電鉄(株) 東急新横浜線の旅客運賃設定について許可申請を実施
	11	30	「住まいと暮らしのコンシェルジュ」が町田市と「郊外住宅地における持続可能な住環境づくりに関する協定」締結	9	21	太陽光発電所の開発と再エネ電力活用の取り組みについて国の「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金」を採択
				10	14	大田区と東急電鉄(株)、新空港線整備に向けて第三セクター羽田エアポートライン(株)を共同出資により設立
				10	21	東急電鉄(株) 東急新横浜線の旅客運賃設定について申請が認可
2023 (R.5)	1	13	等々力緑地の運営開始に向け「川崎とどろきパーク(株)」を設立	3	18	東急電鉄(株) 東急新横浜線を開業、東横線、目黒線と相鉄線の相互直通運転を開始
	3	1	「南町田グランベリーパーク」が「第31回地球環境大賞(グランプリ)」を受賞	3	18	東急電鉄(株) 東横線でワンマン運転を開始

年	月	日	生活サービス・ホテル・リゾートほか	月	日	経営	月	日	業界・一般
2021 (R.3)				3	22	女性活躍推進企業として9年連続「なでしこ銘柄」選定、「2021J-Winダイバーシティ・アワード」ベーシック部門大賞受賞			
				4	1	東急ファシリティサービス(株)が東急プロパティマネジメント(株)へ商号変更 当社の不動産運営事業を順次移管			
				4	1	東急ラヴィエール(株)を設立			
				4	1	フレックスタイム制を導入			
				6	16	元会長清水仁死去			
				6	21	東急病院で新型コロナウイルスのワクチン接種を開始			
2022 (R.4)	1	9	「南町田グランベリーパーク」が土木学会デザイン賞2021で優秀賞を受賞	2	7	「東急お客さまセンター」の拠点を移転	2	24	ロシアがウクライナに侵攻
				3	22	「なでしこ銘柄」に10年連続で選定(10年連続選定は全業種で1社のみ)	4	1	成年年齢が20歳から18歳へ引き下げ
	1	24	「南町田グランベリーパーク」の環境施策推進に関する協定書を町田市と締結	3	28	「環境ビジョン2030」を策定	7	8	安倍晋三元首相、銃撃され死去
	2	1	「オープン型ラストワンマイル配送プラットフォーム」を東急線沿線にて開始	3	31	鉄道業界初、日本政策投資銀行(DBJ)からDBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンでの資金調達を実施	9	8	英国エリザベス女王、96歳で死去
	3	24	サテライトオフィス事業「ZXY(ジザイ)」と「NewWork」が提携	3	31	鉄道業界初、日本政策投資銀行(DBJ)からDBJ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンでの資金調達を実施	9	23	西九州新幹線(長崎〜武雄温泉間)開通
	4	1	ホテルコンドミニアム「STORYLINE 瀬長島」を着工	4	10	特別企画列車「東急グループ100周年トレイン」を運行開始			
	5	—	当社とSharing Design(株)が渋谷駅周辺エリアで5G基地局シェアリングサービスの提供を開始	6	14	「環境ビジョンガイドライン」を策定			
	6	1	社内不要品マッチングプラットフォーム「シャナクル」の実証実験を開始	9	1	「次の100年に向けた決起集会」を開催			
	7	8	東急パッケージングの新会員サービス「パッケージングスタイル」がスタート	9	2	「東急グループ創立100周年記念祝賀会」を開催			
	9	28	タイ・バンコクで当社初の分譲戸建事業に参画、引き渡し開始	9	14	株東急レクリエーションの完全子会社化について同社と株式交換契約を締結			
			10	1	新人事制度を開始				
2023 (R.5)	1	6	アートプラットフォーム事業「Art Valley」の実証実験を開始	1	1	株東急レクリエーションが当社の完全子会社になる	3	18	相鉄新横浜線全線開通
				1	4	「東急100周年記念社員祝賀会」を開催			
				1	27	新潟県と事業継続を視野に入れた包括連携協定を締結			
				3	30	「東急100年史」をWEB公開			